Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

デジタルハイビジョンビデオ

型名 HM-DHS1



このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（6～9ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LPT0831-001B

もくじ

最初にお読みください

設置と接続をするときは

ビデオを見る／録画する

録画予約する

BS デジタルを録画する／見る

便利な機能

その他

主な特長

高画質・高音質のD-Theaterソフトを再生できる
D -Theater対応 .... ☞5

他社製テレビも操作できる
TVマルチブランドリモコン ... ☞18

デジタルハイビジョン放送をそのまま録画･再生できる
i.LINK端子 .... ☞24

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
Gコード® 予約＊ .... ☞50

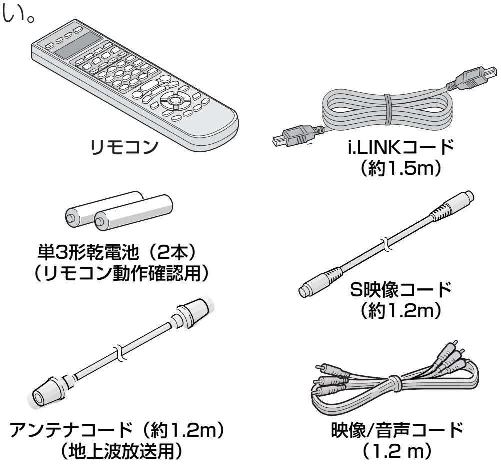
録画した番組の検索が簡単にできる
ビデオナビゲーション .... ☞64

VHSテープにS-VHS画質で録画できる
S-VHS ET .... ☞73

＊Gコード（またはG-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

付属品を確かめる

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。



本機の性能を十分に発揮させるため、別売コードをお買い求めください。（☞**85**ページ）

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

取扱説明書の見かた

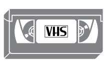
※イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。

■ **操作手順の中のボタン名称については[ ]で囲って表示しています。**
例　メニューボタン→[メニュー]

■ **「D-VHS記録」または「S-VHS/VHS記録」のどちらのテープで操作できるかイラストでお知らせしています。**



D-VHS記録したテープで操作できます。



S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。

■ **本文中の記号の見方**



操作上の注意などが書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ 参照ページや参照項目を示しています。



キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。

D-VHSとは

D-VHS の特長

1. ビットストリーム記録方式
   i.LINK 入力からのデジタル放送のビットストリームを、HD映像･マルチ映像・マルチチャンネル音声・付加データまで、そのまま記録可能。
2. 他のデジタルメディアとは桁違いの大容量
   テープメディアの特性を活かし、44GB から50GB と、CD-ROM 約 80 枚分、DVD 約 10 枚分もの容量を低コストで実現。
3. 先端 IT 技術を活かしての高画質 HS モード
   DVD の3 〜4 倍の高ビットレート=28.2 Mbps で最大 3.5 〜 4 時間記録可能。
4. 高密度記録を活かしての高画質長時間STDモード
   DVD の 1.5 〜 2 倍の高ビットレート=14.1 Mbps で最大 7 〜 8 時間記録可能。
5. 現行VHS、S-VHSとの上位互換性
   高性能 S-VHS として従来のソフト資産を再生、アナログソースをS-VHS/VHSテープに記録可能。

著作権保護技術について

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。
この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。

D-Theater 技術について

D-Theater（ディーシアター）は、高画質のハイビジョン映像と高音質サラウンド音声を備えた映像作品のパッケージソフトを実現する、著作権保護を中心とした新しい技術規格です。
この製品は国内向けD-Theater映画ソフト発売に対応した各種機能を搭載しています。

注記：この製品は「Region（リージョン） 2」仕様です。「Region-2」または「All Region」と表示されたD-Theater ソフトの再生が可能です。
また、i.LINK接続するデジタルハイビジョンテレビ／チューナーが、ドルビーデジタル音声に対応していない場合に備え、2チャンネル MPEG1 Layer2 音声も採用しています。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号　赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

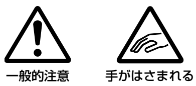
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

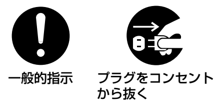
- 注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



- してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



- 必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号



⚠警告

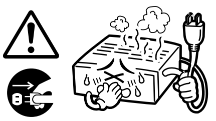
お断り

- この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

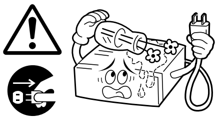
万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

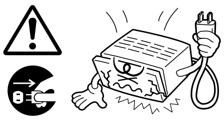
- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。



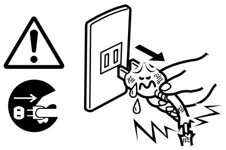
- 内部に水や物が入ってしまったとき。



- 落としたり、キャビネットが破損したとき。



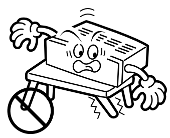
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



■ このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。
■ お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

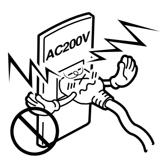
不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧(交流 100V)以外で使用しない

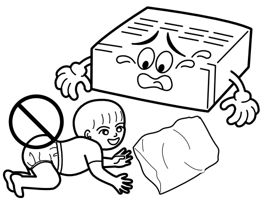
■ 火災や感電の原因となります。



⚠警告

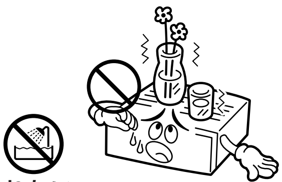
この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。



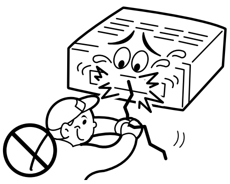
この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

■ 通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



ぬらさない

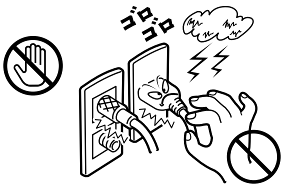
■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

■ 感電の原因となります。



電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

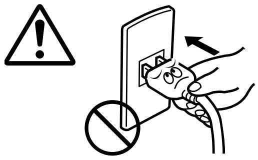
この機器のカバー（キャビネット）は外したり、改造しない

■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。



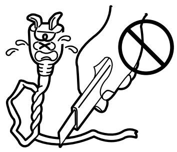
電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。



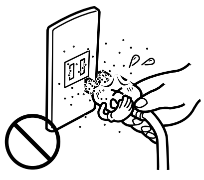
電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。



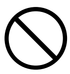
電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。



この機器の電源コンセント（ACアウトレット）に、ヒーター、ドライヤーや電磁調理器などの消費電力の大きい機器をつながない
［電源コンセント（ACアウトレット）付機種］

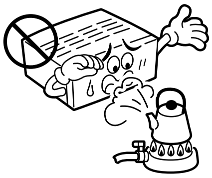
■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。



安全上のご注意（つづき）

⚠注意

次のような所には置かない
■ 火災や感電の原因となることがあります。
- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

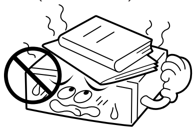


他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う
■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



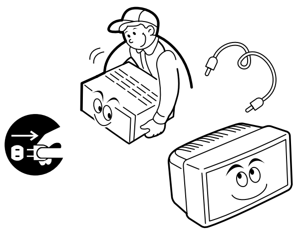
通風孔をふさがない
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

次のことに注意してください。
- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない。
- ・ テーブルクロスなどを掛けない。
- ・ 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

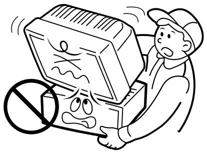


■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

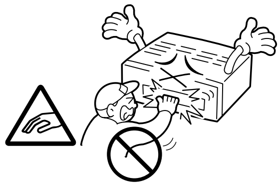
移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす
■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
■ カセットテープも取り出しておいてください。



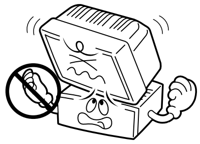
この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない
■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



カセットの出し入れ口に手を入れない
■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



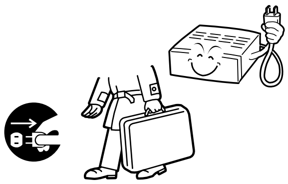
この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない
■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。また、重みでカバー(キャビネット)が変形して、内部の部品が破損･故障し、火災や感電の原因となることがあります。



電気機器の上や下に重ねて置かない
■ お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したりして、火災の原因となることがあります。



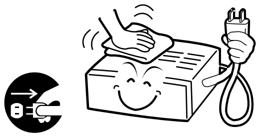
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



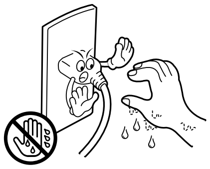
電源プラグはコードの部分を持って抜かない

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

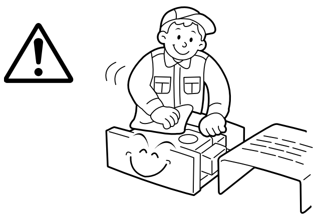
■ 感電の原因となることがあります。



1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

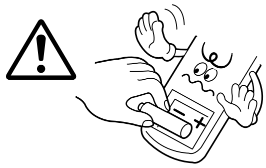
■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



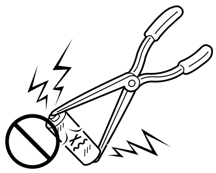
電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(−)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。



- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(−)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく



■ もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために

長い間ご使用になるうちにビデオヘッドが汚れて、再生しても映像や音声が出なくなることがあります。このようなときは、別売のクリーニングテープでビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ビデオヘッドが汚れるとこんな症状になります

- ● 映像が不鮮明または映らない、音声が出ない。
- ● 映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる。
- ● 映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- ● 映像が止まる。(静止画になる)
- ● ザラザラした画面になる。(ＶＨＳ再生)

VHS再生


初期


末期

D-VHS再生


ブロックノイズ


静止画

■ D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナー TCL-DVS)を使ってビデオヘッドをクリーニングしてください

- ● 誤動作を防ぐために、ビデオナビゲーション機能を「切」にしてください。(☞**43** ページ参照)
- ● お使いになるときは、クリーニングテープの説明書をお読みください。

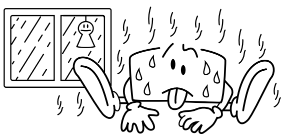
本機には、D-VHS専用のクリーニングテープ以外は使用しないでください。

■ ビデオヘッドが汚れる原因は

- ● 高温、多湿なところで使う
- ● ほこりの多いところで使う
- ● 長時間使う
- ● 傷や汚れのあるテープを使う
- ● カビの生えたテープを使う
- ● 何度も使ったテープを使う

……などです。

● 高温･多湿(梅雨時期など)



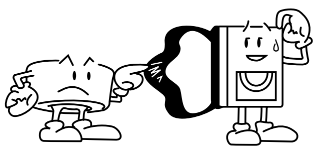
● 空気中のほこり



● 長時間の使用など



● テープの傷、汚れなど



■ クリーニングテープを使っても鮮明な映像にならないときは

- ● ヘッドが磨耗している場合があります。お買い上げの販売店または、ビクターサービス窓口にご相談ください。
- ● ＶＨＳ再生では、トラッキングがずれているときでもザラザラした画面になることがあります。 こんなときは、トラッキングを手動で調節してください。

■ 定期点検を行ってください

- ● 長い間ご使用になるうちに、機械部分が汚れたり磨耗したりします。

  性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間の使用をめどに点検整備をされることをおすすめいたします。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。
■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが貼り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

ビデオ使用中は

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けないでください。映像･音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

大切な録画の前に

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットはDVHS 、SVHS、VHSタイプをお使いください。
■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

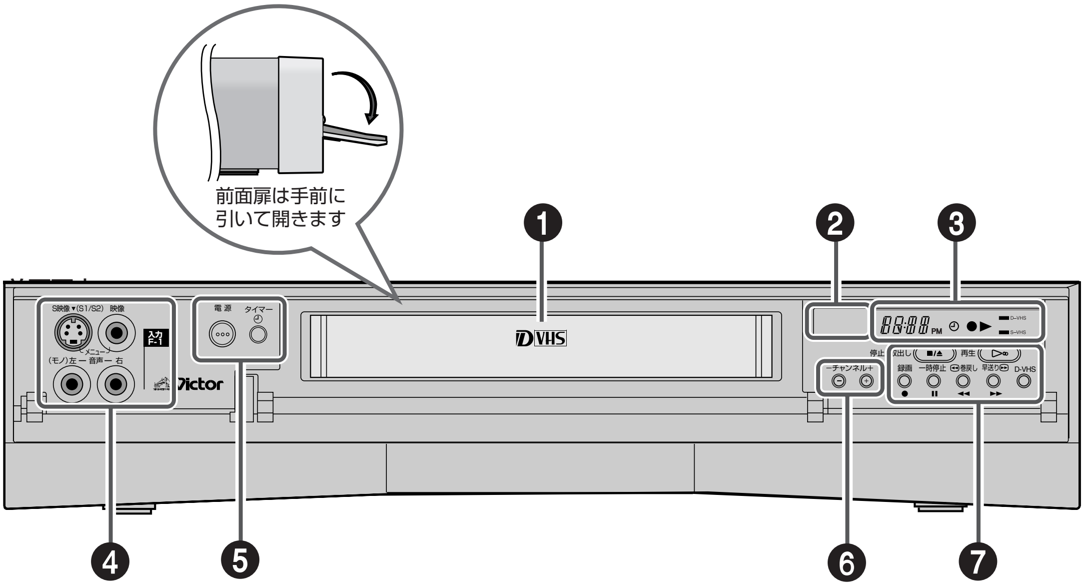
■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。
■ ケースに入れて、立てて保管してください。

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

本体前面



❶ カセット挿入口
カセットテープを入れます。

❷ リモコン受光部
リモコンで操作するときは、ここに向けて操作します。

❸ 本体表示窓（☞**16** ページ）
ビデオの操作状態を表示します。

❹ 映像／音声入力（F-1）端子
ビデオカメラなどからダビングしたいときに使います。

❺ 電源ボタン
電源を入／切します。
タイマー（◷）ボタン（☞**51**、**53**、**55** ページ）
録画予約を設定／解除します。

❻ チャンネル／トラッキングボタン
（☞**71** ページ）
チャンネル切換、トラッキング調節などを行うときにお使いください。

❼ テープ操作ボタン

停止／取出し（■／⏏）ボタン
再生や録画を止めたいときに押します。
停止中に押すとテープを取り出すことができます。

再生（▶）ボタン（☞**45** ページ）
テープの再生を始めます。

録画（●）ボタン（☞**48** ページ）
- 録画を始めます。
  録画中に繰り返し押すと、録画時間を 30 分単位で設定できます。

一時停止（II）ボタン（☞**46**、**70** ページ）
- 再生中や録画中に押すと、一時停止します。
  再生一時停止中に、繰り返し押すと、コマ送り再生ができます。

巻戻し（◀◀）ボタン（☞**45**、**46** ページ）
- 再生中に押すと、映像を見ながら巻戻しができます。
  停止中はテープを巻戻します。

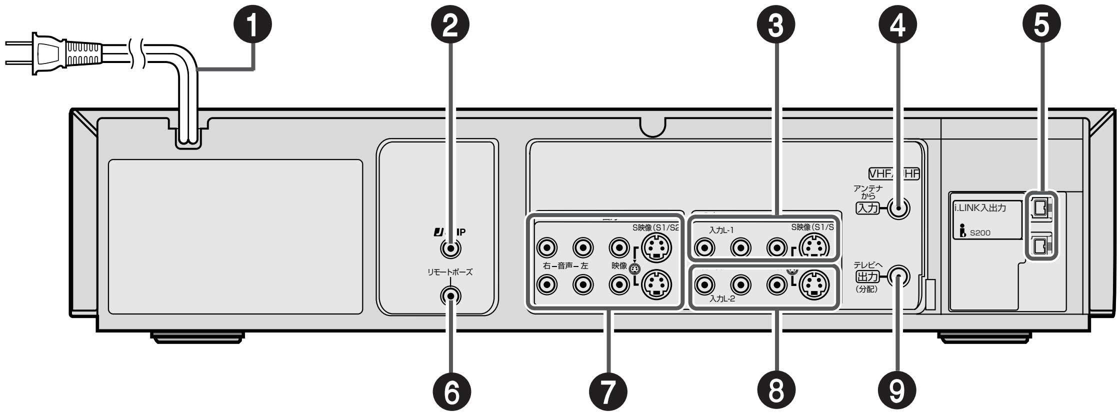
早送り（▶▶）ボタン（☞**45**、**46** ページ）
- 再生中に押すと、映像を見ながら早送りができます。
  停止中は、テープを早送りします。

D-VHS ボタン（☞**44** ページ）
- i.LINK 入力時、D-VHS テープに S-VHS ／ VHS 記録するときに押します。
  再度押すと、D-VHSモードになります。

各部の名称（つづき）

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

本体背面



❶ **電源コード**
壁のコンセントに電源プラグをつなぎます。

❷ **JLIP 端子**
別売の JLIP 編集キット JLIP ビデオプロデューサーHS-V5KIT と接続します。くわしい説明は、ビクターホームページをご覧ください。

❸ **入力 L-1 端子（デジタルチューナー入力）**
（☞**24**、**25** ページ）
i.LINK 対応の BS デジタルチューナーや 110 度 CS デジタルチューナーなどの S 映像（または映像）/ 音声出力端子とつなぎます。
通常の入力端子としても使えます。
S 映像と映像の入力切換はメニューの「モード選択 ➡ 映像入力 L-1」で設定してください。
（☞**42** ページ）

❹ **アンテナ入力端子**（☞**22** ページ）
VHF/UHF アンテナをつなぎます。

❺ **i.LINK 端子**（☞**24**、**25**、**78** ページ）
付属のi.LINKコードをBSデジタルチューナーや 110 度 CS デジタルチューナーとつなぎます。
DV 端子付きビデオカメラと i.LINK 接続した場合、本機は接続機器の設置ができないため、ダビングすることはできません。
このとき、本体表示窓には「I -　」と表示します。

❻ **リモートポーズ端子**（☞**76** ページ）
- 編集端子付きのビクター製ビデオカメラなどを接続します。くわしい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

❼ **S 映像、映像 / 音声出力端子**（☞**24**、**77** ページ）
テレビ（または他の AV 機器）の映像 / 音声入力端子とつなぎます。

❽ **入力 L-2 端子**（☞**76** ページ）
S映像と映像の入力切換をメニューの「モード選択➡映像入力L-2」で設定してください。
（☞**42** ページ）

❾ **アンテナ出力端子**（☞**22** ページ）
テレビのアンテナ入力端子とつなぎます。

メモ

S 映像信号とは
- 従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。2つの信号が互いに影響を受けないため、鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

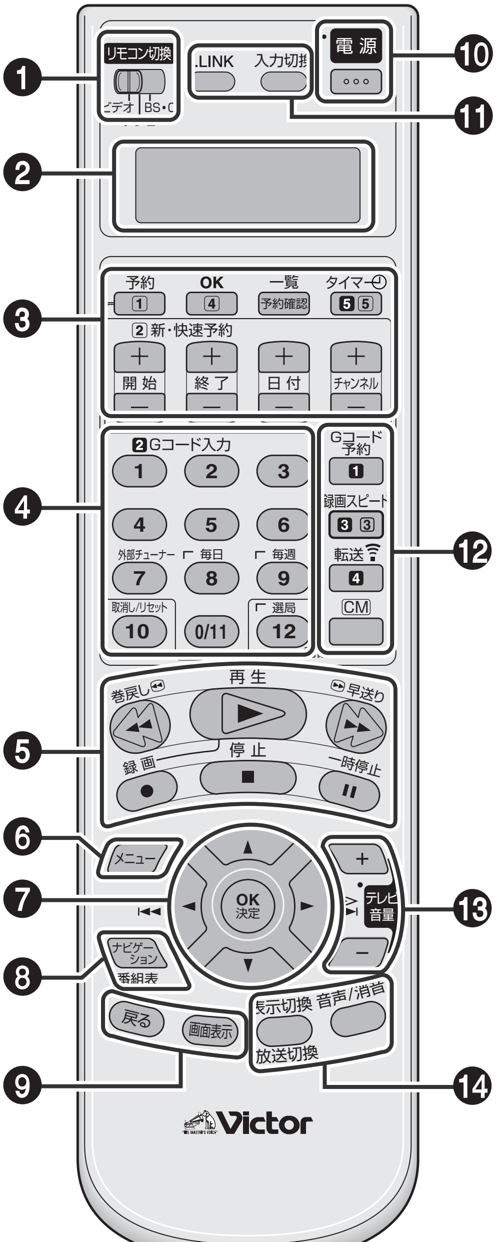
S1 映像信号とは
- S映像信号に加え、MUSE-NTSCコンバーターなどのフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

S2 映像信号とは
- S1 映像信号に加え、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

各部の名称（つづき）

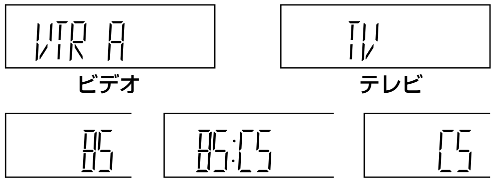
（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。よりくわしい説明が記載されています。

リモコン



❶ リモコン切換スイッチ（☞**19**、**20** ページ）（ビデオ用／テレビ用／ BS・CS 用）

- ビデオ側　：ビデオを操作します。
- テレビ側　：テレビを操作します。
- BS・CS 側 ：BS／CSチューナーを操作します。



ビデオ　テレビ

BSの場合　BS･110度CSの場合　CSの場合

❷ 液晶表示窓

リモコン切換スイッチを切り換えると、操作できる機器をVTR A (B、C、D)／TV／BS／CSと表示します。
Gコード予約をするときは、入力したGコード番号と録画スピードを表示します。

❸ 新・快速予約設定ボタン（☞**52** ページ）

- 録画予約を設定します。

予約確認ボタン（☞**54** ページ）

- 録画予約を確認したいときに押します。

タイマーボタン（☞**51**、**53** ページ）

- 録画予約を設定／解除します。

❹ チャンネル切換ボタン／メーカー指定ボタン／Gコード入力ボタン(0～9)

- ビデオ、テレビ、BS／CSチューナーのチャンネルを切り換えます。
- お使いのテレビメーカーを指定して、本機のリモコンでテレビを操作できるようにします。（☞**18** ページ）
- お使いのBSまたはCSチューナーのメーカーを指定して、本機のリモコンでBSまたはCSチューナーを操作できるようにします。（☞**20** ページ）
- Gコード番号を入力するときに使用します。（☞**50** ページ）

❺ テープ操作ボタン(☞**45**～**48** ページ)
巻戻し(◀◀)、再生(▶)、早送り、(▶▶)、録画(●)、停止(■)、一時停止(❚❚)

❻ メニューボタン(☞**39**、**41** ページ)
メニューを表示するときに使用します。

❼ メニュー選択▲／▼／◀／▶ ボタン
- メニュー項目を選択します。
  (☞**39**、**41** ページ)
- 頭出し再生(I◀◀／▶▶I)をします。
  (☞**68** ページ)
- 可変速再生(≪／≫)をします。
  S-VHS／VHS モード時のみ操作できます。
  (☞**68** ページ)

❽ ナビゲーションボタン／番組表

ナビゲーションボタン(☞**66** ページ)
- リモコン切換で「ビデオ」を選択したときに、録画した番組のタイトル画面が表示されます。

番組表ボタン(☞**21** ページ)
- リモコン切換で「TV」または「BS・CS」を選択したときに、デジタル放送の週間番組表を表示します。

❾ 戻るボタン(☞**41** ページ)
- 戻るボタンは、メニュー設定の操作時に使用します。

画面表示ボタン(☞**38** ページ)
本機の動作状態などを画面に表示させたいときに押します。
もう一度押すと、表示が消えます。

❿ 電源ボタン
リモコン切換で選択された機器の電源を、入／切します。

⓫ i.LINK ボタン(☞**21**、**63** ページ)
- BS/CS チューナー(内蔵テレビを含む)で本機を LINC するときに使います。

テレビ入力切換ボタン
- リモコン切換でテレビを選択したときに、テレビの入力を切り換えます。

⓬ G コードボタン(☞**50** ページ)
- G コード番号を入力するときに押します。

録画スピードボタン(☞**48** ページ)
- 録画スピードを切り換えるときに使います。

転送ボタン(☞**50** ページ)
- 入力したGコード番号を本体に転送するときに押します。

CM ボタン
- CM スキップサーチ(☞**70** ページ)やオートCM カット(☞**72** ページ)に使います。

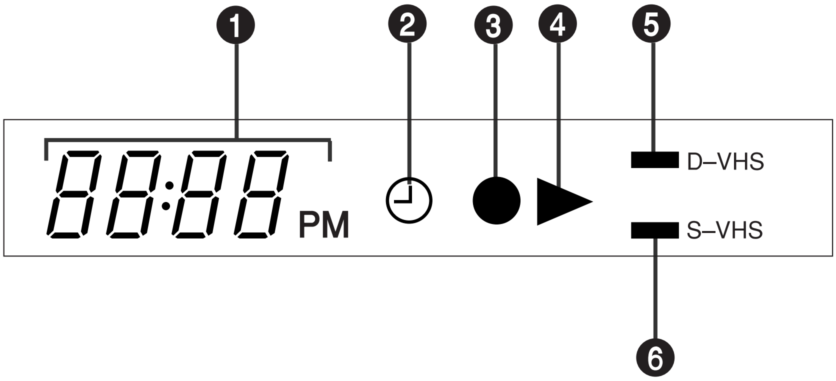
⓭ テレビ音量ボタン
テレビの音量を調節するときに使用します。

⓮ 表示切換(放送切換)ボタン
- 本体表示窓やテレビ画面に出る表示を切り換えます。
  (☞**47** ページ)
- CS チューナーの衛星 A(パーフェク TV サービス！)と衛星B(スカイサービス)を切り換えます。
  (☞**21** ページ)

音声／消音ボタン(☞**69** ページ)
- 聞きたい音声を選びます。
- 音声を消したいときに押します。

各部の名称（つづき）

本体表示窓



❶ 時計、録画スピード、チャンネル表示

現在時刻や録画スピードまたはチャンネルを表示します。

表示切換ボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

録画スピード → チャンネル表示 → 時計表示※ → 元に戻る

※：再生中は、時計表示のみ表示されます。

S-VHS/VHS モードのときに表示します。

- 「SP（標準）」または「EP（3倍）」の録画スピードを選択できます。

D-VHS モードのときに表示します。

- 通常は、「AUTO（オート）」または「HS」の録画スピードを選択できます。
- D-VHSビデオデッキなどとi.LINK接続してダビングするときに、「HS, STD, LS3, LS5」の中から録画スピードを選択できます。
D-VHSビデオデッキどうしでダビングする場合、録画スピードは、再生側と同じスピードで録画することをおすすめします。

❷ タイマー（◴）表示

録画予約待機中のときに点灯します。

❸ 録画表示

録画中（ワンタッチタイマー録画中）のときに点滅します。

❹ 再生表示

再生中は点灯します。

❺ D-VHS 表示

D-VHSテープにD-VHSモードで録画または再生するときに点灯します。

❻ S-VHS 表示

S-VHSまたはS-VHS ETモードで録画または再生するときに点灯します。

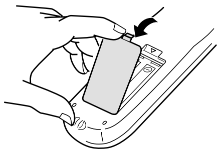
メモ

- 設定画面の「モード選択 ➡ パワーセーブ」が「入」でも、◴ 表示は点灯します。
（☞75ページ）

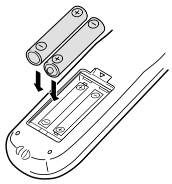
リモコンを使う前に

リモコンに電池を入れる

❶ **裏ブタの上部を指で手前に押しながら、外す**

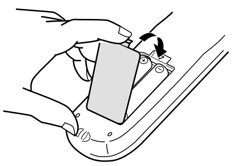


❷ **乾電池（単3形）2本を入れる**



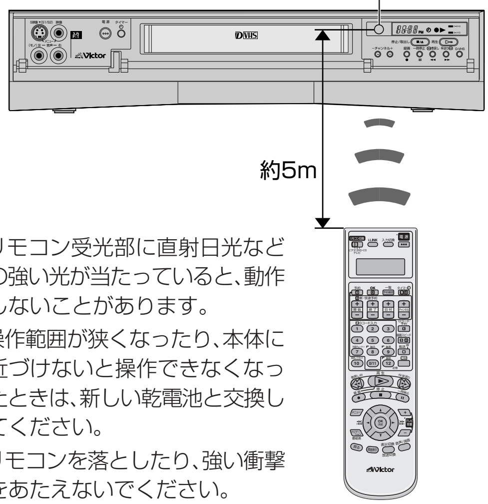
- ⊕／⊖の極性がリモコン内部に表示されています。極性表示に合わせ正しい向きに入れてください。
- 先に⊖側から入れてください。

❸ **裏ブタを元通りに閉める**



リモコンの操作範囲

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5m ですが、斜めから操作すると短くなります。



- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

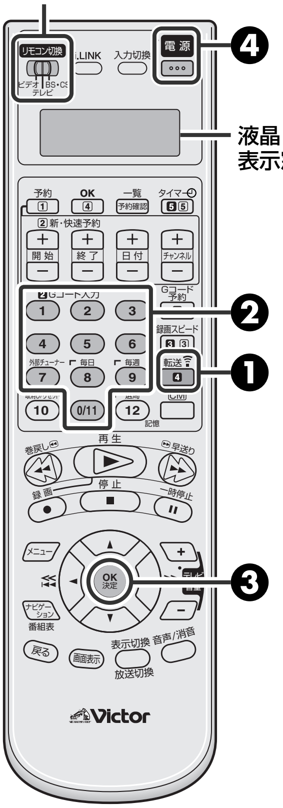
乾電池を交換するときは

- 単３乾電池をご使用ください。
- ２本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、ビデオ／テレビ／ BS ／ CS の操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください。(☞**18** ～ **20** ページ)

リモコンの使いかた

本機のリモコンで、国内メーカー 12 社のテレビを操作できます。
お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入 / 切、チャンネル切換、外部入力の切換、消音（ミュート）、音量の調節）ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

リモコン切換スイッチ
「テレビ」側



液晶
表示窓

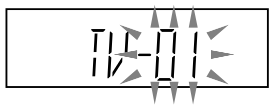
リモコンでビクター以外のテレビを操作する

準備
- テレビの電源を切っておきます。
- リモコン切換スイッチを「テレビ」側にします。

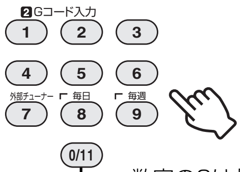
❶ [転送] を3秒以上押す



リモコン液晶表示窓

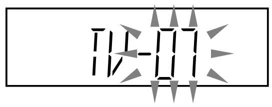


❷ 数字ボタンを押してメーカー番号(2桁)を入力する



数字の0は [0/11] を押します。

リモコン液晶表示窓



- 東芝製のときは[0/11]と[7]の順に押します。

メーカー番号一覧

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02または03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08または09	フナイ	13、15または16
ソニー※	05	シャープ	10	アイワ	14

※：2002年、秋以降に発売されたソニー製BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ（＊＊HD900／＊＊HX1シリーズなど）をお使いのかたは、テレビとBS・110度CSデジタルチューナーの両方の設定が必要です。(☞20ページ)

❸ [OK] を押す



リモコン液晶表示窓

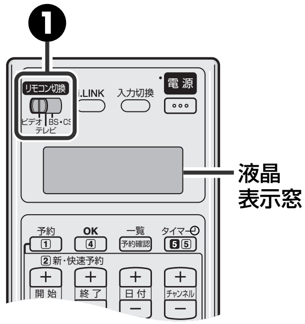


❹ [電源] を押す



- 電源ボタンを押して、設定した機器の電源が入れば、設定は完了です。テレビの設定で電源が入らないときは、もう１度、手順 ❶ から ❹ の操作をしてみてください。
- 松下製、三洋製またはフナイのテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してみてください。

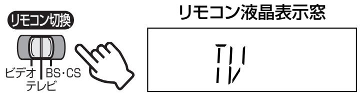
本機のリモコンは、テレビも操作できます。



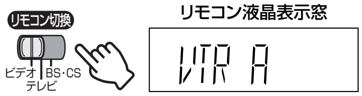
テレビとビデオの切り換え

❶ リモコン切換スイッチを[テレビ]または[ビデオ]にする

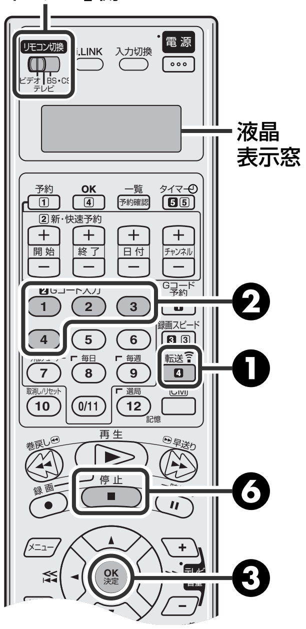
テレビを操作する場合



ビデオを操作する場合



- 「テレビ」側の位置でも、「ビデオの基本操作」、「録画予約」、「メニューを呼び出す」操作は切り換えずに行うことができます。



2台以上のビクタービデオを操作する

準備 ● リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

❶ [転送]を3秒以上押す



❷ [1]から[4]のうちの1つを押す



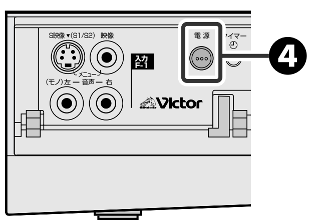
どれか1つを押す

[1] ：「Aコード」に変更する
[2] ：「Bコード」に変更する
[3] ：「Cコード」に変更する
[4] ：「Dコード」に変更する

❸ [OK]を押す

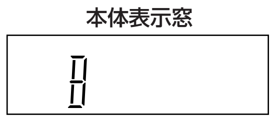


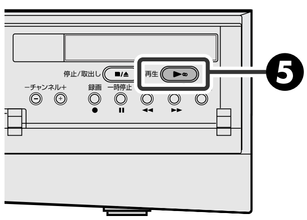
❹ 本体の[電源]を押して電源を切る



❺ 本体の[再生]を5秒以上押す

- 本体表示窓に現在設定されている本体のリモコンコードが表示される。





❻ 本体に向けてリモコンの[停止]を押す

- リモコンで設定したコードが点滅して本体に設定されます。

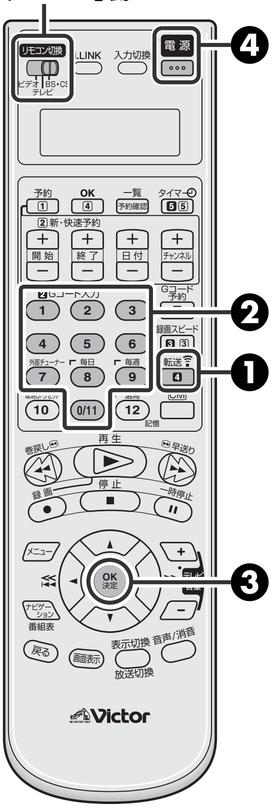
リモコンの使いかた（つづき）

BS/CS チューナーを操作できるようにする

お買い上げ時は、ビクター製i.LINK端子付きBS・110度CSデジタルチューナーの操作ができます。他社のBS・110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーを操作できるようにするには、次の設定をしてください。
BS・110度CSチューナーとCSチューナーを両方お持ちのかたは、どちらかの1台を選択してメーカー設定してください。

準備
- BS/CS チューナーの電源を切っておきます。
- リモコン切換スイッチを「BS・CS」側にします。

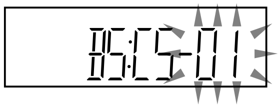
リモコン切換スイッチ
「BS・CS」側



❶ [転送] を3秒以上押す

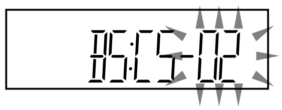


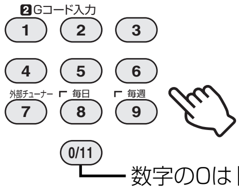
リモコン液晶表示窓



❷ 数字ボタンを押してメーカー番号(2桁)を入力する

リモコン液晶表示窓





数字の0は[0/11]を押します。

例： お手持ちのBS･110度CSデジタルチューナーが松下製のときは、[0／11] と [2] の順に押します。

チューナー	メーカー名	メーカー番号	リモコン表示
BS･110度CS	ビクター	01, 04, 05	BSまたはBS:CS
	松下	02, 06	BS:CS
	東芝	03	BS:CS
	ソニー	07, 08※	BS:CS
	日立	09	BS:CS
CS	ビクター	11	CS
	ソニー	12	CS

※:BS･110度CSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いのときに設定してください。(☞**18**ページ)

❸ [OK] を押す



❹ [電源] を押す



- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、BS/CSチューナーの電源が入れば、設定は完了です。
  BS/CSチューナーの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてください。

ご注意
- BS･110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

メモ
- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう1度メーカー設定をし直してください。

リモコンでBS/CSチューナーを操作する

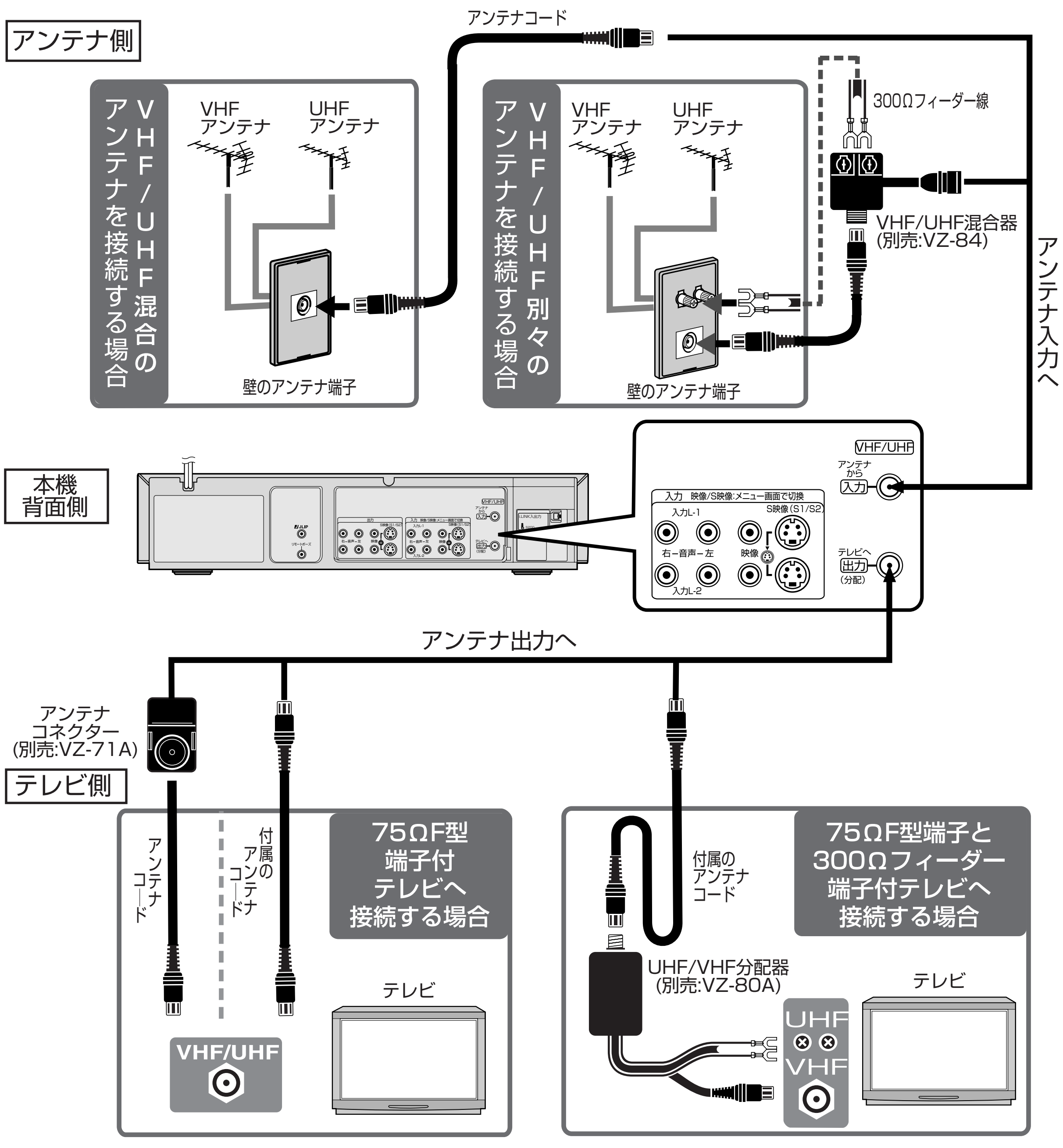
リモコン切換スイッチを「BS・CS」側にします。
操作できる機器は、左ページでメーカー設定したBS･110度CSチューナーまたはCSチューナーのどちらか1台です。



ボタン	働き
リモコン切換スイッチ BS・CS側	リモコンでBSやCSチューナーを操作したいときは、リモコン切換スイッチを「BS・CS」側にします。
電源ボタン	BSまたはCSチューナーの電源を入／切します。
放送切換ボタン	押すごとにBSデジタル放送と110度CSデジタル放送のプラットワンとスカイパーフェクトTV！2の放送に切り換わります。
数字ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
チャンネルボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
i.LINKボタン	BSまたはCSチューナーで本機をLINCするときに使います。
番組表ボタン	EPG（週間番組表）を表示します。
一覧ボタン	予約した番組の一覧を表示します。
メニュー操作ボタン	メニューを表示します。 画面上の項目を選び、決定します。

メモ
- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - ・ブルーバックのとき
  - ・リモコンのCMボタンを押したとき（☞**72**ページ）

アンテナとテレビをつなぐ



・接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

メモ

- テレビに映像入力端子がないとき
  別売のRFコンバーター(RF-VD550)を最寄りのビクターサービス窓口にてお買い求めください。(☞**96**、**97**ページ)
  詳細はRFコンバーター(RF-VD550)の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオを見るときは
  テレビで1チャンネルまたは2チャンネル(別売のRFコンバーターの ビデオチャンネル切換えスイッチで選ばれているチャンネル)を選びます。

ご注意

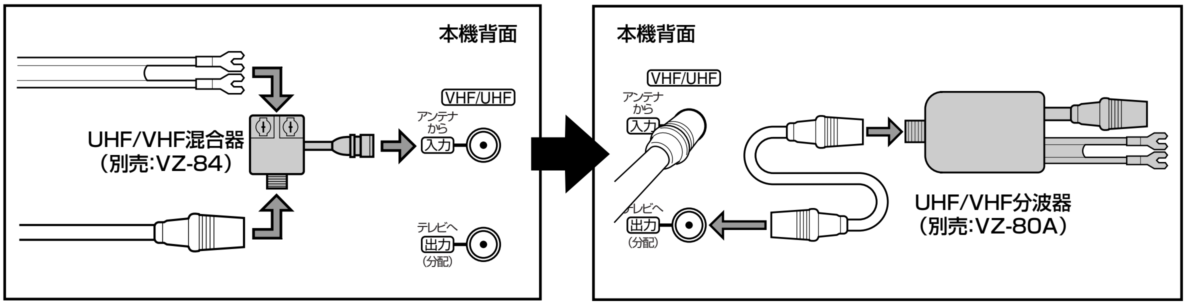
アンテナは

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

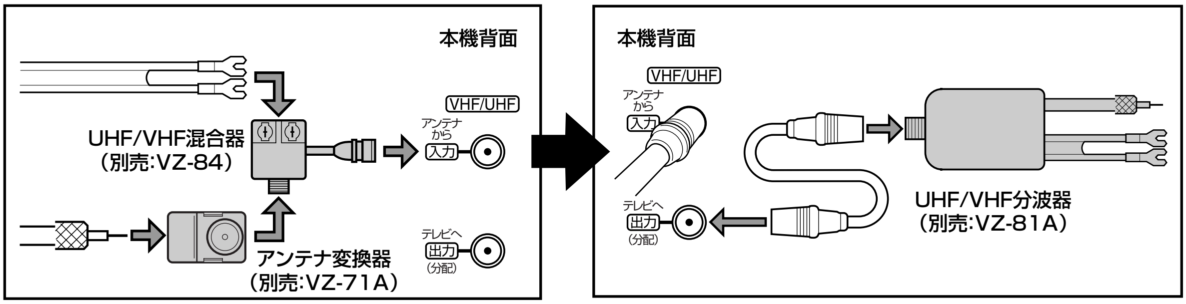
アンテナ線の接続について

アンテナ線の接続について

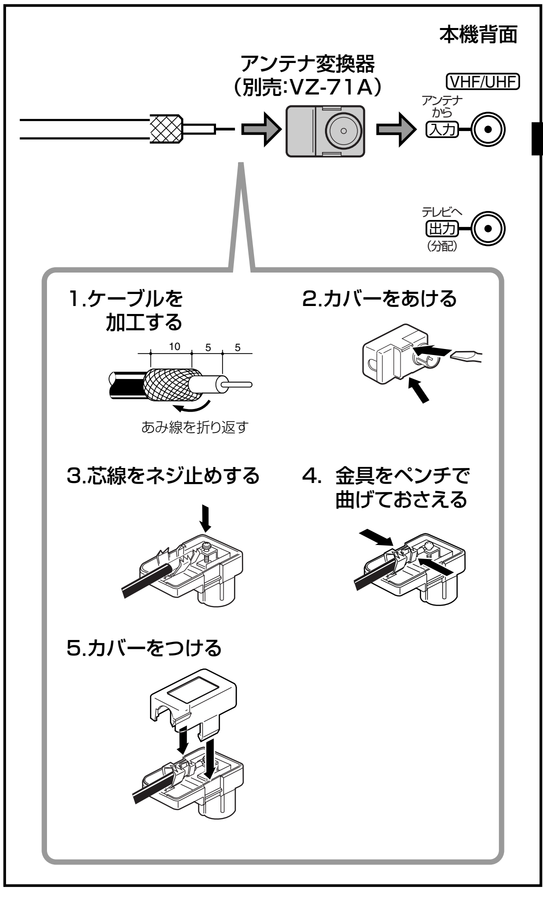
75Ω同軸ケーブル(プラグ付き)とフィーダー線

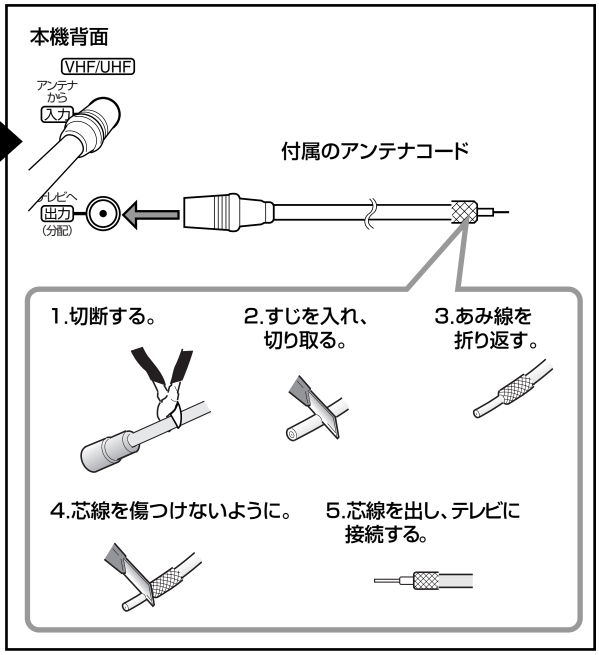


75Ω同軸ケーブル(プラグなし)とフィーダー線

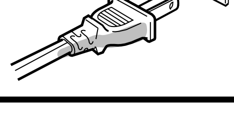


75Ω同軸ケーブル(プラグなし)





電源プラグはすべての接続が終わってから壁のコンセントに差し込みます。



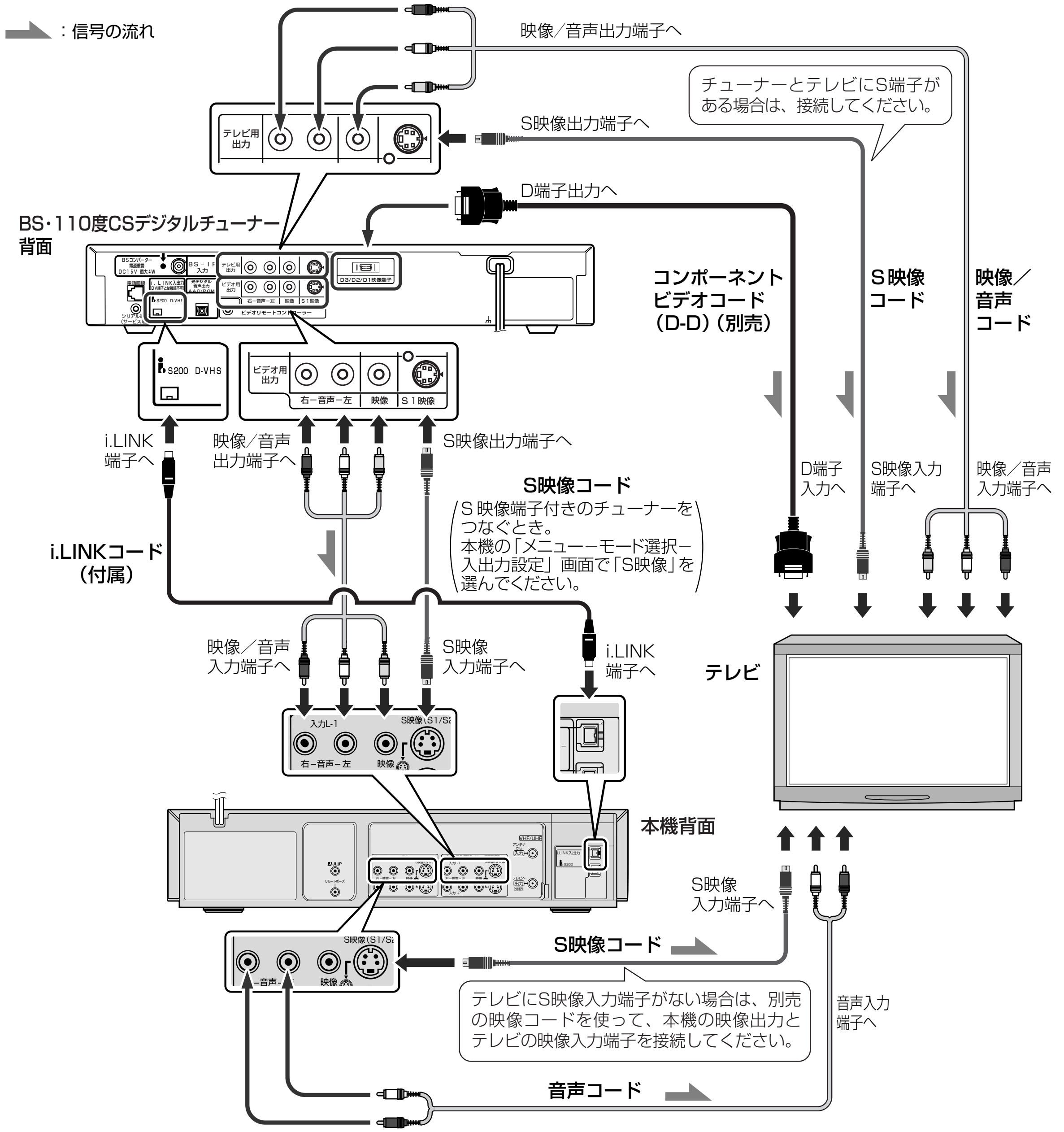
設置と準備

i.LINK 対応 BS•110度CS デジタルチューナーを接続する

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

L-1 入力に接続して BS モニターを「入」にすると、i.LINK 接続したデジタルチューナーの映像を 525i で見ることができます。(☞**43** ページ)

デジタルチューナーがテレビに内蔵されている場合は、テレビの取扱説明書をご覧ください。



メモ

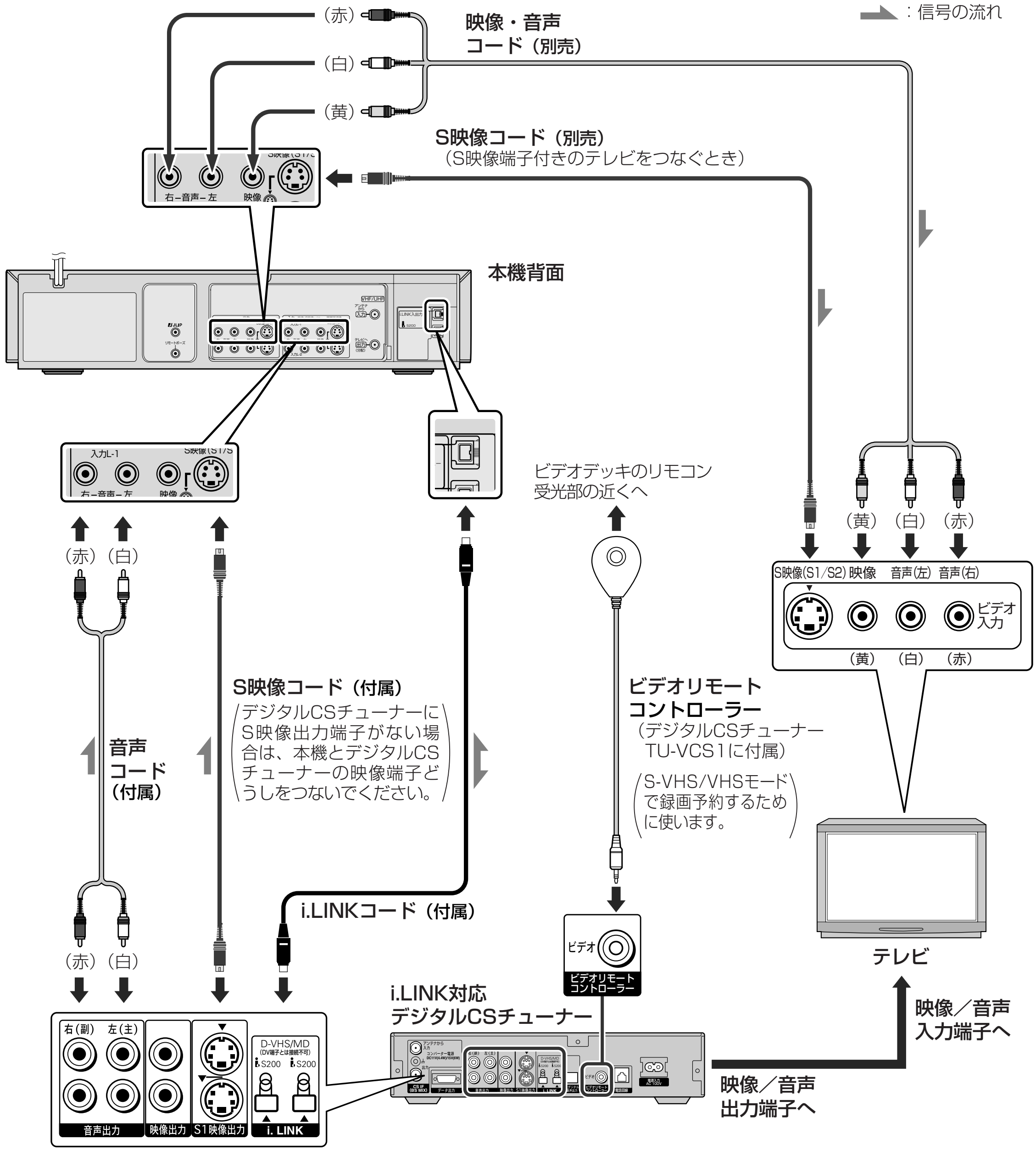
- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビでBS·110度CSデジタル放送を見たいときは、BS·110度CSデジタルチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- BS·110度CSデジタル放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、BS·110度CS デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機の通風孔をふさがないよう、各接続機器との間をあけて設置してください。
- 画像の乱れが出たときは、本機とBS·110度CSデジタルチューナーをなるべく離して設置してください。

i.LINK 対応デジタル CS チューナーを接続する

すべての機器の電源を切ってから接続してください。



メモ

- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビでデジタルＣＳ放送を見たいときは、デジタルＣＳチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- デジタルCS放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

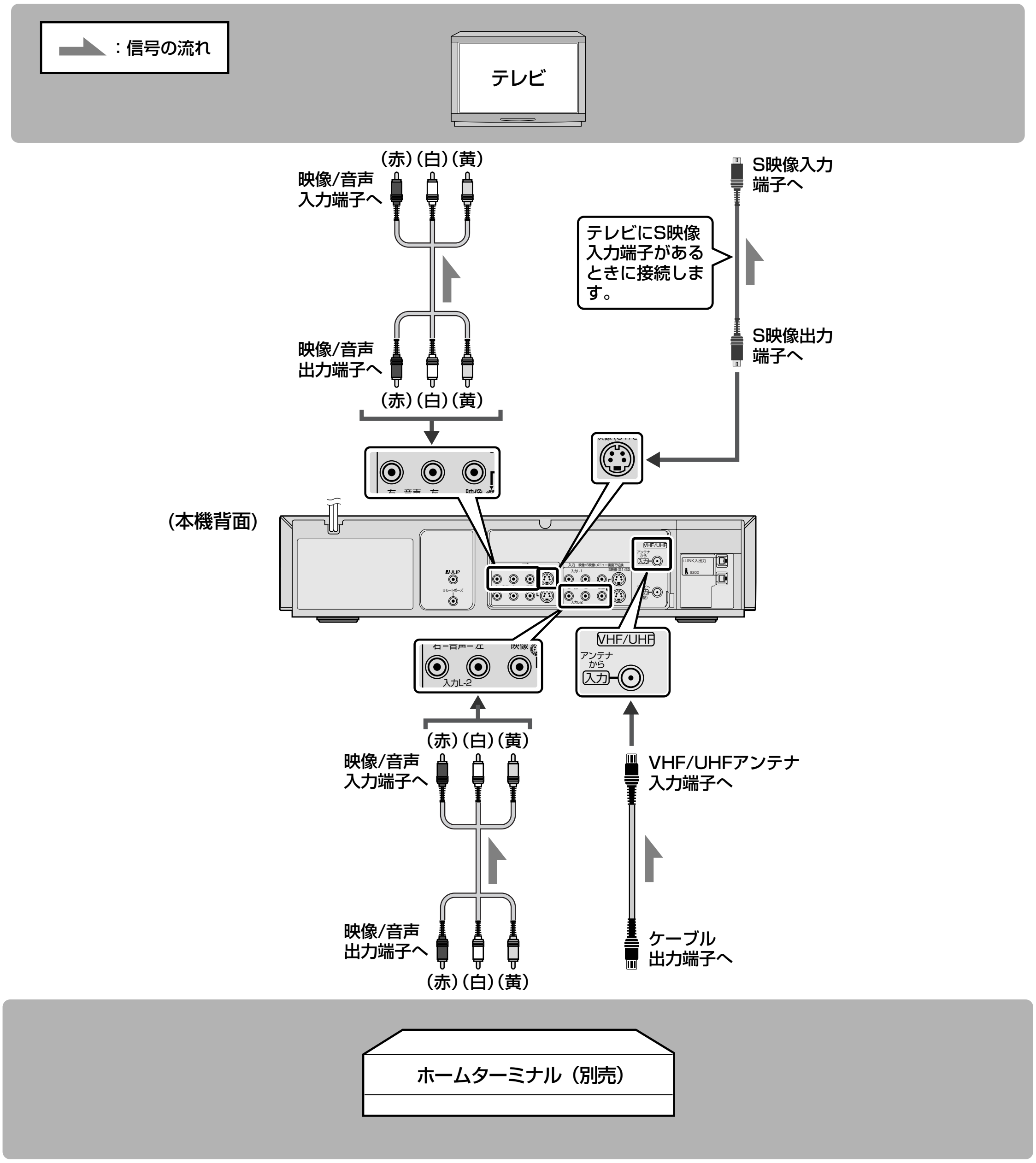
ご注意

- 画像の乱れが出たときは、本機とデジタルCSチューナーをなるべく離して設置してください。

CATV を接続する

図のように、ホームターミナル（アダプター）を接続してください。お使いのホームターミナルの取扱説明書も合わせてご覧ください。ホームターミナルがデジタルハイビジョン対応の場合、またはi.LINK端子付きの場合は、☞24ページの接続をしてください。

すべての機器の電源を切ってから接続してください。



メモ

CATV放送を受信するには

1. アンテナコード（付属）で本機のVHF/UHFアンテナ入力端子とホームターミナルまたはCATVチューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. CATV放送の受信チャンネルを設定します。（☞28ページ）

CATV放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。
   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」または「L-2」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

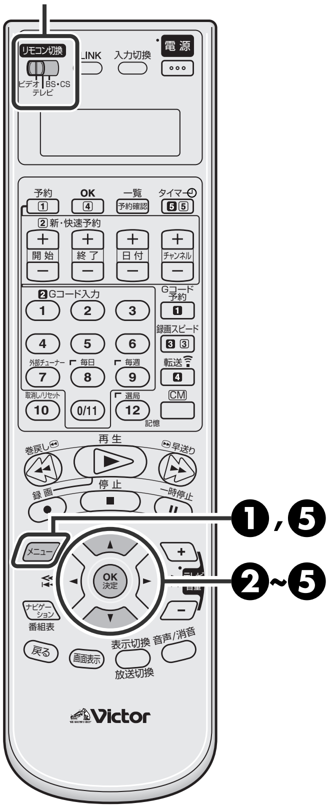
受信チャンネルを設定する（一般のテレビをご覧になっているかたへ）

地域を選択して受信チャンネルを自動的に設定する（一括チャンネル合わせ）

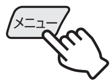
本機はお住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルが自動的に設定されます。また、チャンネルが設定されると、G コード予約をするときに必要なガイドチャンネルも自動的に設定されます。
CATV 放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」では、設定されません。
CATV 放送のチャンネルを本機で受信したいときは、次ページの操作をしてください。

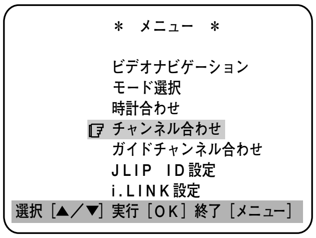
準備
- お住まいの地域の地域番号をお確かめください。(☞**90** ～ **93** ページ)
- 本機とテレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にし電源ボタンを押します。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側

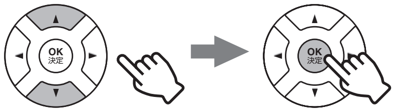


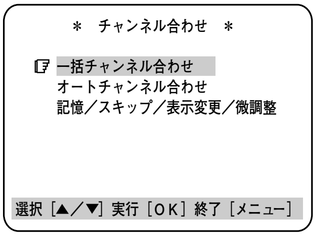
❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する





❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

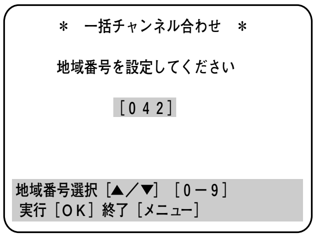




❸ [▲／▼]を押して「一括チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

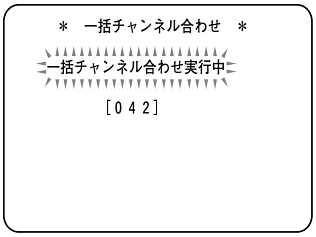
❹ [▲／▼]を押して地域番号を選ぶ

- 押し続けると、早く変わります。
- 数字ボタンでも選択できます。
  例　地域番号が042(東京23区)のとき[0/11]、[4]、[2]の順に押す。



❺ [OK]を押す

- 自動的にチャンネルが設定されます。
- 不要チャンネルを飛ばす ☞**30**ページ
- チャンネル表示変更 ☞**32**ページ
- 受信チャンネルのが映りが悪い ☞**34**ページ



メモ
途中でやめたくなったら...
メニューボタンを押します。

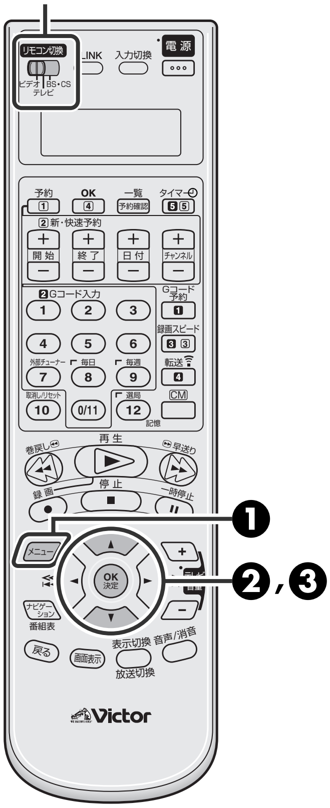
受信チャンネルを設定する（CATVをご覧になっているかたへ）

受信チャンネルを自動的に設定する（オートチャンネル合わせ）

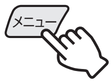
本機は受信チャンネルを自動的に設定できます。自動設定を行なった後は、ガイドチャンネルを設定してください。お住まいの地域や都市がない場合や、CATV放送を受信されている方におすすめいたします。

準備
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

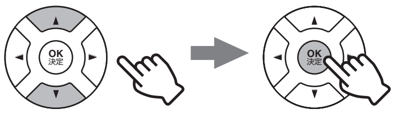
リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する



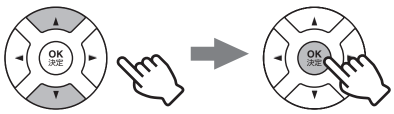
❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す



＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「オートチャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す



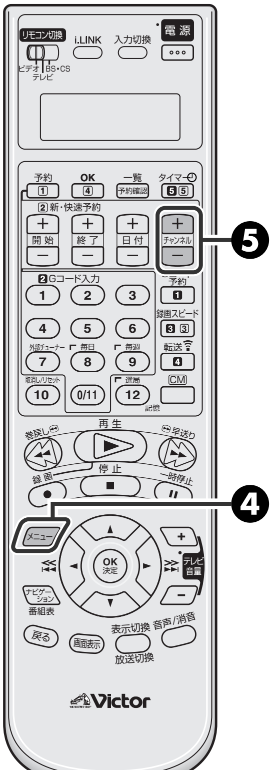
- 「オートチャンネル合わせ」が実行されます。
  オートチャンネル合わせ終了後、「ガイドチャンネル合わせ」を設定してください。（☞36ページ）

＊ チャンネル合わせ ＊

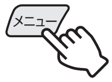
一括チャンネル合わせ
☞ オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

＊ オートチャンネル合わせ ＊

☞ ガイドチャンネル合わせへ
記憶／スキップ／表示変更／微調整へ
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］



4 [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。

5 [チャンネル＋／－]を押して受信したチャンネルを確認する



- これでチャンネル設定は終了です。
- 次のような変更がないかたは、「Gコード予約をするためのチャンネル設定をする」(☞**36**ページ)と「日付と時刻を設定する」(☞**37**ページ)へ進んでください。
- 不要なチャンネルを飛ばしたいとき　:☞**30**ページ
- チャンネル表示を変更したいとき　:☞**32**ページ
- 受信チャンネルの映りが悪いとき　:☞**34**ページ

設置と準備

メモ

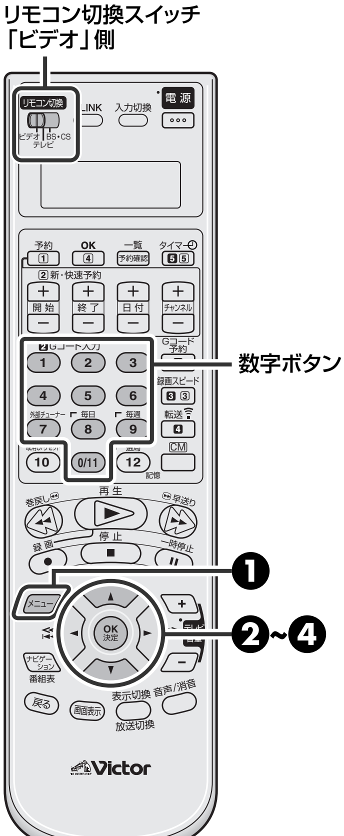
- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面入力端子「F-1」または、背面入力端子「L-1」にします。
(映像／S映像入力切換:☞**42**ページ)
- くわしくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

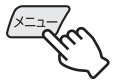
不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

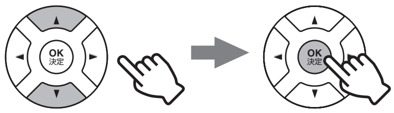
準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する



❷ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

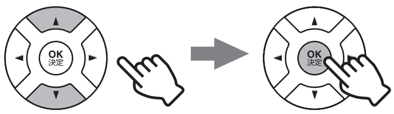


＊　メニュー　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP　ID設定
i.LINK設定

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

❸ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[OK]を押す

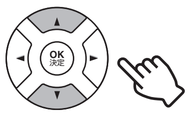


＊　チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
☞ 記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

❹ [▲／▼]を押して飛ばしたいチャンネルを選ぶ

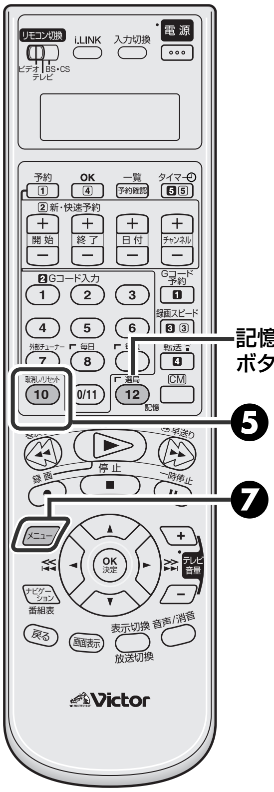


＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　６６ＣＨ　記憶
受信チャンネル　　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［ＯＫ］終了［メニュー］

- 数字ボタンでも選択できます。
- テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。



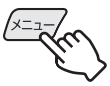
❺ [取消し／リセット]を押す



＊　チャンネル記憶／スキップ　＊	
チャンネル表示	６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル	６６
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］	
スキップをやめる［記憶］	
チャンネル表示変更へ［ＯＫ］終了［メニュー］	

❻ 他の放送局も記憶したいときは、手順の ❹ と ❺ をくり返す

❼ [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

① 左ページの手順❶から❸までを行う

② ▲ ／▼ ボタンを押し、受信したい放送局を選ぶ

③ 記憶ボタンを押す

④ メニューボタンを押し、メニュー操作を終了する

メモ

- チャンネル表示を変更したいときは、☞32ページをご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」をしてください。(☞34ページ)
- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。(☞36、94ページ)

受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

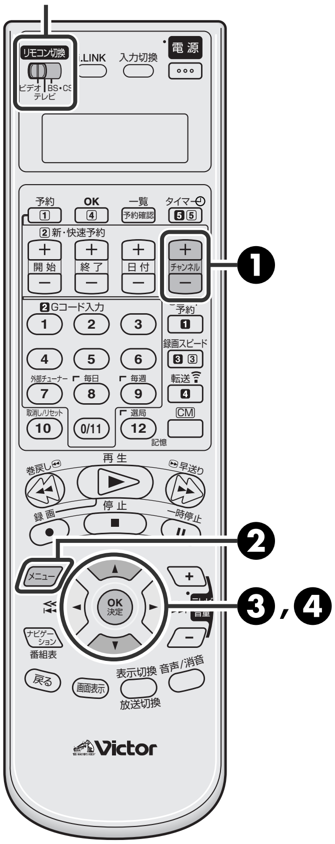
チャンネル表示を変更する

テレビと同じチャンネル表示に合わせたいときなどに設定してください。

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

例　CATV 放送の 16 チャンネル（C16 チャンネル：本機での表示は 66 チャンネル）を、「7 チャンネル」で見られるようにする。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側

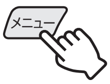


❶ [チャンネル＋／－]を押して「66チャンネル」を選ぶ



- 数字ボタンでも選べます。

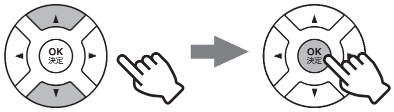
❷ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する




```
＊　メニュー　＊

☞ ビデオナビゲーション
   モード選択
   時計合わせ
   チャンネル合わせ
   ガイドチャンネル合わせ
   JLIP　ID設定
   i.LINK設定
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

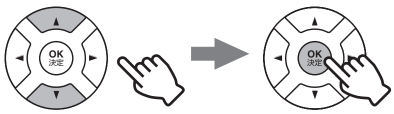
❸ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す



```
＊　メニュー　＊

   ビデオナビゲーション
   モード選択
   時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
   ガイドチャンネル合わせ
   JLIP　ID設定
   i.LINK設定
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

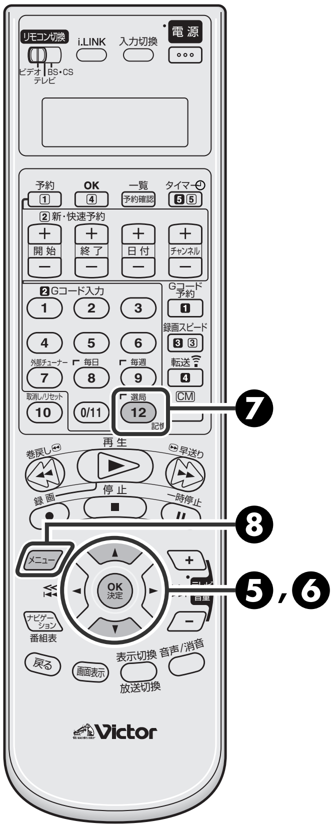
❹ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[OK]を押す



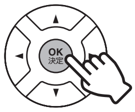
```
＊　チャンネル合わせ　＊

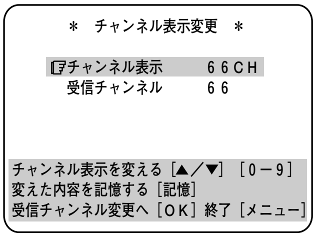
   一括チャンネル合わせ
   オートチャンネル合わせ
☞ 記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

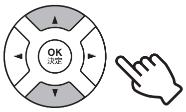


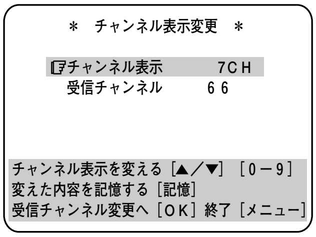
❺ [OK]を1回押して「チャンネル表示」に「☞」を表示する





❻ [▲／▼]を押して「チャンネル表示」を「7」に変える

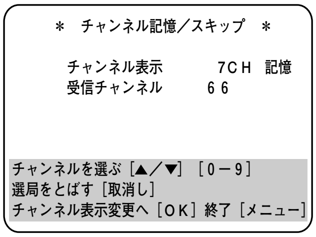




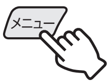
❼ [記憶]を押してチャンネル番号を記憶する

（記憶する）





❽ [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。
- 他のチャンネルも変更するときは、❶〜❽の手順を繰り返します。

変更された放送局を受信するには（アナーアナ変換）

アナーアナ変換とは、地上波デジタル放送にそなえて、UHF 放送のチャンネルを別のチャンネルに変更することです。

① 左ページの手順 ❷ 〜 ❹ までを行う
② OK ボタンを２回押して「受信チャンネル」を選ぶ
③ ▲／▼ ボタンを押して、変更された放送局のチャンネルを選ぶ
④ 記憶を押してチャンネルを記憶する
⑤ メニューボタンを押して、メニュー操作を終了する

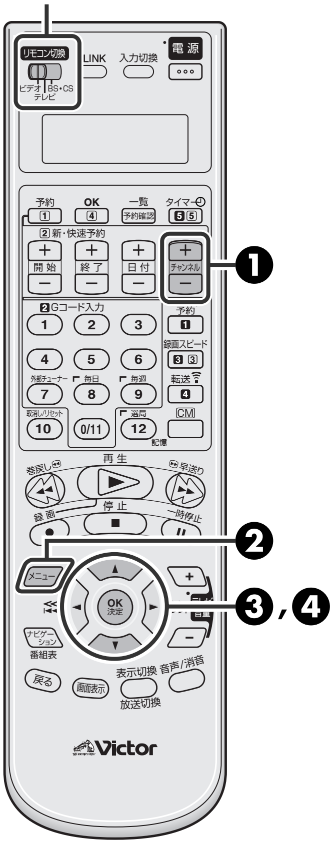
受信チャンネルを変更する（必要に応じて変更する）

映りの悪いチャンネルを調整する

本機にはノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

リモコン切換スイッチ「ビデオ」側

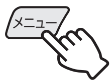


❶ [チャンネル＋／－]を押して映りの悪いチャンネルを選ぶ



- 数字ボタンでも選べます。

❷ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

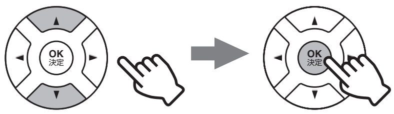


＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定

選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

❸ [▲／▼]を押して「チャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

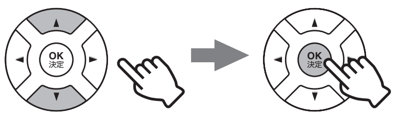


＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定

選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

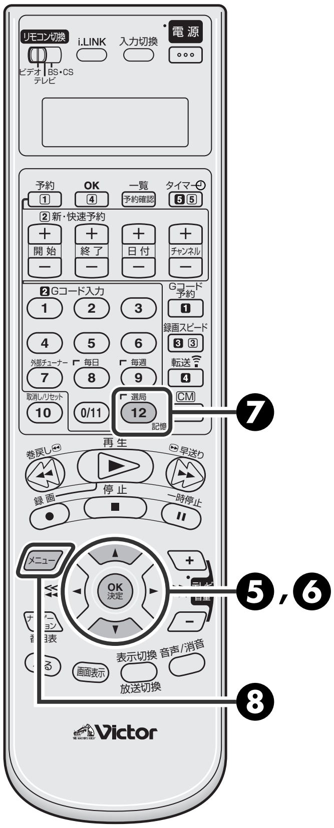
❹ [▲／▼]を押して「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[OK]を押す



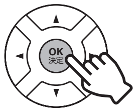
＊ チャンネル合わせ ＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]



5 [OK]を3回押して「チャンネル微調整」画面を表示する

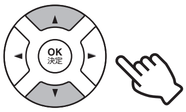


```
＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　　　1ＣＨ
受信チャンネル　　　　1
☞微調整　　　　　　－－＊

微調整をする［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［ＯＫ］
終了［メニュー］
```

6 [▲／▼]を押して映像を見ながら微調整する



```
＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　　　1ＣＨ
受信チャンネル　　　　1
☞微調整　　　　　　－－＊

微調整をする［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［ＯＫ］
終了［メニュー］
```

7 [記憶]を押して変更した内容を記憶する

（記憶する）

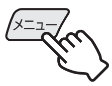



```
＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　　　1ＣＨ　記憶
受信チャンネル　　　　1

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［ＯＫ］終了［メニュー］
```

8 [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。

設置と準備

ガイドチャンネルを設定する

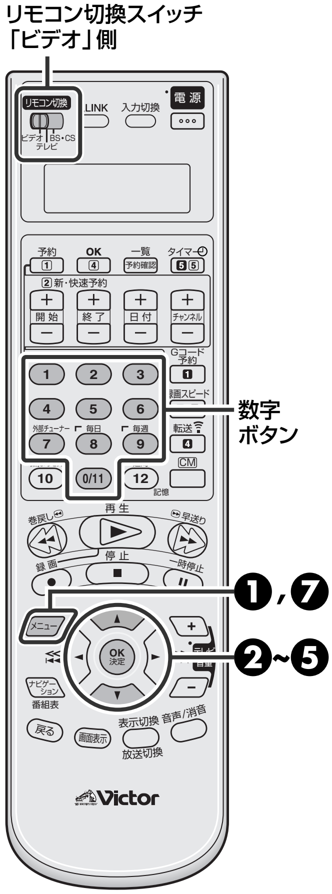
Gコード® 予約をするためのチャンネル設定をする

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコード予約ができなくなります。
次のような操作をしたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき(☞**32** ページ)
- 「一括チャンネル合わせ」のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

例　テレビ神奈川（42 チャンネル）のチャンネル表示番号を 7 チャンネルに変えたとき



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [▲／▼]を押して「ガイドチャンネル合わせ」を選び、[OK]を押す

＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

❸ [▲／▼]を押して設定したい放送局のガイドチャンネル番号「42」を選ぶ

- ガイドチャンネル一覧表を参照して入力します。(☞**94**ページ)
- 数字ボタンでも選択できます。

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

ガイドチャンネル　：　42
チャンネル表示　：　7

ガイドチャンネル設定 [▲／▼] [0－9]
チャンネル表示変更／記憶 [OK]
終了 [メニュー]

❹ [OK]を押したあと[▲／▼]で設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

❺ [OK]を押して変更を確定する

❻ 他にも設定したい放送局があるときは、手順の❹と❺をくり返す

❼ [メニュー]を押して終了する

- メニュー画面が消えます。

メモ
- ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

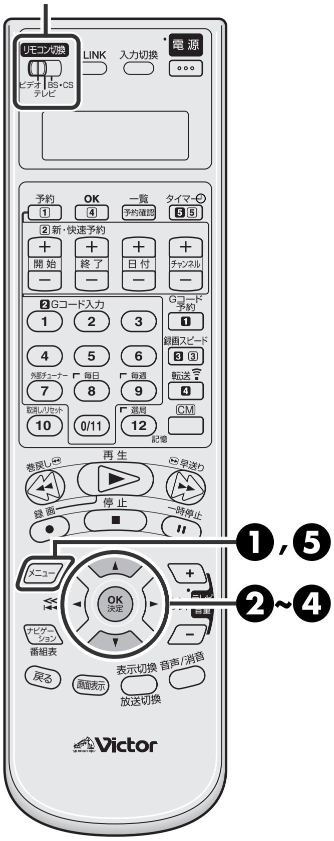
日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。正しい日付と時刻を設定してください。

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

例　2003年12月24日、午後5時30分に合わせる。

リモコン切換スイッチ「ビデオ」側



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

❷ [▲／▼]を押して「時計合わせ」を選び、[OK]を押す

```
＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

❸ 年、月日、時刻を合わせる

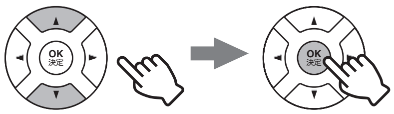
[▲/▼]を押して年を選び[OK]を押す

▽

[▲/▼]を押して月/日を選び[OK]を押す

▽

[▲/▼]を押して現在時刻を選び[OK]を押す



- [▲/▼]は押し続けると早く変わります。
  時刻：30分単位で変わります
  日付：15日単位で変わります

```
＊ 時計合わせ ＊

PM 5：30

12月24日 2003年

ぴったり 3チャンネル

設定［▲／▼］ 移動［OK］ 終了［メニュー］
```

❹ [▲／▼]を押してぴったりクロックのチャンネルを選ぶ



- 「一括チャンネル合わせ」(☞27ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

```
＊ 時計合わせ ＊

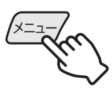
PM 5：30

12月24日 2003年 水曜日

ぴったり 3チャンネル

設定［▲／▼］ 移動［OK］ 終了［メニュー］
```

❺ [メニュー]を押して終了する



- 時計が動き始めます。

メモ　ぴったりクロックとは

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成15年2月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わないことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせることをおすすめします。
- 高校野球シーズンなどは、時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - ・番組編成で時報が放送されていないとき
  - ・本機の電源が入っているとき
  - ・現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - ・時報のバックに音楽が入っているとき

画面表示

画面に出る表示で動作を確認する

リモコンの画面表示ボタンを押すと、下のような表示が出ます。もう一度押すと消えます。

受信チャンネルの音声
チャンネルを切り換えたときに、
次のような表示をします。
ステレオ：ステレオ放送受信時
主：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主」の場合）
主＊副：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主＊副」の場合）

番組の頭出し番号／頭出し信号の書込み
（「頭出し書き込み」表示が約 2 秒間点滅する）

チャンネル表示または
i.LINK機器番号
（接続順に割り付け）

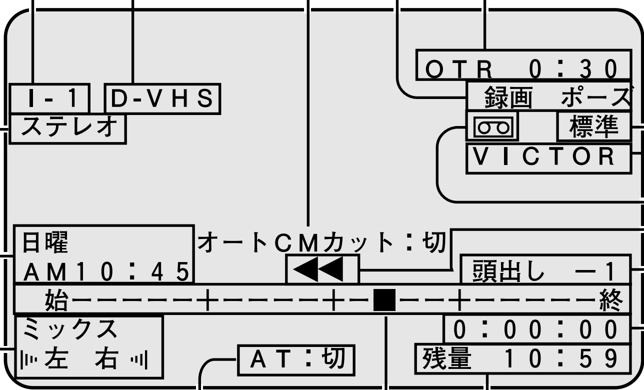
カテゴリー名
（接続機器の種類）

オートCM
カット

テープの走行状態

ワンタッチタイマー
録画時間

録画スピード



ブランド名
（接続機器のメーカー）

カセットの有無

テープ走行の向き

曜日/時刻

カウンター

テープ残量

現在のテープ走行位置

音声出力
左 右：ステレオ音声
左：左側の音声
右：右側の音声
ノーマル：ノーマル音声
ミックス：ミックス音声

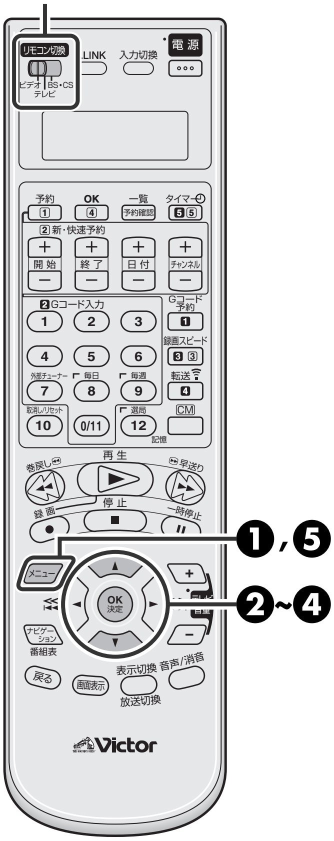
オートトラッキング
本体のチャンネル＋／－ボタンを同時に押して、入/切を切り換えたときに表示します。
AT：入
AT：切

画面表示を出したくないときは

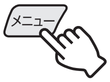
ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないよう「切」にします。

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

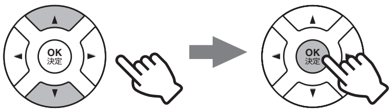
リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する



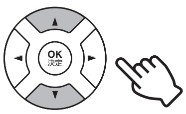
❷ [▲／▼]を押して「モード選択」を選び、[OK]を押す



＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

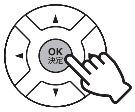
❸ [▲／▼]を押して「オンスクリーン」を選ぶ



前ページへ	[2／3]
オートタイマー	切
オンスクリーン	オート
S−VHSテープ記録	S−VHS
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
次ページへ	

選択 [▲／▼] 設定 [OK] 終了 [メニュー]

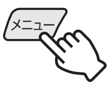
❹ [OK]を押して「切」を選ぶ



前ページへ	[2／3]
オートタイマー	切
オンスクリーン	切
S−VHSテープ記録	S−VHS
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
次ページへ	

選択 [▲／▼] 設定 [OK] 終了 [メニュー]

❺ [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。

メモ
- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - ・ブルーバックのとき
  - ・リモコンのCMボタンを押したとき(☞**72**ページ)

画面表示（つづき）

メニュー画面

＊　メニュー　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP　ID設定
i.LINK設定
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

ビデオナビゲーション画面

03/12/23［火］PM　8：00　10CH
03/12/23［火］AM　8：00　10CH
03/12/26［金］PM　8：00　12CH

選択［▲／▼］頭出し［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

・番組検索などをしたいときに使用する画面です。

モード選択画面（1ページ目）

＊　モード選択　＊　［1／3］
S−VHS ET　切
テープレベルアップ　入
インテリジェントピクチャー　オート
映像入力F−1　映像
映像入力L−1　映像
映像入力L−2　映像
ぴったり録画　切
次ページへ
選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

ガイドチャンネル合わせ画面

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

ガイドチャンネル　：　1
チャンネル表示　：　22

ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0−9］
チャンネル表示変更／記憶［OK］
終了［メニュー］

・Gコード予約をするためのチャンネル設定に使用する画面です。

時計合わせ画面

＊　時計合わせ　＊

AM　0：00

12月24日　2003年　水曜日

ぴったり　3チャンネル

設定［▲／▼］移動［OK］終了［メニュー］

・ビデオ本体の時計を合わせるときに使用する画面です。

モード選択画面（2ページ目）

前ページへ　［2／3］
オートタイマー　切
オンスクリーン　オート
S−VHSテープ記録　S−VHS
Vスタビライズ　切
ブルーバック　入
ミックス音声　切
二カ国語音声録音　主
次ページへ
選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

JLIP ID設定画面

＊　JLIP　ID設定　＊

ID番号

1

設定［▲／▼］［0−9］　終了［メニュー］

・JLIPのID番号（1〜99まで）を設定するときに使用する画面です。

チャンネル合わせ画面

＊　チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

・受信チャンネルを設定するときに使用する画面です。

モード選択画面（3ページ目）

前ページへ　［3／3］
パワーセーブ　切
本体表示窓　入
ビデオナビゲーション　入
BSモニター　切

選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

i. LINK設定画面

＊　i．LINK設定　＊

リンク（LINC）　オート
番号のリセット

選択［▲／▼］設定［OK］終了［メニュー］

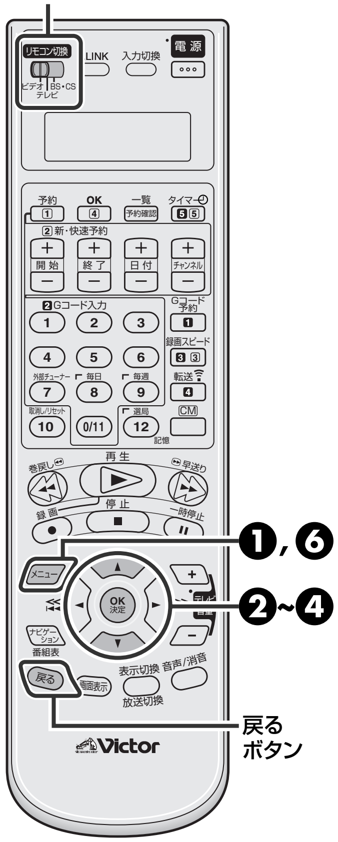
・i. LINKの設定を変更するときに使用する画面です。

お買い上げ時の設定を変える

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

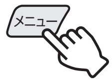
例　オートタイマーを「入」にする。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側

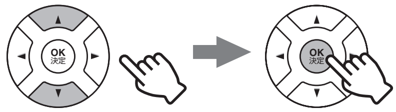


戻る
ボタン

❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する



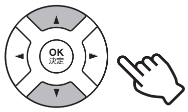
❷ [▲／▼]を押して「モード選択」を選び、[OK]を押す



```
＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
☞ モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

❸ [▲／▼]を押して「オートタイマー」を選ぶ



```
前ページへ                   ［2／3］
☞ オートタイマー               切
  オンスクリーン               オート
  S−VHSテープ記録             S−VHS
  Vスタビライズ                切
  ブルーバック                 入
  ミックス音声                 切
  二カ国語音声録音              主
  次ページへ
選択［▲／▼］ 設定［OK］ 終了［メニュー］
```

❹ [OK]を押して「入」を選ぶ

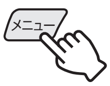


```
前ページへ                   ［2／3］
☞ オートタイマー               入
  オンスクリーン               オート
  S−VHSテープ記録             S−VHS
  Vスタビライズ                切
  ブルーバック                 入
  ミックス音声                 切
  二カ国語音声録音              主
  次ページへ
選択［▲／▼］ 設定［OK］ 終了［メニュー］
```

❺ 必要に応じて手順 ❸、❹ をくり返して、他の設定も変更する

- 戻るボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

❻ [メニュー]を押して終了する



- メニュー画面が消えます。

お買い上げ時の設定を変える（つづき）

「モード選択画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

項　目	設定内容	
S-VHS ET	VHSテープにS-VHSの画質で記録するときに設定します。	
	切	：通常は「切」に設定しておきます。
	入	：VHSテープにS-VHSの画質で記録します。
テープレベルアップ（☞74ページ参照）	テープに合わせた最適な画質で録画をします。	
	入	：テープに合わせた最適な状態で録画したいときに選びます。
	切	：この機能を使用しません。
インテリジェントピクチャー	再生する映像に合わせて、画質を変更したいときに設定します。	
	オート	：通常はこのまま使います。(テープレベルアップが「切」のときは、スタンダードになります)
	ダビング	：ダビングするときに使います。
	ソフト	：レンタルビデオなどを再生するときに使います。
	シャープ	：クッキリ再生するときに使います。
	アニメ	：アニメーションなどを再生するときに使います。
映像入力F-1	前面映像入力(F-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
	映像	：前面の映像入力端子(F-1)の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	：前面のS映像入力端子(F-1)の信号を入力するときは「S映像」にします。
映像入力L-1	背面映像入力(L-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
	映像	：背面の映像入力端子(L-1)の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	：背面のS映像入力端子(L-1)の信号を入力するときは「S映像」にします。
映像入力L-2	背面映像入力(L-2)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
	映像	：背面の映像入力端子(L-2)の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	：背面のS映像入力端子(L-2)の信号を入力するときは「S映像」にします。
ぴったり録画	標準（SP）モードで録画予約中にテープ残量が少なくなると、自動的に録画スピードを「3倍（EP）」に変えるか、変えないかの設定をします。	
	切	：この機能を使用しません。
	入	：録画スピードが「標準（SP）」で録画予約された番組を録画中にテープが足りなくなると途中で自動的に「3倍（EP）」に切り換わり、録画切れを防ぎます。
オートタイマー	録画予約待機状態にする操作方法を設定します。	
	切	：録画予約待機状態にするときは、タイマーボタン（◴）を押します。
	入	：電源ボタンで電源を切ると、自動的に録画予約待機状態になります。
オンスクリーン	テレビ画面にカウンターなどの表示をするか、しないかの設定をします。	
	オート	：ビデオ操作時に、操作内容を5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	：常にカウンター（または残量/時計）を表示します。
	切	：ビデオの操作内容をテレビ画面に表示しません。
S-VHSテープ記録	S-VHSテープに記録する方式を変えるときに使います。	
	S-VHS	：S-VHSテープにはS-VHS記録、VHSテープにはVHS記録します。
	VHS	：S-VHSテープにVHS記録するときは「VHS」を選びます。
Vスタビライズ	テープを再生中に、映像が上下に揺れるときに使います。	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：この機能を使うときにだけ選びます。

お買い上げ時の設定状態です。

項　目	設定内容	
ブルーバック	放送のないチャンネルを青い画面（ブルーバック）にするか、しないかの設定をします。	
	入	：放送のないチャンネルをブルーバックにします。
	切	：電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。
ミックス音声	ノーマル音声とハイファイステレオ音声をミックスして再生したいときに使います。	
	切	：通常は「切」にしておきます。
	入	：ハイファイ音声とノーマル音声をミックスして再生します。
二ヵ国語音声録音	主音声（日本語）と副音声（英語など）の両方を録音したいときに使います。	
	主	：二重音声放送の主音声だけを録音します。
	主＊副	：二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音します。 ノーマル音声は主音声のみ録音します。
パワーセーブ (☞75 ページ)	電源「切」時に、本体表示窓の時計表示を消すか点灯するかを設定します。	
	切	：点灯します。
	入	：消灯します。（消費電力を少なくします）
本体表示窓	電源「入」時に、本体表示窓の表示を消すか点灯するかを設定します。	
	入	：通常は「入」に設定しておきます。
	切	：「：」表示のみ点灯します。
ビデオナビゲーション	ビデオナビゲーション機能の設定をします。	
	入	：この機能を使うとき。
	切	：この機能を使わないとき。
BSモニター	・L-1入力端子にBS/CSデジタルチューナーのアナログ出力を接続して、i.LINK入力からBS番組を録画／再生するとき、本機の出力端子からL-1入力の映像をモニターするか、しないかの設定をします。 ・BSデジタル番組を見るときは、デジタルチューナーを通してテレビでご覧ください。デジタルチューナー側の設定については、デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。 ・2台以上の機器とi.LINK接続しているときは、本機と通信していない機器の電源は入れないでください。	
	切	：L-1 入力の映像をモニターできません。L-1 入力にデジタルチューナー以外の機器を接続したときに選びます。
	入	：L-1 入力の映像をモニターできます。オンスクリーン表示やメニュー操作も可能です。

「i.LINK 設定画面」の内容について

項　目	設　定　内　容	
リンク（LINC） (☞79 ページ)	i.LINK 機器と接続するときに設定します。	
	オート	：本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、チャンネル+／−ボタンを押して、表示窓またはテレビ画面に出る表示で確認してください。通常は「オート」にします。
	切	：本機から他のi.LINK機器を選択できません。ただし、他のi.LINK機器から本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。
番号のリセット (☞79 ページ)	i.LINK 機器番号の欠番を解消したいときや番号を変更したいときに選択します。	

使用するテープと記録方式

録画について

テープの種類	記録方式		
	D-VHS	S-VHS	VHS
D-VHS	○	○	○
S-VHS	×	○	○
VHS	×	○	○

（○:記録可能　×:不可）

- 本機は、D-VHS(MTP)方式、S-VHS方式、VHS方式で記録することができます。
- D-VHS録画をするときは、D-VHSテープをお使いください。
- S-VHS/VHS記録をするときは、D-VHSテープ、S-VHSテープ、VHSテープのどれでもお使いになれます。
- DF-480テープは、D-VHS記録・再生用です。

DF-480テープを使用する前に

D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナーTCL-DVS)を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてから使用してください。

クリーニングテープの使い方

1. 本機にクリーニングテープを入れます。
2. 約30秒再生したあと、停止ボタンを押します。
3. クリーニングテープを取り出します。
4. DF-480テープで録画･再生をして、画像･音声が正常でないときは、**1**、**2**の操作を1～2回繰り返してください。

D-VHSテープの最長記録時間

LS5モードでの記録時間は、STDモードの5倍ぶんまたはHSモードの10倍ぶんあります。

D-VHS テープ	D-VHS記録				S-VHS/VHS記録	
	HSモード	STDモード	LS3モード	LS5モード	標準(SP)モード	3倍(EP)モード
DF-480	4時間(240分)	8時間(480分)	24時間(1440分)	40時間(2400分)	4時間(240分)	12時間(720分)
DF-420	3.5時間(210分)	7時間(420分)	21時間(1260分)	35時間(2100分)	3.5時間(210分)	10.5時間(630分)
DF-360	3時間(180分)	6時間(360分)	18時間(1080分)	30時間(1800分)	3時間(180分)	9時間(540分)
DF-300	2.5時間(150分)	5時間(300分)	15時間(900分)	25時間(1500分)	2.5時間(150分)	7.5時間(450分)
DF-240	2時間(120分)	4時間(240分)	12時間(720分)	20時間(1200分)	2時間(120分)	6時間(360分)

D-VHSテープにS-VHS記録する場合

i.LINK入力時のみ操作できます。

1. 本体のD-VHSボタンを押して、D-VHSランプを消灯させます。自動的にL-1入力に切り換わり、アナログ記録できます。
2. メニューの「モード選択➡S-VHSテープ記録」が「S-VHS」になっていることを確認してください。お買い上げ時は、「S-VHS」に設定されています。
   操作のしかたは、 ☞**41**ページをご覧ください。

D-VHSテープにVHS記録する場合

i.LINK入力時のみ操作できます。

1. 本体のD-VHSボタンを押して、D-VHSランプを消灯させます。自動的にL-1入力に切り換わり、アナログ記録できます。
2. メニューの「モード選択➡S-VHSテープ記録」を「VHS」にしてください。
   操作のしかたは、 ☞**41**ページをご覧ください。

S-VHSテープにVHS記録する場合

メニューの「モード選択➡S-VHSテープ記録」を「VHS」にしてください。
操作のしかたは、 ☞**41**ページをご覧ください。

VHSテープにS-VHS記録する場合

メニューの「モード選択➡S-VHS-ET」を「入」にしてください。
操作のしかたは、 ☞**73**ページをご覧ください。

再生について

- 本機は、D-VHS(MTP)方式、S-VHS方式、VHS方式で記録されたテープを再生することができます。
- 本機は、記録方式(D-VHS、S-VHS、VHS)を自動的に判別してテープを再生します。

ビデオを見る

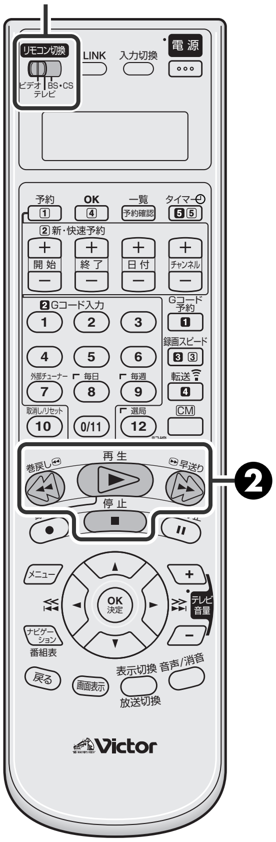
ビデオテープを再生する

ビデオテープを再生してみましょう。
(BS デジタル放送を録画したテープを再生する場合は ☞60ページをご覧ください)

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞**17**～**23**ページ)
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側

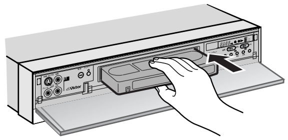


❶ テープを入れる



カセットの出し入れ口に手を入れないでください。手をはさまれて、けがの原因になることがあります。

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては☞**64**ページをご覧ください。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。



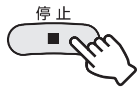
テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ [再生]を押す



再生が始まります。

再生をやめる



早送り／巻戻しをする

停止中に

早送りするときは



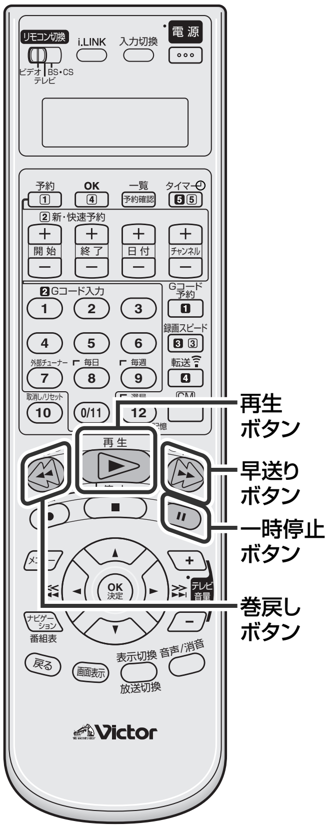
巻戻しするときは



早送り／巻戻しを止めるには、停止(■)ボタンを押します。

メモ

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。
  (☞42ページ)



映像を見ながら早送り／巻戻しする（シャトルサーチ）

D-VHSのHSモードでは6倍速、STDモードでは12倍速、LS3モードでは36倍速、LS5モードでは60倍速で再生します。
S-VHS/VHSの標準モードでは11倍速、3倍モードでは31倍速で再生します。

再生中に

早送りするときは



巻戻しするときは



通常の再生に戻すには、再生(►)ボタンを押します。

- ボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り／巻戻しされます。指を離すと通常の再生に戻ります。

再生を一時停止する

再生中に



再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
通常の再生に戻すには、再生(►)ボタンを押します。

テープを取り出す

停止中に



本体のボタンでのみ操作できます。

ご注意

- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
- D-VHS記録したテープをシャトルサーチすると、モザイク画(ブロック状のノイズ)になったり、静止画になることがあります。

メモ

- シャトルサーチ中は音声が出ません。
- 一時停止(静止画再生)が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

テープの残り時間を調べる

停止または録画中



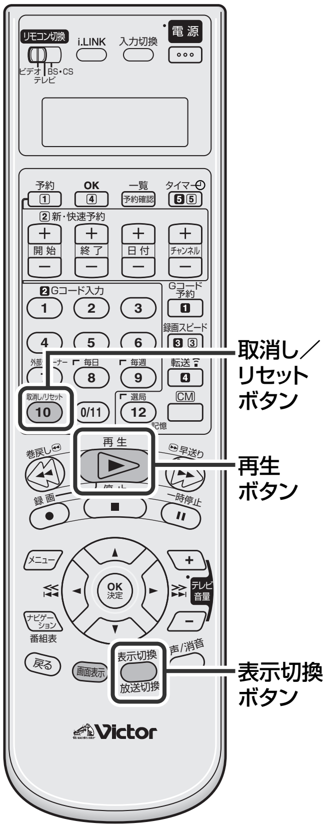
[表示切換]を押すごとに、テレビ画面が次のように切り換わります。

カウンター → テープ残量 → チャンネル → 時計 → カウンター

カウンターをリセットするには［取消し／リセット］を押す



テレビ画面のカウンターが、「0:00:00」に戻ります。



テープを繰り返し再生する（リピート再生）

［再生］を5秒以上押す



（5秒以上押し続ける）

途中で止めるには、停止(■)ボタンを押します。

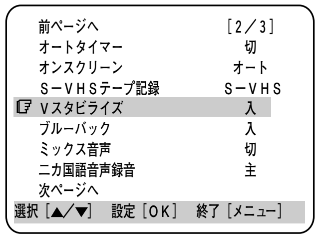
- 本体表示窓の「►」が点滅して、テープの再生を50回繰り返します。
- D-VHSのLS3、LS5モードでは、リピート再生できません。

テープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

モード選択画面のVスタビライズ(ビデオスタビライザー)を「入」にしてください。
(☞**42** ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。

テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。

- 録画中、スロー再生中は、効果がありません。



ご注意

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電があったときは、本体表示窓が「−−:−−」になります。

メモ

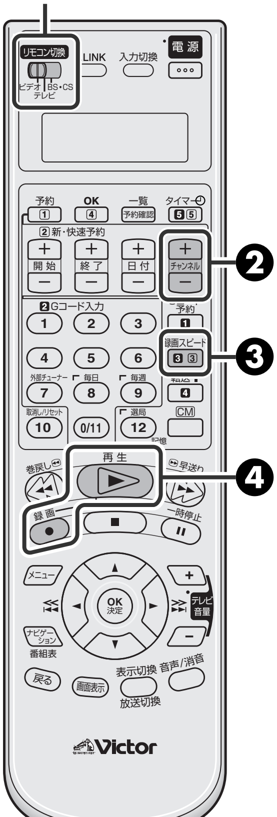
- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されていないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューの「モード選択➡オンスクリーン」を「切」にしてください。(☞**42**ページ)
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「−−−−」になったり、点滅したりすることがあります。

番組を録画する

録画する

BS デジタル放送の番組を録画するときは、☞**56** ページをご覧ください。

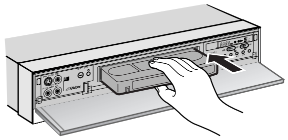
リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞**17** ~ **23** ページ)
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

❶ つめのついたテープを入れる


テープの見える面を上にし、
中央部をゆっくり押します。

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- S-VHS/VHSテープを入れると、本体表示窓のS-VHSランプが点灯し、S-VHS/VHS記録できます。
- 使用するテープと記録方式については、☞**44**ページをご覧ください。

❷ [チャンネル＋／－]を押して番組を選ぶ



❸ [録画スピード]を押して録画スピードを選ぶ



- 押すごとに、録画スピードが切り換わります。
  SP(標準)：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで画質を重視するとき
  EP(3倍)：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで3倍長く録画するとき

❹ [録画]を押しながら[再生]を押す



を押しながら



- 本体で操作するときは、録画(●)ボタンを押します。

ご注意

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

メモ

リモコンの数字ボタン(0~9)でチャンネルを選ぶときは

① リモコンのリモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。
② 数字ボタン（0 ~ 9）を押す。
例： 4 チャンネルを選ぶときは 4 を押す。
例： 10 チャンネルを選ぶときは
1、0/11 と続けて押す。
例： 外部入力を選ぶときは
0/11 を押す。強制的に「L-1」入力に切り換わります。

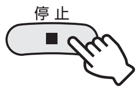


録画を一時停止する



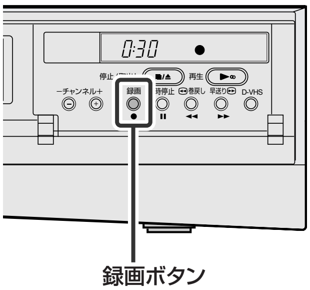
録画が一時停止されます。
本体表示窓のチャンネル表示(または時計や録画スピード表示)が点滅します。
再び録画を始めるには、再生(▶)ボタンを押します。

録画をやめる



録画時間を設定する(ワンタッチタイマー録画)

録画中に録画時間を設定できます。
録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

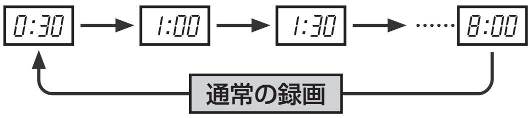


録画中に



本体のボタン

押すごとに、録画時間(最長8時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。



録画を途中でやめるには、停止(■)ボタンを押します。

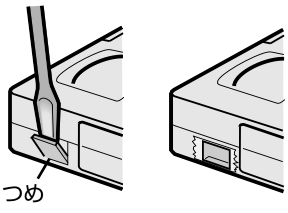
録画中に別の番組を見る(裏番組録画)

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。



メモ

- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、テープは停止します。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、メニューの「モード選択➡二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞**43**ページ)
- モード選択画面の「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。くわしくは「最適な画質で録画・再生する」をご覧ください。(☞**74**ページ)

G コード® 機能を使って予約する（G コード® 予約）

簡単な録画予約の方法です。新聞のテレビ欄などに記載されている G コード番号を使って録画予約します。
G コード番号を使って録画予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。
もう 1 度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。(☞**36** ページ)

i.LINK 対応 BS･110 度 CS デジタルチューナーやデジタル CS チューナーで受信した番組を予約するときは、チューナー側で予約します。くわしくは、BS･110度CSデジタルチューナーまたはデジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。

準備
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。(☞**37** ページ)
- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。(☞**44** ページ)

リモコン切換スイッチ「ビデオ」側

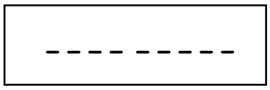


取消しボタン

❶ [Gコード予約] を押す



リモコン液晶表示窓



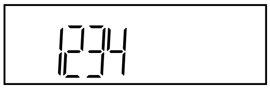
❷ 数字ボタンを押してGコード番号を入力する



数字の0は [0/11] を押します。

- 番号を間違えたときは、「取消し」を押します。

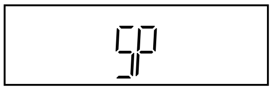
リモコン液晶表示窓



❸ [録画スピード] を押して録画スピードを選ぶ



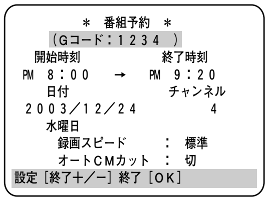
リモコン液晶表示窓



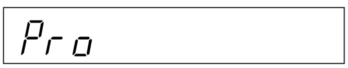
- 押すごとに、録画スピードが切り換わります。
  SP ←→ EP

❹ [転送] を押してGコード番号を本体へ向けて転送する





- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
  転送時に本体表示窓に「Err」や、テレビ画面に「Gコードナンバーが違います 確認して再度入力してください」と表示されたときは、左のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。



本体表示窓

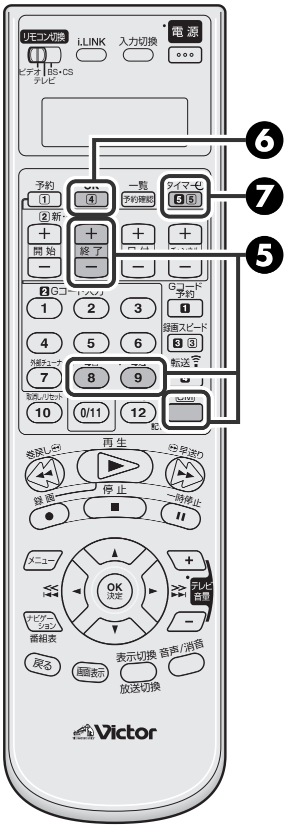
メモ

途中で止めるときは
取消しボタンを押します。表示している予約が削除されます。

転送時に本体表示窓に「Err」と表示されたときは
- 次の点を確認してください。
  - 番組の開始時刻が過ぎていないか
  - Gコード番号が正しいか（Gコード番号を入力し直してください）
  - ガイドチャンネルの設定がされているか（☞**36**ページ）

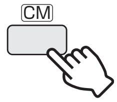
- 転送時に本体表示窓に「FULL」、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示されたときは、すでに24予約分登録されています。

BSデジタル番組を録画予約するときは、58ページをご覧ください。



❺ 必要に応じて、次の設定をする

CMカットして録画したいときは



押すごとに、オートCMカットの「する/しない」が切り換わります。

- オートCMカットについては、☞72ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは



曜日の表示が「毎週」になります。

- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは



曜日の表示が「月ー金」になります。

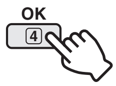
- もう1度押すと元に戻ります。

録画終了時刻を変更したいときは



押すごとに、録画終了時刻が1分単位で延長（または短縮）されます。
押し続けると30分単位で延長（または短縮）されます。

❻ [OK]を押して予約を終了する



「番組予約を完了しました　タイマーを入れてください」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶から❻をくり返します。

❼ [タイマー（◷）] を押して本機を録画予約の待機状態にする



- 表示窓の「◷」が点灯し、電源が切れます。
  これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画予約をしているときは、表示窓の「◷」は点灯し続けます。

見る・録画・予約

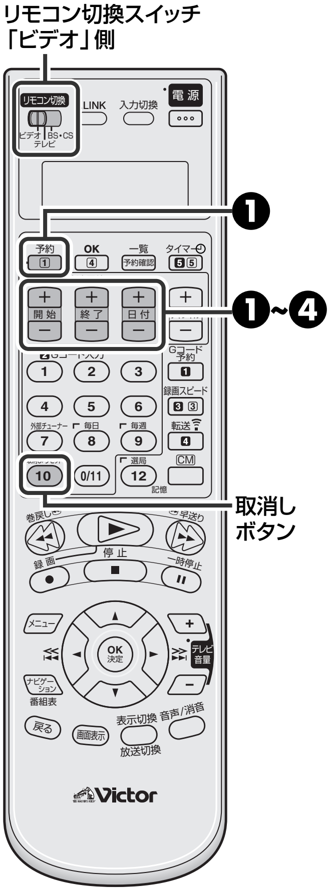
メモ

- Gコード番号で録画予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、☞54ページの予約確認することをおすすめします。
- 「ぴったり録画」が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。（☞42ページ）
  また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- D-VHS録画時は、「ぴったり録画」と「オートCM カット」は働きません。

G コード® 機能を使わずに予約する（新・快速録画予約）

録画予約する

録画したい番組の開始時刻、終了時刻、チャンネルなどの情報を入力して録画予約します。



準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。(☞**37** ページ)
- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。(☞**44** ページ)

❶ [予約]を押して「番組予約」画面を表示する



＊ 番組予約 ＊
開始時刻　　　　終了時刻
AM−−：−−　→　AM−−：−−
日付　　　　　　チャンネル
−−−−／−−／−−　　−−−
録画スピード　：　標準
オートCMカット　：　切
設定 [＋／−] 終了 [OK]

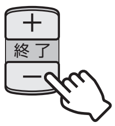
❷ [開始＋／−]を押して録画の開始時刻を設定する



- 押すごとに、録画の開始時刻が１分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

＊ 番組予約 ＊
開始時刻　　　　終了時刻
PM　8：00　→　PM−−：−−
日付　　　　　　チャンネル
−−−−／−−／−−　　−−−
録画スピード　：　標準
オートCMカット　：　切
設定 [＋／−] 終了 [OK]

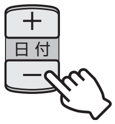
❸ [終了＋／−]を押して録画の終了時刻を設定する



- 押すごとに、録画の終了時刻が１分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

＊ 番組予約 ＊
開始時刻　　　　終了時刻
PM　9：00　→　PM11：00
日付　　　　　　チャンネル
−−−−／−−／−−　　−−−
録画スピード　：　標準
オートCMカット　：　切
設定 [＋／−] 終了 [OK]

❹ [日付＋／−]を押して録画の日付を設定する



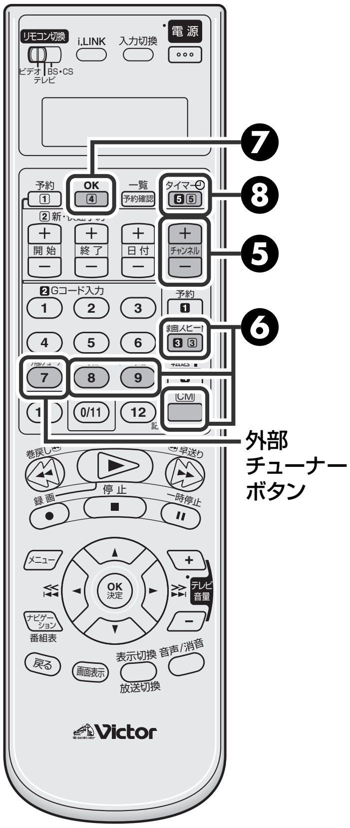
- 押すごとに、日付が1日単位で変わります。

＊ 番組予約 ＊
開始時刻　　　　終了時刻
午後　8：00　→　午後　9：20
日付　　　　　　チャンネル
2003／12／24　　−−−
水曜日
録画スピード　：　標準
オートCMカット　：　切
設定 [＋／−] 終了 [OK]

i.LINK対応BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルＣＳチューナーで受信した番組を予約するときは、チューナー側で予約します。
くわしくは、BS・110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、i.LINK設定メニューの「リンク（LINC）」を「オート」に設定してください。(☞43ページ)

メモ
- すでに予約が「24」登録されていると、予約ボタンを押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。
- 最初からやり直したいときは、取消しボタンを押したあと、手順❷からおこなってください。

BSデジタル番組を録画予約するときは、58ページをご覧ください。



❺ [チャンネル＋／－]を押してチャンネルを選ぶ



●外部機器から録画するときは、チャンネル欄に次のように表示させます。
・前面入力端子：F-1
・背面入力端子：L-1またはL-2
・i.LINK端子：i.LINK
i.LINKを選ぶときは、リモコンの数字ボタンの7（外部チューナー）を押してください。i.LINKチャンネルを選択したときのみ、オートまたはHSの録画スピードが選択できます。

```
＊ 番組予約 ＊
開始時刻              終了時刻
PM 9：00    →     PM11：00
日付                チャンネル
2003／12／24             4
水曜日
録画スピード    ：  標準
オートCMカット  ：  切
設定［＋／－］終了［OK］
```

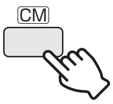
❻ 必要に応じて次の設定をする

録画スピードを変更したいときは



押すごとに、録画スピードが切り換わります。
標準⟷3倍

CMカットして録画したいときは



押すごとに、オートCMカットの「する/しない」が切り換わります。（☞**72**ページ）
●ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは



曜日の表示が「毎週」になります。
●もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは



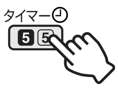
曜日の表示が「月ー金」になります。
●もう1度押すと元に戻ります。

❼ [OK]を押して予約を終了する



「番組予約を完了しました　タイマーを入れてください」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
●続けて、他の番組を予約するときは、手順❶から❼をくり返します。

❽ [タイマー(◴)]を押して本機を録画予約の待機状態にする



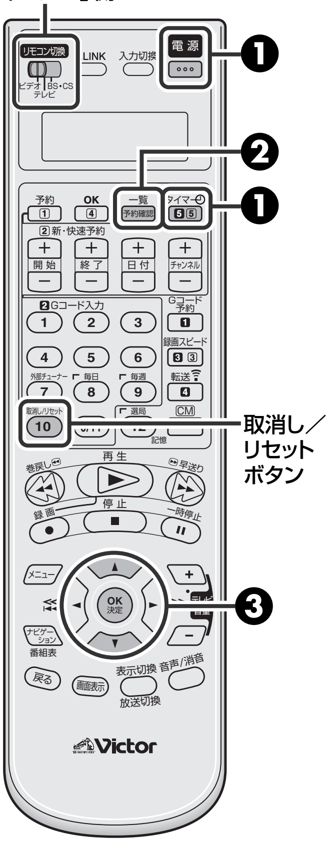
●表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。
これで、録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
●別の録画予約をしているときは、表示窓の「◴」は点灯し続けます。

メモ
●「ぴったり録画」が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。（☞**42**ページ）
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
●D-VHS録画時は、「ぴったり録画」と「オートCMカット」は働きません。
●録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
●録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、☞**54**ページの予約確認することをおすすめします。

予約を確認・変更・取消しする

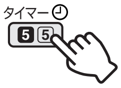
予約を確認・変更・取消しする

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。



❶ [タイマー(◴)]または[電源]を押して表示窓の◴を消す

メニューの「オートタイマー」が「切」のとき



を押してから



メニューの「オートタイマー」が「入」のとき



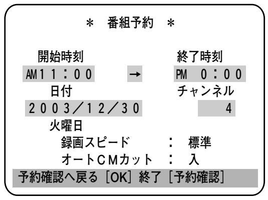
❷ [予約確認]を押して予約の確認画面（一覧表示画面）を表示する





- 録画予約している全番組が表示されます。
- 毎週予約は、実行されるまでは１回目の日付が表示されます。

❸ [▲／▼]を押して確認、変更または取消したい予約を選び、[OK]を押す



変更したいときは
- ☞**52**、**53**ページの手順❷から❻を参照してください。

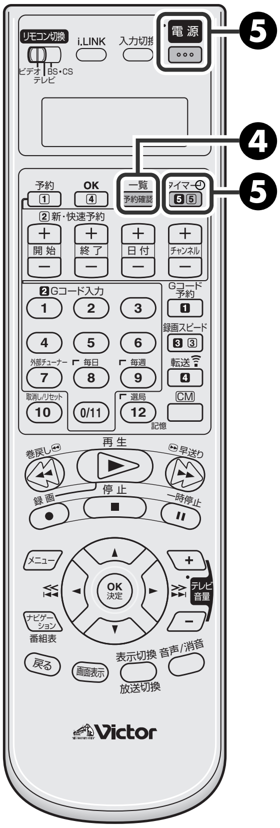
取消したいときは



- 取消し/リセットボタンを押すと、表示中の録画予約が取り消されます。

手順❷の画面に戻したいときは
- OKボタンを押します。

メモ
- **予約内容の表示を止めるには**
  予約確認ボタンを押します。



❹ [予約確認]を押す



- 予約の確認画面が消えます。

❺ [タイマー(◴)]または[電源]を押して録画予約の待機状態にする



または



- 表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。
- 手順❶で押したボタンと同じボタンを押してください。

予約した後で本機を使う

メニューの「モード選択➡オートタイマー」の設定によって、
操作のしかたが異なります。（☞**42**ページ）

- **メニューの「モード選択➡オートタイマー」が「切」（お買い上げ時の設定）のときは：**



タイマー（◴）ボタンを押します。
録画予約待機が解除されます。
（表示窓の「◴」が消えます。）
これで、本機を通常のように操作することができます。
本機を使い終わったら、もう1度**タイマー**（◴）ボタンを押します。
再び表示窓の「◴」が点灯し、録画予約待機中になります。

- **メニューの「モード選択➡オートタイマー」が「入」のときは：**

（リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にしたあとで）**電源**ボタンを押すと、本機の電源が入り、録画予約待機が解除されます。
（表示窓の「◴」が消えます。）
これで、本機を通常のように操作することができます。
本機を操作後、ビデオ電源を切ると、再び表示窓の「◴」が点灯し、録画予約待機中になります。



メモ

本機を使い終わったあとは
- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に「◴」が点灯していることを確認してください。

BSデジタル番組を録画する

録画する

録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index（インデックス） Search（サーチ） System（システム））と呼ばれる信号が記録されます。（☞**68**ページ）

準備
- 各機器と接続します。（☞**24**ページ）
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

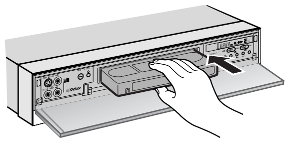
リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



3

❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- D-VHSテープを入れてi.LINK入力を選択したときのみ、本体表示窓のD-VHSランプが点灯し、D-VHS記録ができます。
- 使用するテープと記録方式については、☞**44**ページをご覧ください。



テープの見える面を上にし、
中央部をゆっくり押します。

❷ BS・110度CSデジタルチューナー側のリモコンで、見たい番組のチャンネルを選ぶ

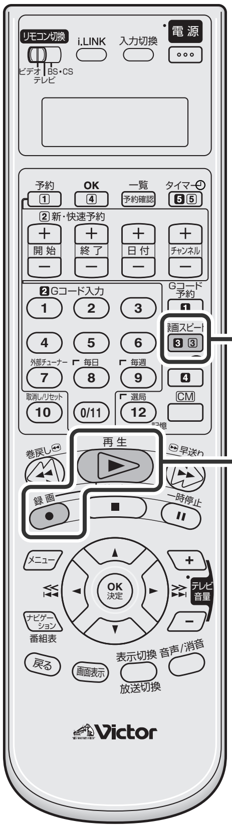
- メーカー設定をすると、本機のリモコンでチューナーを操作することができます。（☞**20**ページ）

❸ [チャンネル＋／－]を押して外部入力(I-1またはL-1など)を選ぶ



- 本体のチャンネル＋／－ボタンでも操作できます。

ご注意
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機で録画したテープをAACデコード機能を内蔵していないD-VHSビデオデッキで再生したとき、音声が出力されないことがあります。



❹ [録画スピード]を押して録画スピードを選ぶ



- 押すごとに、録画スピードが切り換わります。

  オート　：番組の情報量（転送レート）に合わせて、自動的にHSまたはSTDモードで録画するとき

  HS　　 ：デジタルハイビジョン放送をそのまま録画するとき

- i.LINK入力を選択したときは、オートとHSのみ選択できます。また、S-VHS／VHS記録はできません。
- 下の「録画スピードの選択」についてもご覧ください。

❺ [録画]を押しながら[再生]を押す



を押しながら



- 本体の録画(●)ボタンでも操作できます。
  このときは、再生(►)ボタンを押す必要はありません。

録画スピードの選択

BS･110度CSデジタル放送は、番組ごとに情報量(転送レート：1125i,750p,525p,525i)が異なります。
番組ごとの情報量に合わせて録画できるように、録画スピードで「AUTO(オート)」モードが選択できます。
i.LINK端子にBSデジタルチューナーなどを接続した場合のみ、「AUTO(オート)」モードを選択できます。

録画中の本体表示窓
AUTO(オート)選択時

AUTO

↕ 5秒間ずつ交互に表示

STD

録画スピード設定		AUTO※		HS	
		録画方式	録画モード	録画方式	録画モード
画像フォーマット(i.LINK入力)	マルチ番組	ビットストリーム記録	HS	ビットストリーム記録	HS
	1125i				
	750p				
	525i/525p(高レート)				
	525i/525p(低レート)		STD		
	ラジオ/データ放送				

※：EPG録画時は、このモードになります。

マルチ番組　　　　　：マルチビュー、マルチプログラム番組のことです。
ビットストリーム記録：i.LINK端子に入力された信号をそのままテープ上に記録することを「ビットストリーム記録」といいます。
ラジオ/データ放送　：BS･110度CSデジタルチューナーからの信号を入力した時の場合です。

ご注意

- 録画一時停止中は、チャンネルの切り換えはできますが、録画スピードの切り換えはできません。
- BS･110度CSデジタル放送には、著作権の保護上、録画制限のかかった番組があります。録画制限には、録画フリー･1回のみ録画可能･録画不可の3種類があります。
- マルチ番組の中に録画禁止の番組や音声放送だけの番組などが1つでもあると録画できません。本機のi.LINK端子では著作権保護に対応したデジタルデーターのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術はDTLA (Digital Transmission Licesing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

BS デジタル番組を予約する

BS･110 度 CS デジタルチューナーと i.LINK 接続して録画予約する（i.LINK 接続）

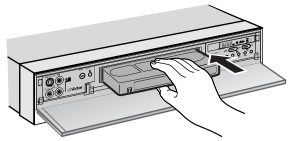
準備

- 各機器と接続します。（☞**24** ページ）
- BS･110 度 CS デジタルチューナー側の i.LINK 設定（i.LINK 登録および録画用 D-VHS の設定）を行ないます。（くわしくは BS･110 度 CS デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。）



❶ つめのついたD-VHSテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- 使用するテープと記録方式については、☞**44**ページをご覧ください。



テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ チューナー側で番組表を表示させ予約したい番組を選ぶ

❸ チューナー側で「デジタル録画予約」を選択し、必要な設定をする（チューナーの取扱説明書を参照）

- 録画スピードを選択できる機種は「オート」にしてください。

❹ チューナー側で「予約する」を選び、設定を終了する

❺ 本機の［電源］を押して電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とチューナーの電源が入り録画が開始されます。
- チューナーのi.LINK 端子から本機をコントロールして録画します。

開始または終了時刻を変更して録画予約したいときは
（チューナー側で変更できる場合、この操作は不要です）

1. D-VHS テープを入れ、D-VHS モードにしてください。
2. チューナー側で EPG 予約（ビデオリモート予約）をしてください。
3. 本機側でチャンネルを「i.LINK」に設定して録画予約してください。（☞**52**ページ）
   ･本機で録画予約した時間ぶんだけ録画します。
   ･チューナー側は、予約した時間ぶんだけ動作します。

ご注意

- 本機とチューナーだけを i.LINK 接続してください。
  i.LINK 機器を指定して録画予約できないため、複数の機器を i.LINK 接続した場合、予約した番組が録画されないことがあります。
- 録画スピードは、AUTO と HS のみ選択できます。
- メニューの「i.LINK 設定➡リンク（LINC）」を「オート」にしてください。（☞**79**ページ）

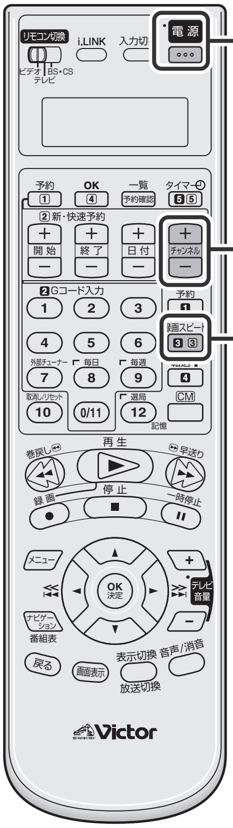
メモ

- EPG 録画するときは、BS･110度CSデジタルチューナー以外のi.LINK接続機器の電源を切っておいてください。
- 放送によっては録画できない番組があります。（メッセージが画面表示されます）
- BS･110度CSデジタル放送では、番組情報が送られてこないと、予約できないことがあります。

ビデオリモートコントローラーを使って録画予約する（アナログ接続）

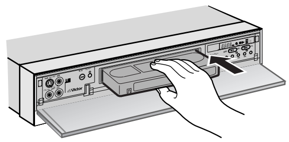
準備

- 本機とBS･110度CSデジタルチューナー、テレビを接続してください。（☞**24** ページ）
- BS･110度CSデジタルチューナー付属のビデオリモートコントローラーの設置およびビデオのメーカー設定を行なってください。（くわしくはBS･110度CSデジタルチューナーの取扱説明書を参照）



❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- 使用するテープと記録方式については、☞**44**ページをご覧ください。



テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ チューナー側で番組表を表示させ予約したい番組を選ぶ

❸ チューナー側で「アナログ録画予約」を選択し、必要な設定をする

（チューナーの取扱説明書を参照）

❹ チューナー側で「予約する」を選び設定を終了する

❺ [チャンネル＋／－]を押してBS･110度CSデジタルチューナーと接続しているアナログ入力(L-1など)を選ぶ

❻ [録画スピード]を押して録画スピード(SP／EP)を選ぶ

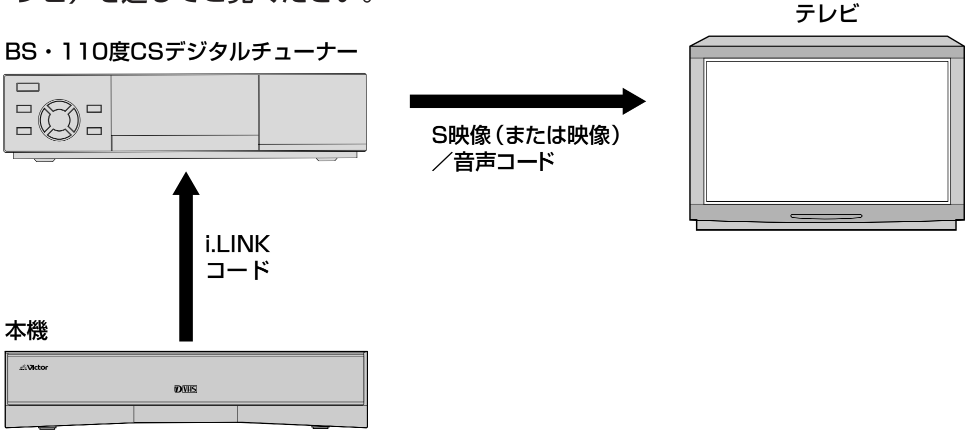
❼ [電源]を押して電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とチューナーの電源が入り録画が開始されます。
- チューナー付属のビデオリモートコントローラーからビデオのリモコン信号を出力してビデオをコントロールします。

D-VHS 記録したテープを再生する

D-VHS 記録したテープを再生する

D-VHS記録したテープを再生するときは、デジタルチューナー（またはデジタルチューナー内蔵テレビ）を通してご覧ください。



直接テレビと接続して見ることはできません。

準備

- 各機器と接続します。（☞**24** ページ）
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

❶ テレビの電源を入れ、デジタルチューナーを見るときの入力に切り換える

❷ テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

❸ デジタルチューナーの電源を入れ、デジタルチューナー側で本機をLINC（リンク）する

- くわしくは、デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- LINCについては☞**89**ページをご覧ください。

❹ [再生]を押す



再生が始まります。

❺ 必要に応じてデジタルチューナー側で音声言語、字幕、アングル、マルチプログラムの切り換えをする

- 切り換え操作ついては、デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

メモ

- デジタルチューナーがテレビに内蔵されている場合は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

次のような症状は、本機の性能であり故障ではありません

D-VHS 記録したテープの再生について

- テープの傷や瞬間的に発生するヘッドの汚れなどによる画面の乱れが大きいため、モザイク画（ブロック状のノイズ）になったり、静止画になることがあります。
- 再生ボタンを押してから画像と音声が出るまでに時間がかかります。
- 再生スピードを変えたときは（特殊再生から通常再生にしたときなど）、画像と音声が出るまでに時間がかかります。また、数秒間は画像と音声がずれることがあります。

LS5 モードの再生について

- STD モードに比べテープスピードが 5 倍遅いため、再生ボタンを押してから、画像と音声が出るまでに約 1 分かかることがあります。
- 再生開始時に映像がきれいになるようにオートトラッキングが働くため、約 2 分間は静止画になったり、ブロック状のノイズが出ることがあります。
- LS5/LS3 モードでシャトルサーチを行った場合、静止画面が続いたりブロック状のノイズが出ることがあります。

D-VHS 記録したテープのシャトルサーチ画像について

- コマ送りのような画像になります。
- 画面の下半分にブロック状のノイズが出ることがあります。
- 無記録部分になると、最後の画像の静止画になります。

画像／音声が乱れる

- i.LINK 端子を使ってダビングしたとき、画像や音声が乱れることがあります。
このようなときは、本機に D-VHS テープを入れ、電源を一度切／入してから録画を始めてください。直らないときは、i.LINK 端子を使わずに映像／音声入力端子からダビングしてください。

他の機器と i.LINK 接続するときは

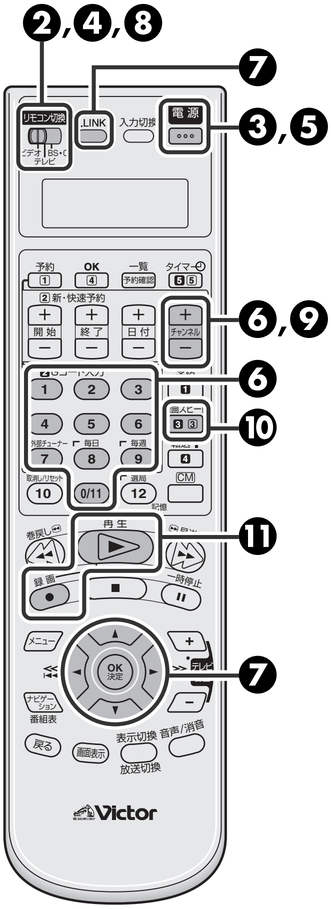
- 2台以上の機器とi.LINK接続しているときは、本機と通信していない機器の電源は入れないでください。
- 電源を入／切すると、画像や音声が乱れることがあります。また、正常に動作できなくなることがあります。
- なるべく、本機と通信する機器のみを i.LINK 接続してお使いください。
- DV 端子付きビデオカメラと i.LINK 接続した場合、本機は接続機器の認識ができないため、ダビングすることはできません。
このとき、本体表示窓には「I -　」と表示します。

ワイドテレビでワイド画面にならない

- 本機背面の S 映像出力端子に 2 台の機器を接続している場合、接続する機器によっては、ワイド用の識別信号が正しく出力されません。このようなときは、テレビ側で画面サイズを切り換えてください。

デジタル CS 番組を録画する

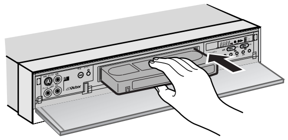
デジタル CS チューナーと接続して録画する



準備 ● 各機器と接続します。(☞**25** ページ)

❶ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
- 使用するテープと記録方式については、☞**44**ページをご覧ください。



テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❷ リモコン切換スイッチを「テレビ」側にする



❸ [電源]を押してテレビの入力を本機をつないだ入力にする



❹ リモコン切換スイッチを「BS・CS」側にする



- テレビに内蔵の110度CSチューナーを使用するときは、リモコンの切換スイッチを「テレビ側」にします。

❺ [電源]を押してデジタルCSチューナーの電源を入れる



i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組を予約するときは、デジタルCSチューナー側で予約します。くわしくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、i.LINK設定メニューの「リンク(LINC)」で「オート」に設定してください。(☞43ページ)

メモ

- デジタルCSチューナーの詳しい操作方法については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 下のようなときは手順❼の操作をしてください。
  - ❶ i.LINKコードを抜き差ししたとき
  - ❷ 停電があったとき
  - ❸ 他のi.LINK端子付き機器でLINCしたとき
- コントロールパネルを消したいときは、本機のリモコンのi.LINKボタンを押します。
- 本機はDTLA(The Digital Trans-mission Licensing Adminis-trator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することができません。DTLAについて詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- CSデジタル放送には、著作権の保護上、録画制限のかかった番組があります。録画制限には、録画フリー・1回のみ録画可能・録画不可の3種類があります。

❻ [数字]または[チャンネル＋／－]ボタンを押してデジタルCS放送のチャンネルを選ぶ



数字の0は[0/11]を押します。

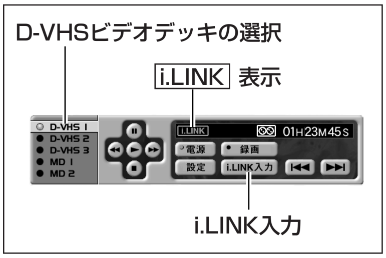
- **例**: 210チャンネルを選ぶときは、2、1、0/11と続けて押す。

❼ [i.LINK]を押して本機をLINC（リンク）する

- 本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは、接続しただけでは操作できません。必ずデジタルCSチューナーで本機をLINCしてください。(☞**89**ページ)

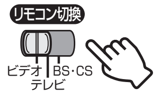
本機のリモコンを使う場合は、
① [i.LINK]を押すと、コントロールパネルを表示します。
② [▼／▲／◀／▶]を押して、操作したいD-VHSビデオデッキ（本機）を選び、[決定]を押します。
i.LINK 表示が点灯し、LINCされます。

コントロールパネル表示



- i.LINK 表示が点灯しないときは、
  ① [▼／▲／◀／▶]を押して、「i.LINK入力」を選びます。
  ② [決定]を押します。
- デジタルCSチューナーに付属のリモコンを使って操作する場合は、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

❽ リモコン切換スイッチを[ビデオ]側にする



- 背面の入力L-1端子に接続して録画する場合は、「L-1」を選びます。

❾ [チャンネル＋／－]を押してチャンネルを選ぶ



- HS、またはオートモードで録画する場合は、デジタルCSチューナーのi.LINK機器番号(I-1など)を選びます。
- 背面の入力L-1端子に接続して録画する場合は、「L-1」を選びます。

❿ [録画スピード]を押して録画スピードを選ぶ



- 押すごとに、録画スピード（オートまたはHS）が切り換わります。

⓫ [録画]を押しながら[再生]を押す



を押しながら



- 本体の録画(●)ボタンでも操作できます。
  このときは、再生(▶)ボタンを押す必要はありません。

本機で再生するときは
- 番組予約が解除されたり、メールが消えるなどの誤動作をする場合がありますので、本機で再生する前に、デジタルCSチューナーの電源を切ってください。

ご注意

- 本機とデジタルCSチューナー(TU-VCS1)を接続するときは、1対1の接続にしてください。
- ☞**43**ページでBSモニターを「入」にすると、手順❾で「I-1など」のチャンネルを選んだとき、デジタルCSチューナー側の画面表示(チャンネル、メニュー画面など)を見ることができます。
- デジタルCSチューナー(TU-VCS1)と接続してD-VHS記録した番組をシャトルサーチした場合、映像が不連続になったり、一瞬途切れる場合があります。
  また、一部の機器では映像が出ません。
- D-VHSテープにi.LINK端子からの信号をデジタル録画するときは、ビクター製デジタルCSチューナー(TU-VCS1)のコントロールパネルを表示したままにしていても、コントロールパネルは録画されません。
  ただし、アナログ録画するときは、コントロールパネルを表示したままにしておくと、コントロールパネルも一緒に録画されます。
- 「L-1」チャンネルでは、デジタルCSチューナー側の画面表示がそのまま記録されますので、録画中は、デジタルCSチューナー側の操作はしないでください。

ビデオナビゲーションを使う

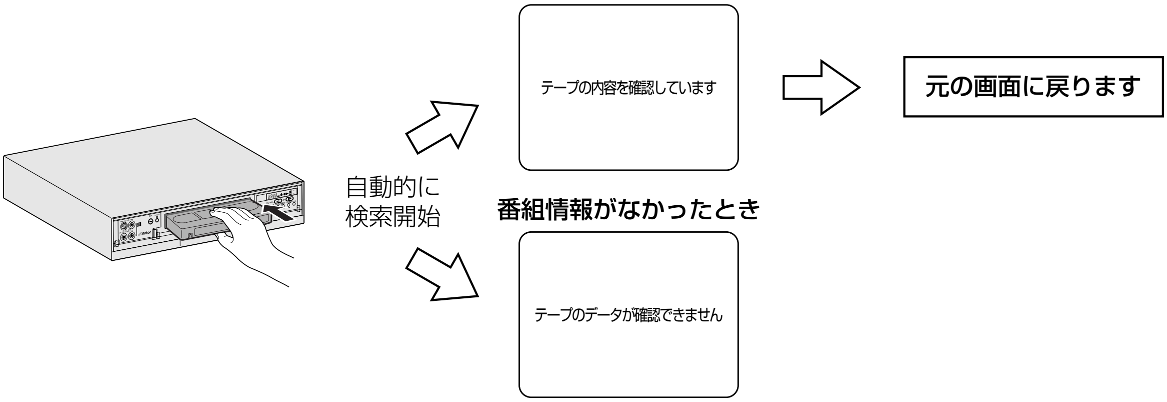
ビデオナビゲーションとは

本機は録画された番組情報（録画日時、チャンネル）をテープごとに記憶することができます。
カセットを入れて番組情報を一覧表示させてから､お好みの番組を選んで頭出し再生することができます。

本機のメモリーに記憶できる容量：テープ 1 本あたり 8 番組、最大 10 本ぶん

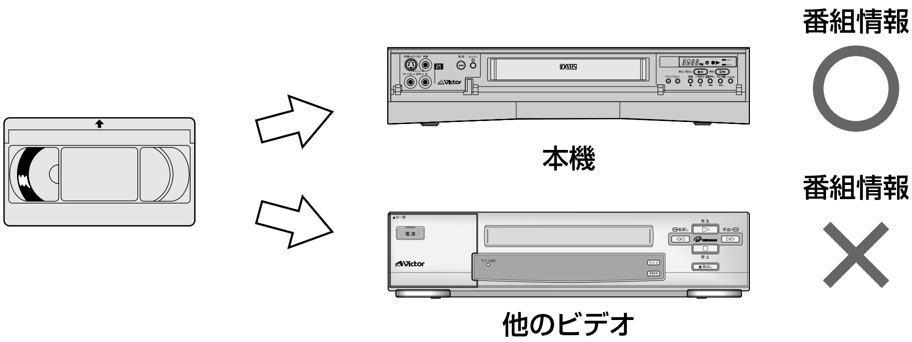
カセットを入れると

- ビデオナビゲーションに必要な番組情報を自動で検索します。
- 番組情報の検索中に、操作ボタン（再生ボタンなど）を押すと検索が中断されます。
  このようなときは番組情報は読み込まれません。



番組情報について

本機以外のビデオでは、番組情報を見ることはできません。



メモ

記憶できるテープ数が減ってきたら

- 本機で記憶できるテープ数が 3 本以下になると、番組情報を読み込み中に「残りテープ」として本数が同時に表示されます｡記憶できるテープ数がなくなったときは、一番古い番組情報から順に、新しい番組情報に上書きされます。

1本のカセットに8番組より多く登録すると

- 一番古い番組情報から順に消されていきます。

つめがないカセットを入れたときは

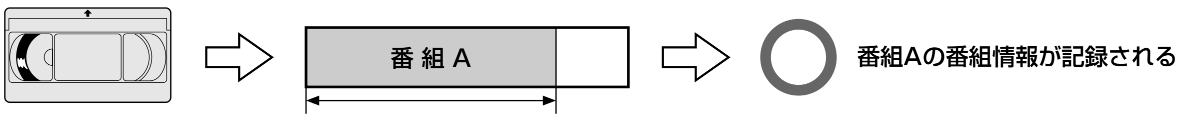
- 自動的に再生するため、番組情報の検索はしません。
  番組情報を見たいときは、メニューから「ビデオナビゲーション」を選んでください。

ビデオナビゲーション機能の「入/切」について

- ビデオナビゲーション機能の｢入/切｣はメニューの｢モード選択｣画面から行います。

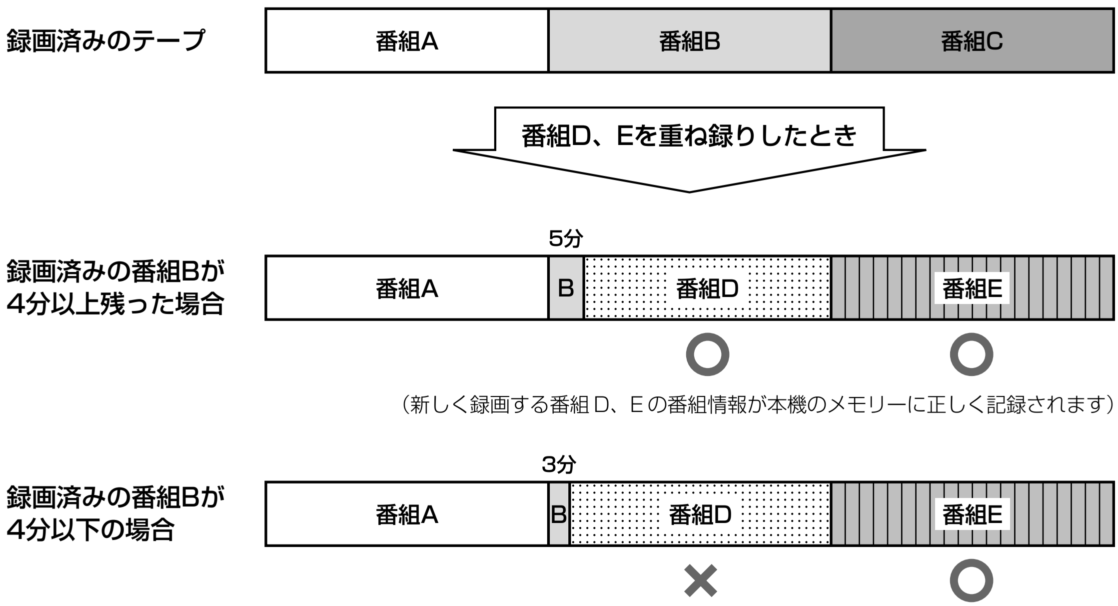
正しく番組情報を記録するために

番組を録画するとき



HS　：　5分以上録画
STD：10分以上録画
LS3 ：30分以上録画
LS5 ：50分以上録画
標準：　5分以上録画
3倍　：15分以上録画

以前録画したテープに重ね録りするとき



（新しく録画する番組 D、E の番組情報が本機のメモリーに正しく記録されます）

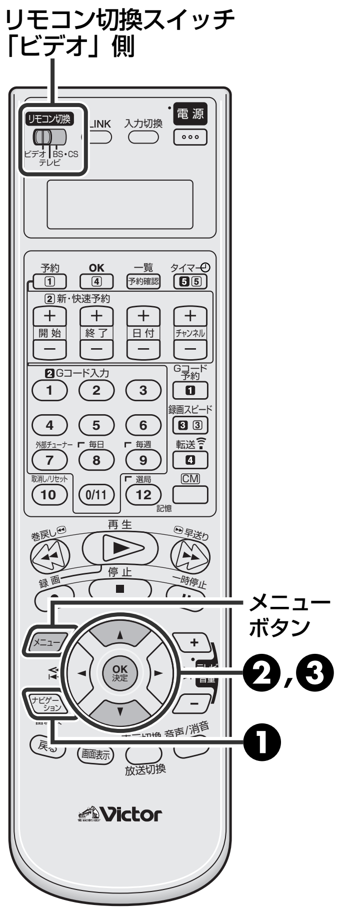
（新しく録画する番組 E の番組情報のみ本機のメモリーに正しく記録されます）

ご注意

- 一本のテープに2つ以上の番組を録画するときは、番組の間に未記録部分ができないように録画してください。途中に未記録部分があると番組情報が正しく記憶できないことがあります。
- 番組情報の検索を中断してから録画予約すると、正しく番組情報が記憶されません。画面の「テープの内容を確認しています」と言う表示が消えてから録画予約待機にしてください。
- 録画一時停止でつなぎ撮りした番組は、番組情報に登録されません。
- 録画中に停電が発生しても停電補償時間内に復旧すれば、録画は再開します。ただしこの場合、1本のテープの中に停電前後で別々の番組情報として登録します。そのため、前後どちらかの番組情報しか表示できません。
- 番組情報は本機のメモリーに記憶されます。万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えてしまったときは、復元することはできません。

便利な機能

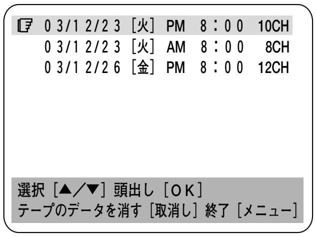
番組情報の一覧表から見たい番組を探す



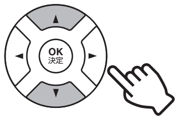
❶ [ナビゲーション]を押す



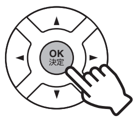
- 番組情報一覧表を表示します。
- メニュー画面から表示させることもできます。[メニュー] を押したあと [▲／▼] を押して、「ビデオナビゲーション」を選んで [OK] を押します。



❷ [▲／▼]を押して番組情報一覧表から番組を選ぶ



❸ [OK]を押す



番組情報一覧表から番組を選ぶと、選ばれた番組を自動的に頭出し再生します。頭出し中には画面に進行状況が表示されます。

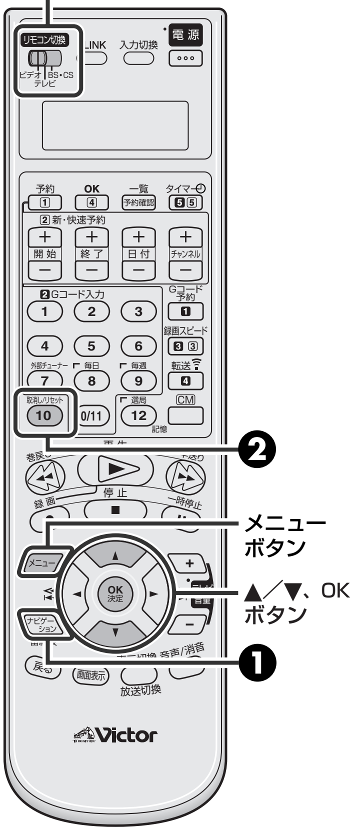
メモ

番組情報があるのに見つからないとき

- 「テープのデータが確認できません」と表示されてから、巻き戻し方向へ頭出し再生をしてください。(☞68ページ) 再生が始まったら［停止］を押し、手順❶から操作してください。

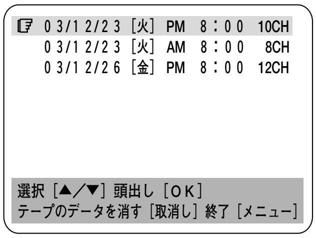
テープの番組情報の内容を全て消すには

本機で録画したテープに再度最初から録画するときは、そのテープの番組情報を全て消すことをおすすめします。



❶ [ナビゲーション]を押す





- 番組情報一覧表を表示します。
- メニュー画面から表示させることもできます。[メニュー] を押したあと [▲/▼] を押して、「ビデオナビゲーション」を選んで [OK] を押します。

❷ [取消し/リセット]を3秒以上押す



- 表示されている番組情報が全て消去されて、テレビ画面に戻ります。



すべての番組を見終わって、テープに再度録画するときは

- 録画を行う前に、番組情報をすべて消すことをおすすめします。消さないで上書きをしたときは、正しく動作しないことがあります。
- VHS-Cテープについては、正しく動作しないことがあります。
- 録画した個々の番組情報の消去はできません。

便利な機能

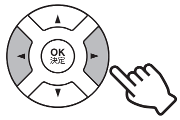
番組の頭出しをする／再生スピードを変える


◀／▶ボタン

番組（録画）の頭出しをするには

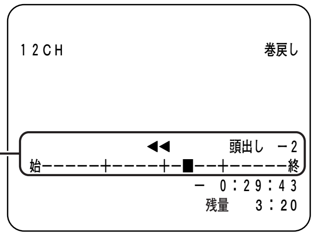
本機では、録画の始めに頭出し信号（VISS）をテープに書き込みます。
この信号を使って､録画の頭出しを簡単にすることができます。
テープの何番目に見たい番組が録画されているか､わかっているときに便利です。
番組の頭出しは､前後９番目まで指定できます。

停止中に



- 押すごとに､頭出しの番号がひとつずつ増えて(減って)いきます。

テレビ画面



指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）の
ひとつ前の番組を見たいとき

頭出し番号の指定のしかた

今見ている番組▼

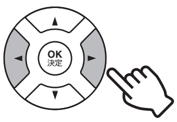
	ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画	
番号…	−3	−2	−1	1	2	3

←巻き戻し後再生　　早送り後再生→

［例］**次の番組を頭出しするとき**　　　　：▶ボタンを**1回**押す
今見ている番組を頭出しするとき：◀ボタンを**1回**押す
ひとつ前の番組を頭出しするとき：◀ボタンを**2回**押す

再生スピードを変えるには（可変速再生）

再生中のスピードを連続して変えることができます。
S-VHS/VHS 記録したテープで操作できます。



再生中に[◀／▶]を押す

- 押すごとに､再生スピードが変わります。
  通常再生に戻すには再生ボタン(▶)を押します。
- 静止画再生中に押すと､コマ送り再生になります。



	逆転スピード再生			逆転再生	逆転スロー再生		スロー再生		通常再生	スピード再生			
標準(SP)	−7	−5	−3	−1	−1/6	−1/18	1/18	1/6	1	2	3	5	7
3倍(EP)	−21	−7	−3	−1	−1/6	−1/18	1/18	1/6	1	2	3	7	21

←巻戻し再生　　早送り再生→

メモ

再生スピードを変えたときには

- 静止画再生､コマ送り再生､スロー再生､可変速再生中は､音声が聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは､トラッキング調節を行ってください。(☞71ページ)
- 録画スピードが切り換わる部分では､画像が乱れることがあります。
- 静止画再生やスロー再生が5分以上続くと､本機は自動的に停止します。ただし､逆転スロー再生のみ､30秒で停止します。

聞きたい音声を選ぶ

音声を切り換えるには



音声／消音
ボタン

二重音声放送（二カ国語放送など）やステレオ放送を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。
メニューの「モード選択➡オンスクリーン」が「オート」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。（☞**42** ページ）
録画中に音声を切り換えても、録画には影響しません。
D-VHS 記録したテープを再生したときや、i.LINK 入力を選択したときは、左右の音声（二重音声やステレオ音声）のみ選択できます。



● 押すごとに、聞こえる音声が変わります。

二重音声放送を（主音声と副音声で）録画したテープのとき

メニューの「モード選択➡ミックス音声」が「切」のとき（☞**43**ページ）

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声（主音声）
テレビ画面の表示	左 右	左	右	ノーマル

ステレオ放送を録画したテープのとき

メニューの「モード選択➡ミックス音声」が「切」のとき（☞**43**ページ）

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声（モノラル音声）
テレビ画面の表示	左 右	左	右	ノーマル

メニューの「ミックス音声」が「入」のとき

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえます。

聞こえる音声	ミックス音声（左右の音声+ノーマル音声）	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス	ノーマル	ノーマル

メモ

副音声も録音したいときは

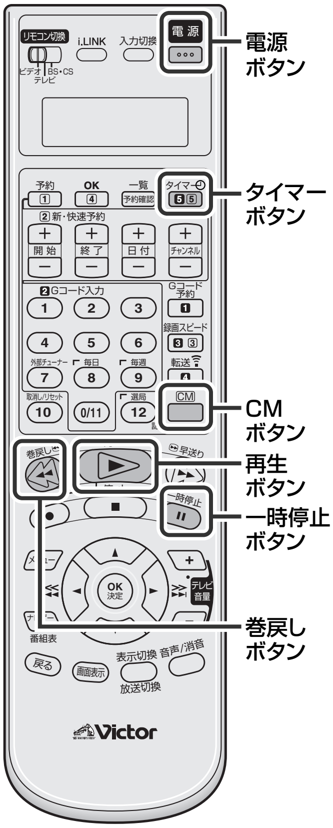
● お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューの「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞**43**ページ）

ミックス音声について

● お買い上げ時の設定では、メニューの「ミックス音声」は「切」になっています。（☞**43**ページ）

● メニューの「ミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。
このときは、メニューの「ミックス音声」を「切」にしてください。（☞**43**ページ）

再生に便利な機能



コマ送りやスローで再生する

VHS



再生中に[一時停止]を押す

- 1度だけ押すと、一時停止になり、静止画がテレビ画面に表示されます。(静止画再生)
- 2秒以上押し続けると、スローで再生されます。(スロー再生)



一時停止中に[一時停止]を押す

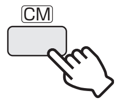
- くり返し押すと、押すごとに映像が1コマずつコマ送りで再生されます。(コマ送り)

再生を止めるには、停止（■）ボタンを押します。

コマーシャルを飛ばして再生する

VHS

テープを再生中に、コマーシャル部分を30秒単位で早送りすることができます。(CMスキップサーチ)



再生中に[CM]を押す

- 1度押すと、早送りが始まります。その後押すごとに、早送りの時間が30秒ずつ(最長2分まで)増えていきます。
- D-VHS記録したテープでも操作できますが、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 録画スピードの「LS5」モードで録画されたテープには対応していません。

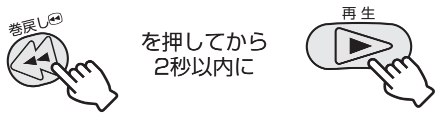
その他の便利な機能 (ネクストファンクションメモリー)

D-VHS　VHS

再生中や、テープを見終わったときに使える便利な機能があります。
用途に合わせてお使いください。

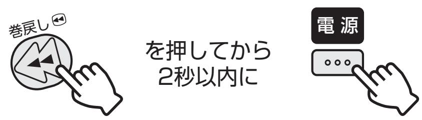
● テープを巻戻してから再生する

途中まで見たテープを見直すときなどにお使いください。



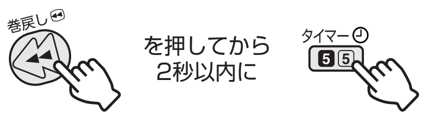
● テープを巻戻してから電源を切る

留守録したテープを見終わって、お休みになるときなどにお使いください。



● テープを巻戻してから録画予約の待機状態にする

録画予約機能と合わせてお使いください。

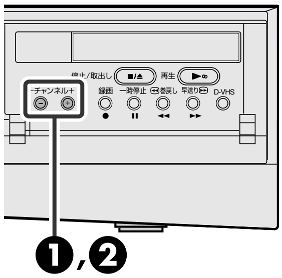


再生中の映像を調節する

D-VHS VHS

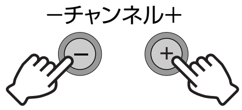
トラッキングを調節する

トラッキングとは、テープにヘッドの位置を正確に合わせ、記録信号を読み出して行く動作のことです。
本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。
オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。



❶ 再生中に

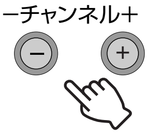
本体の[チャンネル+／−]を同時に押して、オートトラッキングを解除する



(同時に押す)

- 押すごとに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。(☞38ページ)

❷ [チャンネル+／−]を押してトラッキングを調節する



静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは
① 静止画再生中は、一時停止ボタンを２秒以上押してスロー再生にします。
- D-VHS モードで再生時、スロー再生はできません。

② チャンネル+または−ボタンを押して調節します。

静止画再生中に、映像が上下にずれるときは
チャンネル+または−ボタンを押して調節します。

スロー再生中に、映像が上下に揺れるときは
①一時停止ボタンを押して静止画再生にします。
②チャンネル+または−ボタンを押して調節します。

■録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。

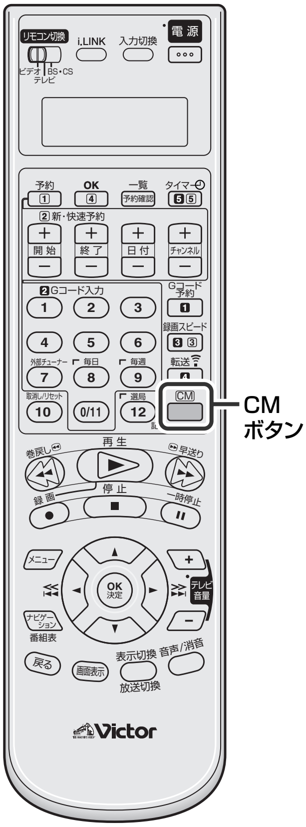
メモ

- 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。
- 大切な記録には標準モードをおすすめします。標準モードは3倍モードよりもヘッドによるテープ上への記録の読み書き面積が大きく、長期使用や他のビデオデッキとのテープ交換再生時でもヘッドと記録部分との位置がずれにくくなります。
  95ページの「美しい画面をご覧いただくために」もご覧ください。

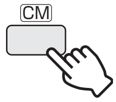
ご注意

- 標準モード以外で録画されたテープを他のビデオデッキで再生するとノイズが出る場合がありますので、自己録再生(録画したビデオデッキそのもので再生)することをおすすめします。
- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。

CM をとばして録画する（オート CM カット）



二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オート CM カット」です。



停止中または録画中に[CM]を押す

する　：CM がカットされる
しない：CM がカットされない

- 押すごとに、オートCMカットの「する／しない」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。
- 録画予約時も設定可能です。（☞**51**、**53**ページ）

次のような場合は正常に CM カットができません

- **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
  オート CM カットが「する」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約 5 分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- モノラル放送のコマーシャルは、オート CM カットが「する」になっていても、録画されます。また タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少 CM が録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オート CM カットが正しく働かないことがあります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- 次のようなときは、オート CM カットが自動的に「切」になります。
  - 録画中に**停止**（■）ボタンまたは**一時停止**（❚❚）ボタンを押したとき
  - 録画を始める前に**再生**（▶）ボタン、**巻戻し**（◀◀）ボタン、**早送り**（▶▶）ボタン、**ビデオ電源**ボタンを押したとき
  - 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

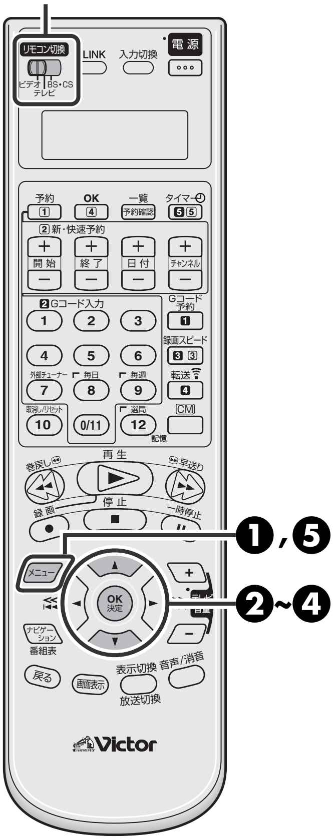
ご注意

- D-VHS記録時は働きません。
- BSデジタル放送／デジタルCS放送の番組または外部入力(テープをダビングするときなど)を録画するときは、オートCMカットが働きません。

VHS テープに S-VHS の画質で録画する

VHS テープに S-VHS の画質で録画ができます。

リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



❶ メニューボタンを押す

❷ ▲／▼ボタンを押して「モード選択」を選び、OKボタンを押す

❸ ▲／▼ボタンを押して「S-VHS ET」を選ぶ

❹ OKボタンを押して「入」を選ぶ

❺ メニューボタンを押してメニュー操作を終了する

S-VHS ET 機能について

この機能は、VHSテープにS-VHSの画質で記録するための機能です。S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、本機または S-VHS ET 機能を持ったビデオデッキで再生してください。

- よりよい画質で録画･再生･長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくはS-VHS ET 機能付きのビデオデッキでお楽しみください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、S-VHS のビデオデッキや S-VHS 簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。
  ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時、テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り･スロー再生を行うと､画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
  S-VHS ET 機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプの VHS テープをお使いください。
  - メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」を「入」にしておいてください。(☞**42** ページ参照)
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。(☞**10** ページ参照)

メモ

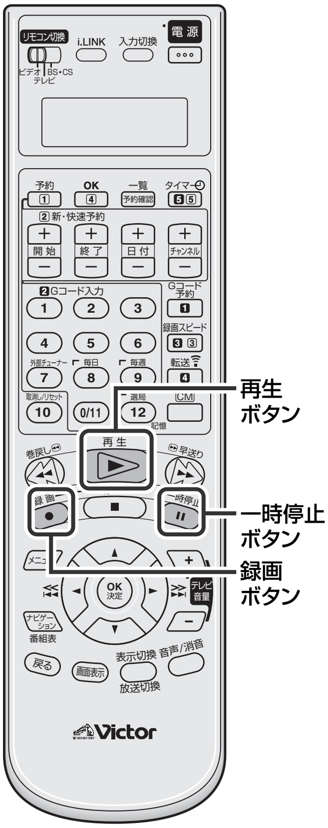
S-VHS ET が働かないとき

- 次のようなときは､S-VHS ETボタンは働きません｡
  - 録画中
  - 再生中
  - D-VHS テープが入っているとき
  - S-VHS テープが入っているとき

最適な画質で録画・再生する

テープレベルアップ

メニューの「テープレベルアップ」を使うと、自動的に本機が録画・再生するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画・再生することができます。



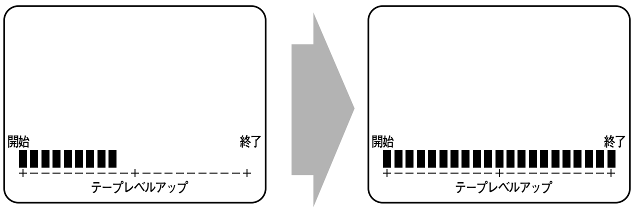
録画するときの動作

■ メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」を「入」にします。(☞**42**ページ)

録画するビデオカセットを入れ、通常の録画の手順を行ってください。

録画が始まると、テレビ画面にテープレベルアップの確認状態が表示されます。
この画面が表示されているときに、テープに最も良い状態で録画するための品質レベルを測定しています。(測定中は録画しません)

テレビ画面

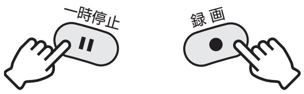


約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画を始めます。

- テープレベルアップの測定が行われるのは、次のようなときです。
  - カセットを入れた後、初めて録画するとき
  - 録画スピードを変えたとき
- メニューの「モード選択➡オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。(☞**42**ページ)

録画開始前に測定したいときは

1 [一時停止(❚❚)]と[録画(●)]を同時に押す



本機は録画一時停止状態になり、テープの品質レベルを測定します。

2 録画したい番組が始まったら、[再生(▶)]ボタンを押す



録画が始まります。

再生するときの動作

■ メニューの「モード選択 ➡ テープレベルアップ」を「入」にします。(☞**42**、**74**ページ)

再生するビデオカセットを入れ、通常の再生の手順を行ってください。

- オートトラッキング機能が働き、同時に再生する映像に適した画質に自動的に調整します。

メモ

テープレベルアップについて

- D-VHS記録時は働きません。
- 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。(テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
- テープの品質レベルを測定中は、一時停止(❚❚)ボタンは働きません。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入／切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

節電設定にする

本体表示窓の時計表示を消す

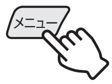
パワーセーブを「入」に設定して本体表示窓の時計表示を消すと消費電力を少なくすることができます。
本機の電源が「切」のときのみ、本体表示窓に時計を表示しません。

準備
- テレビの電源を入れて、ビデオを見るときのチャンネルにします。
- リモコン切換スイッチを「ビデオ」側にします。

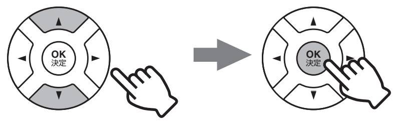
リモコン切換スイッチ
「ビデオ」側



❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する



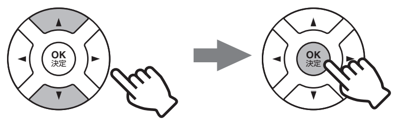
❷ [▲／▼]を押して「モード選択」を選び、[OK]を押す



＊ メニュー ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 [▲／▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

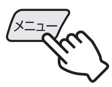
❸ [▲／▼]を押して「パワーセーブ」を選んだあと、[OK]を押して「入」にする



前ページへ	[3／3]
パワーセーブ	入
本体表示窓	入
ビデオナビゲーション	入
BSモニター	入

選択 [▲／▼]　設定 [OK]　終了 [メニュー]

❹ [メニュー]を押して終了する



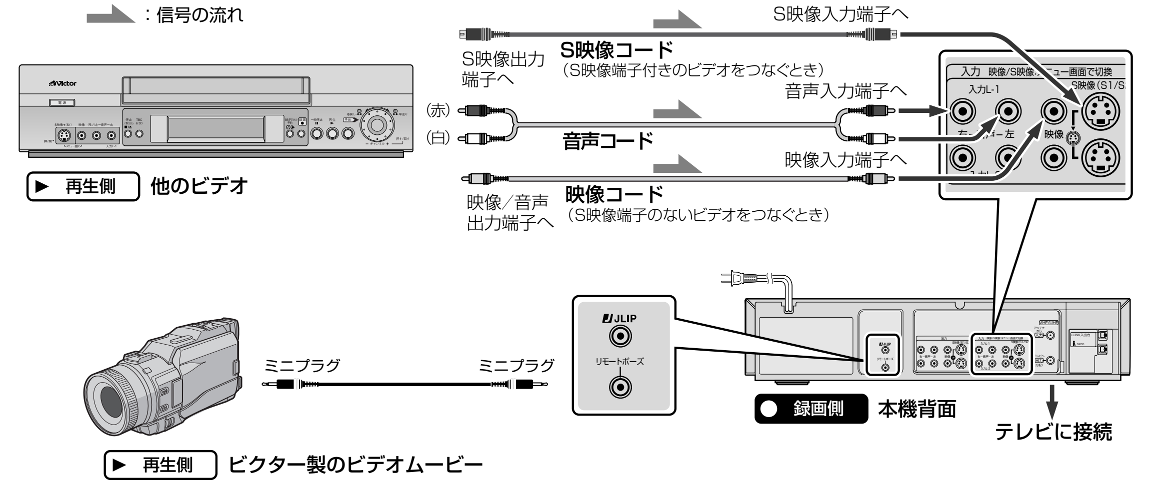
便利な機能

ご注意
- 手順 ❸で「入」にして本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、BS・110度CSデジタルチューナー／デジタルCSチュナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する【S-VHS/VHS 記録】

すべての機器の電源を切ってから接続してください。



・本機前面または本機背面の入力L-2の映像／音声入力端子に接続することもできます。

他機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、再生する機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備

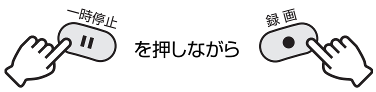
- 再生機を、どちらの映像入力端子（「S映像」または「映像」）につないだかを、メニューで正しく設定してください。(☞42 ページ)両方の端子をつなぐ必要はありません。
- 録画用のテープを入れておきます。

❶ 外部入力を選ぶ



- 前面の映像/音声入力端子に再生機をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力端子に再生機をつないだときは「L-1」または「L-2」を選びます。

❷ 録画一時停止状態にする



❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

- ビデオムービーのときは、ダビングしたい場面で、ビデオムービーの編集スタートボタンを押してください。
- 本機側（録画）の録画一時停止が自動的に解除されて録画が始まりますので、手順 ❹は必要ありません。

❹ 録画を始める



メモ

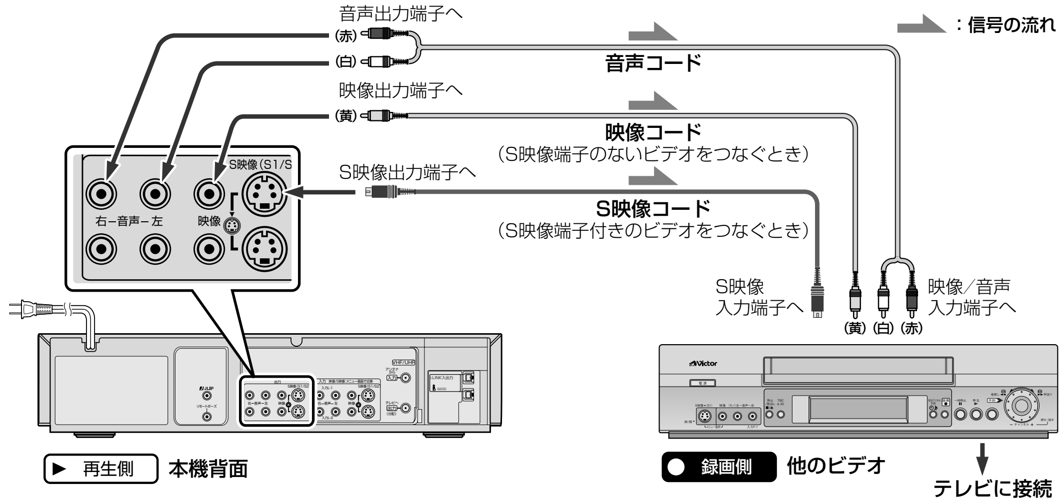
- 録画一時停止が５分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ダビングが終わったときは、ビデオカメラと本機の両方を停止させてください。
- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。

ご注意

- あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で再生、他機で録画する【S-VHS/VHS 記録】

すべての機器の電源を切ってから接続してください。



本機側（再生）

準備
- 再生するテープを入れておきます。
- メニューの「モード選択➡オンスクリーン」を「切」にしておきます。
  「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が同時に録画されます。
  (☞**39** ページ)
- S-VHS/VHS モードのときのみ、メニューの「モード選択➡インテリジェントピクチャー」を「ダビング」にします。
  (☞**42** ページ)

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める



他機側（録画）

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、録画する機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❷ 録画一時停止状態にする

❹ 録画を始める

- 録画ができないときは、左ページのメモ欄右側をお読みください。

メモ
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、他のビデオにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。

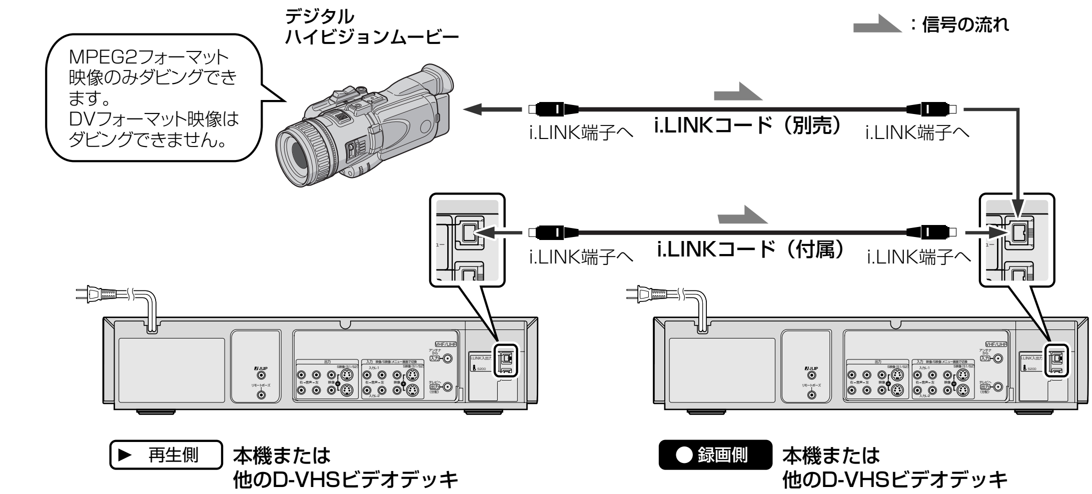
● ダビングが終わったら

メニューの「インテリジェントピクチャー」を「オート」（テープレベルアップが「切」のときは「スタンダード」）に戻しておいてください。
(☞**42**ページ)

本機とi.LINK端子付きビデオ機器で D-VHS 記録する【D-VHS 記録】

デジタルハイビジョンムービーやD-VHSビデオデッキから本機にD-VHS記録でダビングすることができます。

すべての機器の電源を切ってから接続してください。



再生側

本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー･プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。(BS／CSデジタル放送からの録画が1回目のコピーにあたります）DTLAについて詳しくは、BS／CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

録画側

準備 ● 録画用の D-VHS テープを入れておきます。

❶ 外部入力を選ぶ

- 本機の場合は、チャンネル+/－ボタンを押して、接続した機器のi.LINK機器番号(I-1など)を選びます。

❷ 録画スピードを選ぶ

- i.LINK入力を選ぶと、録画スピードは「オート」になります。通常は、オートモードで録画してください。
- 録画スピードを選ぶ場合は、再生側と同じスピードにするか、再生側よりも高画質モードのスピードを選んでください。
- デジタルハイビジョンムービーと接続した場合は、「オート」または「HS」のみ選択できます。

❹ 録画を始める

メモ

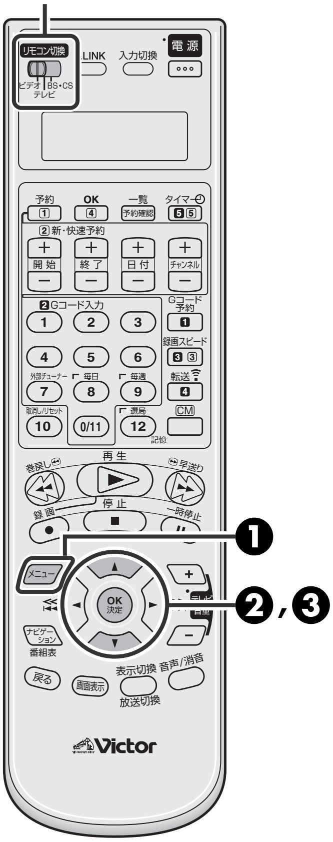
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- オートモードでダビングする場合、録画スピードが切り換わる部分で画像が静止画になったり、ブロックノイズが出る場合があります。
  また、接続機器によっては、再生機側の録画スピードがLS3またはLS5であっても、本機がSTDモードで録画することがあります。
- DV端子付きビデオカメラとi.LINK接続した場合、本機は接続機器の認識ができないため、ダビングすることはできません。
  このとき、本体表示窓には「I -　」と表示します。
- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
- 接続する機器によっては、i.LINKの通信ができないことがあります。このようなときは、i.LINK設定メニューの「リンク(LINC)」を「切」にしてください。(☞**79**ページ)
- 接続するi.LINK端子付き機器によっては、データ処理方式などの違いにより、本機と接続機器のノイズの出かたが異なる場合があります。

接続しているi.LINK機器の番号を変更する

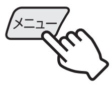
i.LINK機器番号を変更する

本機のi.LINK端子には、BS･110度CSデジタルチューナーやD-VHSビデオデッキなどを接続できます。i.LINK端子に接続した機器には、接続順にi.LINK機器番号が割り付けられます。i.LINK機器番号を変更したいときは、下の操作をしてください。

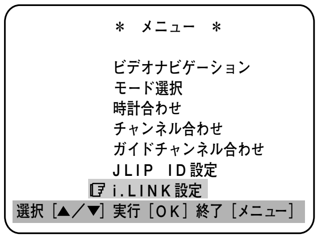
リモコン切換スイッチ「ビデオ」側



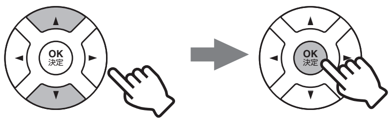
❶ [メニュー]を押して「メニュー」画面を表示する

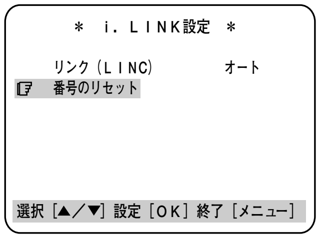


❷ [▲／▼]を押して「i.LINK設定」を選び、[OK]を押す



❸ [▲／▼]を押して「番号のリセット」を選び、[OK]を押す





- OKボタンを押すと、「i.LINK番号のリセットを完了しました」を表示し、元のテレビ画面に戻ります。

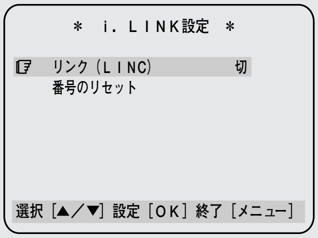
❹ i.LINK機器番号を設定し直す

- 本機のi.LINK端子に、1台ずつ接続してください。
接続した順に、i.LINK機器番号が自動的に割り付けられます。
- 接続機器の認識をするため、接続するときは、D-VHSビデオデッキの電源プラグは、コンセントに接続しておいてください。

メモ

- **リンク(LINC)設定について**
  - オート：本機から他のi.LINK機器を選択できます。
チャンネル＋／－ボタンを押してi.LINK機器を選択してください。
通常は「オート」にします。
  - 切：本機から他のi.LINK機器を選択できません。
ただし、他のi.LINK機器から本機が選択された場合は通信できます。
通信しているときは、「I-1」などを表示します。

- **i.LINK接続機器との通信をやめたいときは、手順❷の操作後、**
  1. [▲/▼]を押して「リンク(LINC)」を選び、[OK]を押して「切」にします。
  2. メニューボタンを押します。(メニュー操作終了)



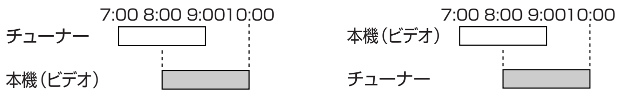
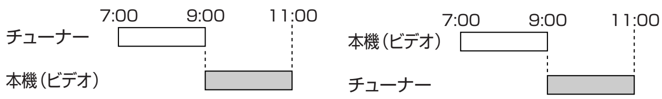
故障かな？と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

症　状		処　置	参照ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードがコンセントからはずれていませんか? • 本体表示窓に「⏲」が点灯していませんか?	23 51
	カウンター表示が 0:00:00 になっている（テレビ画面表示）	• 電源プラグを抜き差ししたり、停電があると、カウンター表示は 0:00:00 になります。	—
カセット	カセットが入らない	• 正しい向きで入れてください。	45
	カセットが出ない	• 録画中または本体表示窓に「⏲」が点灯していませんか？ 「⏲」を消してから、カセットを取り出してください。	55
再生	テレビに映像が出ない	• ビデオの入力を表示していますか？ 映像／音声入力端子付テレビ(AVテレビ)と接続しているときはテレビの入力切換を「ビデオ」にします。	—
	映像が乱れる、ちらつく	• オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調節をします。 • 再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 • ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のD-VHS ヘッドクリーナー TCL-DVS で掃除してください。	71 10
	メニュー画面の文字がちらちらする	• 本機とBS／CSデジタルチューナー、本機とテレビの接続に映像コード(黄)を使っていませんか？ よりよい映像をお楽しみいただくために、本機とBS／CSデジタルチューナー、本機とテレビの接続にはＳ映像コードをお使いください。テレビによっては、文字のちらちらが直らないことがありますが故障ではありません。	24 25
	ハイファイステレオ音声が出ない	• モノラルのビデオデッキやビデオカメラで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	69
	音声が出ない	• アナログ入力の音声のみ記録しませんでしたか？ アナログ入力の音声のみの記録はできません。	—
	日本語と外国語が同時に聞こえる	• 音声 / 消音ボタンで聞きたい音声を選んでください。	69
	早送り / 巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	• 再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。 故障ではありません。	—
	3倍モードで画面が上下に揺れる	• メニューの「モード選択➡V スタビライズ」を「入」にしてください。	42 47
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	• 再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約５分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター表示が停止する（テレビ画面表示）	• 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が停止します。	—
録画	日本語だけ録音したい	• メニューの「モード選択➡二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	43
	録画できない	• カセットのつめが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	49
	希望の番組が録画できない	• チャンネルが合っていますか？ • 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	90 32

症　状		処　置	参照ページ
録画予約	Gコード予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。 • 新・快速録画予約を行ってください。CATV放送はGコード予約ができないことがあります。	37 36 52
	録画予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • カセットのつめがついていますか? • 本体表示窓の「◷」は点灯していますか? • 予約内容を確認してください。 • 停電があったときは正しく動作しません。	37 49 53 54 —
	本体表示窓の「◷」が点滅する	• 設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。	50～55
	本体表示窓の「◷」と「CASS」が点滅する	• カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	—
	本体表示窓に「－－：－－」を表示している	• 停電がありました。もう1度、日付と時刻を設定してください。	37
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	• 本体表示窓の「◷」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「◷」を点灯させます。	55
	録画予約終了後、本体表示窓の「◷」が点滅している	• テープの終わりまで録画すると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。**タイマー**（◷）ボタンを押すと「◷」は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	予約の録画中に停止するには	• **タイマー**（◷）ボタンを押して本体表示窓の「◷」を消してから、**停止**（■）ボタンを押します。	55
	録画予約時、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	• 録画の予約は24番組までしか記憶できません。 予約内容を確認し、不要な予約を取り消してから予約してください。	54
	設定した予約内容が消えた	• 予約終了時刻を過ぎても実行しないものは、予約内容が取り消されます。	—
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	• 予約の録画中に本体の**電源**ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。 （リモコンの**電源**ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れた際、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。	— —
	デジタルCS放送の番組を録画中に停止したいときは	• デジタルCSチューナーの電源ボタンを押してください。 デジタルCSチューナーの電源が切れます。本機の停止ボタンを押します。	—
	ぴったりクロックが働かない	• 地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	37

故障かな？と思ったら（つづき）

	症　状	処　置	参照ページ
録画予約	予約したBS／CSデジタル放送の番組が録画されない	• メニューの「モード選択➡パワーセーブ」を「入」にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、BS／CSデジタルチューナー側で予約した番組の録画ができません。 「パワーセーブ」を「切」にしてください。	43 75
	BS／CSデジタルチューナーと本機の予約が重なったときは	後に予約した番組は録画されません。また、先に始まるBS／CSデジタルチューナーの予約が、放送開始時刻に合わせて変更され、本機の予約と重なった場合も、本機の予約は録画されません。 部分：録画しません ●予約が重なったとき  ●終了時刻と開始時刻が同じとき  • 本機またはチューナーの開始／終了時刻を変更してください。（☞54ページ） • 本機の動作状況を判別できないチューナーの場合、本機が動作中でもチューナー側の指示によりEPG録画を始めることがあります。	—
	本機の予約が重なったときは	●予約が重なったとき 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。 ●予約の開始時刻が同じとき 先に予約した番組が優先されます。  	—
	BSデジタル放送の録画予約ができない	• BSデジタルチューナー側からのi.LINK機器の認識ができていますか？ BSデジタルチューナーのi.LINK設定を行ってください。くわしくは、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。 • ビデオリモートコントローラーの接続、設置が正しく行われていますか? BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧になり、正しく接続、設置をしてください。	—
ビデオナビゲーション	番組情報のデータが登録されない	• 番組情報データの登録数がいっぱいになっています。 いらないテープの登録内容を消してください。 • メニューの「ビデオナビゲーション」を「入」にしてください。 • 録画時間が短いときは、登録されません。	67 43 65
	見たい番組が探せない	• 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 • 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、ナビゲーションボタンを押してください。	64 66

	症 状	処 置	参照ページ
BSデジタル放送	i.LINK 接続でデジタルチューナーを通して、D-VHS 記録したテープを再生できない	次の入力源から録画したテープを再生し、出力されるデジタル信号をデコードできないデジタルチューナーが一部あります。 • アナログ放送またはアナログ信号を外部入力で録画したテープ • DV 入力を MPEG 変換して録画したテープ	—
	BS デジタル番組が録画できない（黒い画面が録画される）	• BS アンテナを正しく接続しているか確認してください。 • BSデジタル番組の以下の放送は録画できません。録画した番組が該当していないか確認してください。 1）受信契約をしていないチャンネル 2）視聴年齢制限の暗証番号が一致していない番組 3）購入していないペイ・パー・ビュー番組 4）著作者が録画を禁止している番組	—
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートの低い番組の時に発生します。 これは放送局側で、すでにモザイク状のノイズが発生していますので、本機の故障ではありません。	—
デジタル再生	再生画像が静止画および黒い画面になったり、ブロックノイズが出る	• D-VHS テープを使用しているか確認してください。 • ヘッドの清掃が必要です。別売のヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときには、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービスにご相談ください。 • 再生中につなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画を始めた部分）および、VHS 再生（標準 /3 倍）から D-VHS 再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。 • 映像の乱れが出たときは、本機とプラズマテレビをなるべく離して設置してください。	10
	D-VHS テープを入れて再生しても本体の表示窓に「D-VHS」表示が点灯しない	• D-VHS モードで録画されていません。録画するときは、本体の D-VHSボタンを押して、本体表示窓にD-VHSランプが点灯していることを確認して録画してください。	48
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートが低いとき（LS3、LS5モードで記録したとき）、モザイク状のノイズが出ることがありますが、本機の故障ではありません。	—
	ハイビジョン再生なのに映像が粗い	• メニューの「モード選択 ➡BS モニター」を「切」にしてください。 「入」にすると 525i の映像になります。	43
リモコン	リモコンが働かない	• リモコンコード(A ／ B ／ C ／ D)が合っていますか? • 電池が消耗していませんか?	19
	テレビが操作できない	• 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお使いのテレビメーカーに合わせてください。	18
編集	ダビングできない	• 正しい外部入力を選んでいますか？ • DV 端子付きビデオカメラと i.LINK 接続した場合、本機は接続機器の認識ができないため、ダビングすることはできません。 このとき、本体表示窓には「 I - 」と表示します。 • BS ／ CS デジタル番組で、1 回のみ録画可能・録画不可の番組は、ダビングできません。	76 78 57
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	• メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」を「切」にしてください。	39
リセット	正常に動作しないときは	• 電源「切」の状態で、本体の停止／取出しボタンと D-VHS ボタンを同時に 5 秒以上押してください。	—

エラーメッセージ

区分	エラーコード	内　容	処　置
録画	103	• デジタルコピー禁止の番組をD-VHS記録でダビングしたとき • D-VHS記録でダビング時、デジタルコピー禁止の情報が本機に入力されたとき	本機は、DTLAなどのコピー・プロテクション技術に対応しており、デジタル録画禁止の番組は録画できません。
	105	• BS/CSデジタルチューナー以外のi.LINK機器からの信号をS-VHS/VHS録画したとき	本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。 デジタル信号をアナログ信号に変換して記録はしません。 「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。
	107	• BS/CSデジタルチューナー側で、「i.LINK」を選択して予約した番組をS-VHS/VHS録画したとき	本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。 デジタル信号をアナログ信号に変換して記録はしません。 また、VHSテープにD-VHS記録はできません。入力切換を「L-1」などに切り換えて録画してください。i.LINK設定メニューの「リンク（LINC）」を「オート」に設定してください。（☞**43**ページ）
	108	• 1125iまたは750pの放送をSTDまたはLS3、LS5モードで録画したとき • 525pの放送をLS3、LS5モードで録画したとき	録画するときには、HSモードを選んでください。
再生	201	• モザイク画（ブロック状のノイズ）など、正常に再生できないとき	正常な映像を出画するために、本機が調整中です。 しばらくお待ちください。
	203	• コピー禁止の番組を録画したテープを再生したとき	コピー禁止の番組を録画しても再生できません。
	205	• 不正と判断されるD-VHS記録したテープを再生したとき	本機では再生できないテープです。
入力信号	301	• 本機のi.LINK端子に入力された信号のデータ容量が多いとき	本機のi.LINK端子に接続したBS/CSデジタルチューナーやデジタルビデオカメラなどのi.LINK端子付きの機器が多すぎます。使用しない機器の電源は切っておいてください。

別売品のご案内

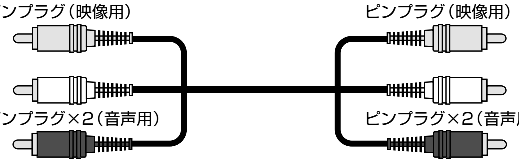
映像／音声用接続コード

S映像コード
・S端子の接続



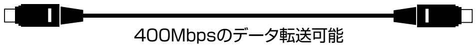
VC-S110G（1m）	希望小売価格	1,000円（税別）
VC-S120G（2m）	希望小売価格	1,200円（税別）
VC-S110E（1m）	希望小売価格	2,200円（税別）
VC-S120E（2m）	希望小売価格	2,600円（税別）

映像／音声コード
・ビデオとステレオAVテレビとの接続



VX-17G（1m）	希望小売価格	1,300円（税別）
VX-18G（2m）	希望小売価格	1,500円（税別）
VX-410E（1m）	希望小売価格	2,500円（税別）
VX-420E（2m）	希望小売価格	2,800円（税別）

i.LINKコード
・i.LINK端子付デジタルビデオ機器同士を接続する場合



VX-DV110E（1m）	希望小売価格	3,000円（税別）
VX-DV120E（2m）	希望小売価格	4,000円（税別）

モノラルミニプラグコード



CN-120A（1.5 m）	希望小売価格	500円（税別）
CN-125A（3 m）	希望小売価格	800円（税別）

アンテナコード

UHF／VHFアンテナコード
・ビデオとテレビアンテナ入力端子などの接続用



VX-22A（1m）	希望小売価格	900円（税別）
VX-23A（2m）	希望小売価格	1,000円（税別）

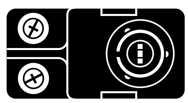
CS／BSアンテナコード
・BSビデオとBSテレビアンテナ入力端子などの接続用



VX-CS110（1m）	希望小売価格	2,200円（税別）
VX-CS120（2m）	希望小売価格	2,500円（税別）

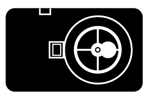
映像／アンテナコード用変換アダプター

アンテナコード変換用アダプター



VZ-71A　希望小売価格　600円（税別）

アンテナコード変換用アダプター（CS/BS用）



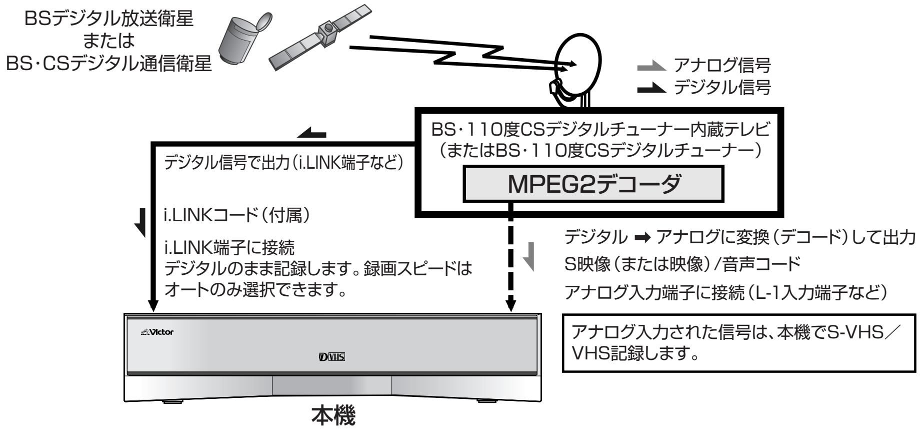
VZ-CS72　希望小売価格　1,200円（税別）

BS ／ CS デジタル放送について

BS/CS デジタル放送の録画のしくみ

本機は、BS/CSデジタル放送をD-VHSテープにデジタルで録画することができます。

衛星デジタル放送の録画システム図



BS デジタル放送とは

BS デジタル放送にはいくつかのバリエーションがあります。
BS デジタル放送の詳細については、接続する BS デジタルチューナー内蔵テレビ（または BS デジタルチューナー）の取扱説明書をご覧ください。

マルチプログラム

BSデジタル放送でチャンネルを複数に分割して、独立した標準テレビ放送（SD）として放送するサービスです。

	A放送局		
	○○○ ch	□□□ ch	○△□ ch
7時	サッカー中継（デジタルハイビジョン放送）		
8時	サッカー中継（標準テレビ放送）	ニュース（標準テレビ放送）	アニメ（標準テレビ放送）
9時	ドラマ（デジタルハイビジョン放送）		

マルチビュー

BS デジタル放送で複数の画面（ビュー）を標準テレビ放送（SD）として同時に放送するサービスです。
特に、スポーツ中継などアングルを変えて見たいときに便利です。

(降雨対応放送)

激しい雨による映像・音声の遮断を軽減するために、通常の放送に加えて、降雨に強い方式で同じ番組を並行して送ります。BSデジタルチューナーは受信状態を判断して自動（または手動）で降雨対応画面（静止画や粗い動画）への切り換えを行ないます。
また、降雨時用信号を「マルチビュー」の一画面を用いて送られることがあれば、AUTOモードなら通常放送と同時にSTDモードで記録し、再生時に状態の良い方をBSデジタルチューナー側で選ぶことも可能です。ハイビジョンテレビやチューナーの機能メニューで「主画面だけ記録」を選べるものもあります。

	A放送局（○○○ ch）		
7時	ニュース（デジタルハイビジョン放送）		
8時	主番組 ゴルフ選手権（標準テレビ放送）	副番組 12番ホール中継（標準テレビ放送）	副番組 13番ホール中継（標準テレビ放送）
9時	ドラマ（デジタルハイビジョン放送）		

映像を切りかえる

臨時編成サービス

野球中継などが延長になったときに、引き続き標準テレビ放送（SD）で放送するサービスです。
野球の後に放送される映画等もデジタルハイビジョン（低レート）で定刻に見ることができます。臨時編成チャンネルへは、視聴者が切り換えます。
野球中継が終わると、自動的に元のチャンネルに戻ります。

	A放送局（○○○ ch）	臨時ch
8時	野球中継（デジタルハイビジョン放送）	
9時	映画（デジタルハイビジョン放送）	放送延長（標準テレビ放送）

視聴者が切りかえる
自動的に戻る

デジタル放送とD-VHS

いまVHSビデオを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。その代表がテレビ放送のデジタル化です。日本におけるデジタル放送は1996年のCS放送（現スカイパーフェクTV!）から始まり、1997年にはディレクTVが放送を開始し、2000年12月よりBSデジタル放送が開始されています。
放送のデジタル化は高画質・高音質、多チャンネル化、多機能化だけでなく、資源として有限な電波の効率的な使用という側面も持っています。
放送の変化にあわせて進化・発展を遂げてきたVHSは、その資産を引き継ぎつつ放送のデジタル化への対応が求められています。
また、デジタル放送では映像や音声に限らず様々なデータも送られてきます。このようなデジタル放送情報の全てをデジタル信号のまま記録でき、しかも膨大な数のVHSアナログ記録の映像も再生できるビデオ、それがD-VHSです。
D-VHSはアナログからデジタルへのスムーズな受け渡しを実現し、ホームビデオという20世紀に定着した家庭の映像文化を21世紀へ継続していく 次世代のホームビデオです。

放送方式変換
（フォーマット変換　ダウン／アップコンバート）

HD映像（1125i/750p方式）を、SD映像（525i）に変換したり、750pを1125iに変換したりすることを「ダウンコンバート」といい、逆を「アップコンバート」といいます。
テレビに映せる信号に限りがあるとき、例えば、D1端子付きテレビには、D3の1125iは映せなかったり、525i専用のVHSビデオデッキには、1125iが録画できなかったりする場合に、デジタルチューナー、ハイビジョンムービーに内蔵されるこの変換機能が役に立ちます。
最近の放送は、同じ内容をSD、HD両方で行なったりします。本機は録画時に自動的に放送をそのまま録れる「オートモード」（録画スピードが自動で選ばれる）を搭載しています。

i.LINK (アイリンク)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394－1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

i.LINK端子の「S200」表記

i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbps*が定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

*Mbpsとは

「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200 Mbpsならば、1秒間に200メガビットのデータを送ることができます。

MPEG2

MPEG2とは、Moving Picture Experts Group（メディア統合系動画像圧縮の国際基準）Phase2の略です。
MPEG2は従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術です。むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しない事を前提に動きの予測をしながら圧縮しています。具体的にはフレーム情報の相関性を利用してフレーム間圧縮と、DCT（離散コサイン変換）によるフレーム内圧縮の組み合わせで効率良く圧縮してゆきます。

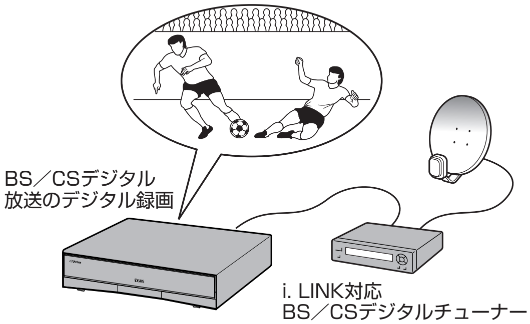
MPEG2 AAC

BSデジタル放送では、MPEG2 AACフォーマットの音声方式を採用しています。非常に高い圧縮率で放送衛星から送られてきますが高音質のデジタルサウンドです。
本機とMPEG2 AACデコーダを搭載したAVアンプを光デジタルケーブルで接続し、スピーカー6本「フロントL,Rとセンター、サラウンドL/RとLFE (Low Frequency Enhancement)」を接続することにより、映画館で聞いている様な臨場感あふれるリアルなデジタルサウンドをお楽しみ頂けます。

アイリンク
i.LINKとは

i.LINKとは？

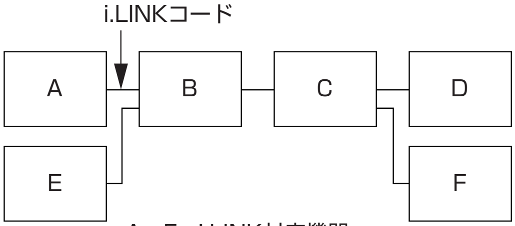
i.LINKは、i.LINK端子を装備した機器間で、ケーブル1本でデジタル映像信号やデジタル音声、他機制御信号を双方向でやりとりできるデジタルシリアルインターフェースです。



i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 － 1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i.」はソニー株式会社の商標です。
本機では、4ピンタイプのi.LINK端子を使用してMPEG2圧縮（☞87ページ）された映像信号とオーディオ、制御信号を入出力します。またデジタルビデオカメラのDV出力からのDV圧縮信号の入力端子としては使用できません。

i.LINK の分岐接続について

もし、i.LINK端子を3つ以上搭載する機器があれば、途中で分岐接続を行なえます。

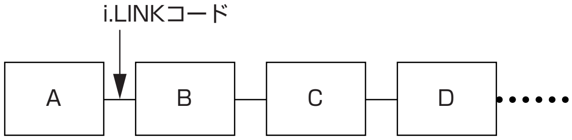


A～F : i.LINK対応機器
B, C : i.LINK端子が3つ以上ある機器

- i.LINK接続は本機を含めて63台まで接続可能です。ただし分岐接続の場合は最長経路で17台まで接続できます。
- パソコンや一部の機器では、電源が切られているとデータを中継しない場合があります。
  また、メニューの「モード選択➡パワーセーブ」を「入」にしているときも、データを中継しません。（☞75ページ）
  接続機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機のi.LINK端子の最大データ転送速度は200Mbps（1秒間に約200Mビット）です。最大データ転送速度は、転送速度の異なる機器を接続した場合や、仕様により、転送速度が遅くなる場合があります。
- i.LINKコードは、S200と表示された4ピンのコードを使用してください。S100は使用しないでください。

i.LINK の接続方法について

i.LINK対応の機器は、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）にしてi.LINKコードで接続します。



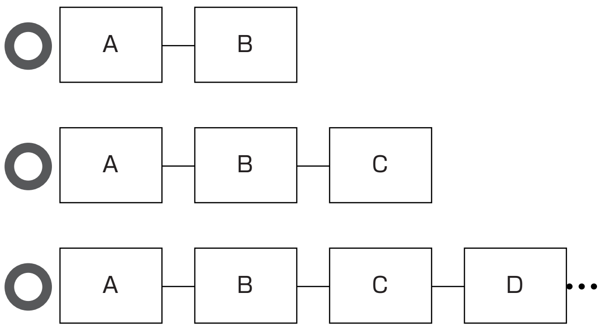
A～D : i.LINK対応機器

データをやりとりする機器の間に他の機器が接続されていても双方向での通信が可能です。
また、入力されたMPEG2やDV信号をそのまま次の機器に接続する「リピーター機能」があります。

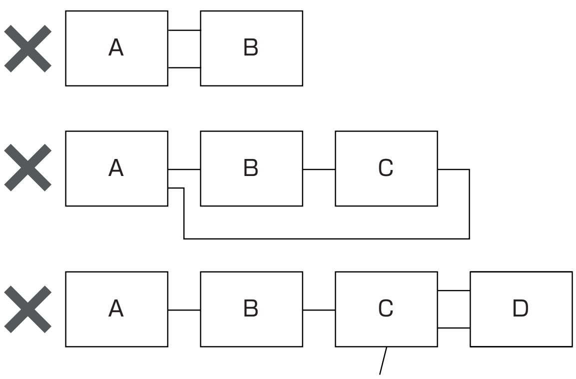
i.LINK の接続例について

正しい接続例と悪い接続例を記します。デジタル信号は接続したすべての機器に流れます。デジタル信号を出力した機器に信号が戻らないように、接続します。決して接続がループ（輪）にならないようにしてください。

正しい接続（A～D : i.LINK対応機器）
接続がループしていません。



悪い接続（A～D : i.LINK対応機器）
接続がループになっています。



C : i.LINK端子3つ搭載機器

i.LINK 接続するには

複数の i.LINK 接続をして機器間のデータをやりとりする場合、直接接続した機器だけでなく、他の機器を通してつながれている機器に対しても、双方で操作やデータのやりとりができます。
i.LINK接続はつないだ順に機器が認識されて機器番号（接続した機器固有の番号）を割り付けていきます。



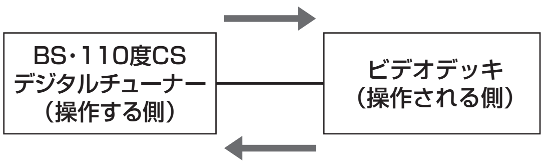
- ビデオデッキは電源プラグがコンセントに接続していれば電源を入れなくても、i.LINK 接続しただけで認識されます。
- メニューの「モード選択 ➡ パワーセーブ」を「入」（☞**75** ページ）にして、本機の電源を切ると、i.LINK 機器の認識ができません。そのため、BS･110 度 CS デジタルチューナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

LINC（リンク）

i.LINK 対応 BS･110 度 CS デジタルチューナー（i.LINK 対応機器を操作する側）は、i.LINK コードで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。BS･110 度 CSデジタルチューナーと相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）ビデオデッキを LINC するとき

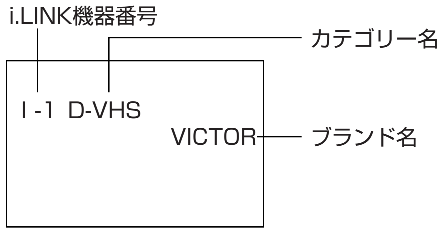
① 「これから操作してもいいですか？」とBSデジタルチューナーがビデオデッキに信号を送る



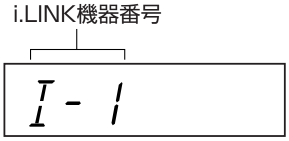
② 「了解です」とビデオデッキがBSデジタルチューナーに信号を送る

この呼びかけ･返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
LINC とは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

i.LINK 接続のオンスクリーン表示について



テレビ画面表示



本体表示窓

i.LINK 接続すると、接続機器を本機が認識し、認識した機器を表示します。

i.LINK 機器番号：接続した順番に本機が自動的に割り付けてゆきます。この番号は取り外して再度接続しても、本機のメモリーに記憶されるために同じ番号で認識されます。別の番号にしたいときは、i.LINK 設定メニューの「番号のリセット」を選択して新たに接続し直してください。（☞**79** ページ）

カテゴリー名：接続した機器の種類を表示します。

D-VHS	：D-VHS ビデオデッキ
チューナ	：デジタル衛星放送チューナーまたはデジタル地上波放送チューナー
テレビ	：BS･110 度 CS デジタルチューナー内蔵テレビ 接続するテレビによっては、カテゴリー名が表示されないことがあります。

ブランド名：接続した機器の製造メーカーを表示します。接続機器によっては、ブランド名が表示されないことがあります。

メモ

接続しているi.LINK機器が選択できないときは
- i.LINK設定メニューの「リンク（LINC）」を「切」にしてください。（☞**79**ページ）

ご注意

- チャンネル＋／－ボタンでi.LINK端子からの入力（I-1など）を選択したとき、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 他のi.LINK機器から本機が選択されたとき、または、本機のi.LINK端子に多くの機器が接続されているとき、データ容量が多すぎて、i.LINK機器の選択ができないことがあります。
- 接続した機器を認識しないときは、i.LINKコードを抜き差ししてください。

受信チャンネル一覧表

地域番号一覧表

この表は「受信チャンネルを設定する」(☞**27** ページ)の手順❹で入力する地域番号表です。
お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。(☞**31**ページ)
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
G コード番号を使って録画の予約をするために必要になります。(実際のチャンネルとは異なる場合があります。)

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

都道府県名	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル		
		1	2	
都道府県名	地域名(対応都市) 地域番号	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	受信チャン

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

(2003年6月現在)

	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
北海道	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
北海道	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
北海道	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
北海道	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
北海道	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
北海道	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
北海道	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
北海道	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
北海道	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
北海道	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
北海道	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
青森	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
青森	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
岩手	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
岩手	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
宮城	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
宮城	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
秋田	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
秋田	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
山形	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
山形	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
福島	いわき 029		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
福島	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(勝田)	031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立	032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮1	033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	宇都宮2	135	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 41/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 44/12
栃木	矢板1	034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
栃木	矢板2	136	NHK総合 40/80		NHK教育 30/90	日本テレビ 36/4		TBS 42/6		フジテレビ 45/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬			(伊勢崎・高崎)											
群馬	前橋	035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生1	036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
群馬	桐生2	137	NHK総合 51/80		NHK教育 57/90	日本テレビ 53/4	群馬テレビ 41/48	TBS 55/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
埼玉			(三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越)											
埼玉	さいたま	037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷1	038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	熊谷2	138	NHK総合 51/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 30/38	テレビ東京 61/12
埼玉	秩父1	039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
埼玉	秩父2	139	NHK総合 14/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 16/4		TBS 18/6		フジテレビ 29/8		テレビ朝日 38/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 44/12
千葉			(我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代)											
千葉	千葉	040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子	041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京			(昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹)											
東京	23区	042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子1	043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	八王子2	140	NHK総合 33/80	MXテレビ 40/14	NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 31/8		テレビ朝日 45/10		テレビ東京 62/12
東京	多摩1	044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
東京	多摩2	141	NHK総合 49/80	MXテレビ 61/14	NHK教育 47/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10		テレビ東京 59/12
神奈川			(横浜の一部)											
神奈川	＊横浜 1	045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川			(横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀)											
神奈川	＊横浜 2	046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚(茅ヶ崎)	047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野	048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原	049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府	050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野 1	051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野 2	052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本	053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田	054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪	055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟(長岡)	056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越	057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		

ご注意

＊ 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜２」をお選びください。
「横浜２」ではうまく受信できないときに、「横浜１」をお選びください。

次ページへ続く

その他

受信チャンネル一覧表（つづき）

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山	058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡	059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32
石川	金沢(小松)	060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井	062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
福井	敦賀	063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜(大垣)	064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
岐阜	高山	065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
岐阜	中津川	066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡			(清水・焼津)											
静岡	静岡	067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
静岡	浜松	068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
静岡	富士(富士宮)	069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
静岡	三島・沼津	070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
静岡	島田	071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
静岡	藤枝	072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知			(安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田)											
愛知	名古屋	073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
愛知	豊橋(豊川)	074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
愛知	豊田	075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重			(鈴鹿・松坂・四日市)											
三重	津	076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
三重	伊勢	077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
三重	名張	078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津	079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
滋賀	彦根	080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都(宇治)	081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
京都	舞鶴	082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
京都	福知山	083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪			(池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾)											
大阪	大阪	084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸1	085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
兵庫	神戸2	142		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 31/4		朝日放送 41/6		関西テレビ 43/8		読売テレビ 47/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 45/90
兵庫	神戸灘	086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
兵庫	川西	087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
兵庫	三木	088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
兵庫	姫路	089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
兵庫	明石(加古川)	090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良(橿原)	091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/－	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
奈良	五條	092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
和歌山	海南・田辺	094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江	096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
	浜田	097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			
岡山	岡山 (倉敷)	098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山	099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡	100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島	101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山	102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道	103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉	104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口	105	(徳山・防府) NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関	106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部	107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国	108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松	110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀	111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山	112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜	113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治	114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島	115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知	116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡	117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米	118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田	119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州	120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋	121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎	123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保	124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早	125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本 (八代)	126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分 (別府)	127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津	128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎 (都城)	129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡	130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根	132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋	133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇 (沖縄)	134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

ガイドチャンネル一覧表

（2003年6月現在）

地域	県	放送局	ガイドチャンネル
全国共通		NHK総合	80
		NHK教育	90
北海道・東北	北海道	北海道放送（HBC）	1
		札幌テレビ（STV）	5
		テレビ北海道（TVH）	17
		北海道文化（UHB）	27
		北海道テレビ（HTB）	35
	青森	青森放送（RAB）	1
		青森朝日（ABA）	34
		青森テレビ（ATV）	38
	岩手	岩手放送（IBC）	6
		岩手朝日（IAT）	20
		めんこい（MIT）	33
		テレビ岩手（TVI）	35
	秋田	秋田放送（ABS）	11
		秋田朝日（AAB）	31
		秋田テレビ（AKT）	37
	宮城	東北放送（TBC）	1
		仙台放送（OX）	12
		東日本放送（KHB）	32
		宮城テレビ（MMT）	34
	山形	山形放送（YBC）	10
		さくらんぼテレビ（SAY）	30
		テレビュー山形（TUY）	36
		山形テレビ（YTS）	38
	福島	福島テレビ（FTV）	11
		テレビュー福島（TUF）	31
		福島中央（FCT）	33
		福島放送（KFB）	35
関東・甲信越	関東	日本テレビ（NTV）	4
		TBSテレビ（TBS）	6
		フジテレビ（CX）	8
		テレビ朝日（ANB）	10
		テレビ東京（TX）	12
		東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
		放送大学	16
		テレビ埼玉（TVS）	38
		テレビ神奈川（TVK）	42
		千葉テレビ（CTC）	46
		群馬テレビ（GTV）	48
		とちぎテレビ（TTV）	23
	新潟	新潟放送（BSN）	5
		新潟テレビ21（NT21）	21
		テレビ新潟（TNN）	29
		新潟総合（NST）	35
	長野	信越放送（SBC）	11
		長野朝日（ABN）	20
		テレビ信州（TSB）	30
		長野放送（NBS）	38
	山梨	山梨放送（YBS）	5
		テレビ山梨（UTY）	37
中部	静岡	静岡放送（SBS）	11
		静岡第一（SDT）	31
		静岡朝日テレビ（SATV）	33
		テレビ静岡（SUT）	35
	中京	東海テレビ（THK）	1
		中部日本放送（CBC）	5
		名古屋テレビ（NBN）	11
		テレビ愛知（TVA）	25
		三重テレビ（MTV）	33
		中京テレビ（CTV）	35
		岐阜放送（GBS）	37
	富山	北日本放送（KNB）	1
		チューリップTV（TUT）	32
		富山テレビ（T34）	34
	石川	北陸放送（MRO）	6
		北陸朝日（HAB）	25
		テレビ金沢（KTK）	33
		石川テレビ（ITC）	37
	福井	福井放送（FBC）	11
		福井テレビ（FTB）	39
関西・中国	関西	毎日放送（MBS）	4
		朝日放送（ABC）	6
		関西テレビ（KTV）	8
		読売テレビ（YTV）	10
		テレビ大阪（TVO）	19
		テレビ和歌山（WTV）	30
		びわ湖放送（BBC）	30
		京都テレビ（KBS）	34
		サンテレビ（SUN）	36
		奈良テレビ（TVN）	55
	岡山	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	広島	中国放送（RCC）	4
		広島テレビ（HTV）	12
		テレビ新広島（TSS）	31
		広島ホーム（HOME）	35
	鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
		山陰放送（BSS）	10
		山陰中央（TSK）	34
	山口	山口放送（KRY）	11
		山口朝日（YAB）	28
		テレビ山口（TYS）	38
四国	香川	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	愛媛	南海放送（RNB）	10
		愛媛朝日（EAT）	25
		あいテレビ（ITV）	29
		愛媛放送（EBC）	37
	徳島	四国放送（JRT）	1
	高知	高知放送（RKC）	8
		テレビ高知（KUTV）	38
		さんさんテレビ（KSS）	40
九州・沖縄	福岡	九州朝日（KBC）	1
		RKB毎日（RKB）	4
		テレビ西日本（TNC）	9
		TXN九州（TVQ）	19
		福岡放送（FBS）	37
	大分	大分放送（OBS）	5
		大分朝日（OAB）	24
		テレビ大分（TOS）	36
	佐賀	サガテレビ（STS）	36
	長崎	長崎放送（NBC）	5
		長崎国際（NIB）	25
		長崎文化（NCC）	27
		テレビ長崎（KTN）	37
	熊本	熊本放送（RKK）	11
		熊本朝日（KAB）	16
		熊本県民（KKT）	22
		テレビ熊本（TKU）	34
	宮崎	宮崎放送（MRT）	10
		テレビ宮崎（UMK）	35
	鹿児島	南日本放送（MBC）	1
		鹿児島読売テレビ（KYT）	30
		鹿児島放送（KKB）	32
		鹿児島テレビ（KTS）	38
	沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
		琉球放送（RBC）	10
		琉球朝日（QAB）	28
BS放送／CS放送／CATV		日本テレビケーブルニュース	40
		CSN1ムービーチャンネル	49
		チャンネルNECO	50
		ゴルフネットワーク	51
		BS1	71
		BS3	72
		BS5　WOWOW	73
		BS7　NHK衛星第1	74
		BS9　ハイビジョン放送	75
		BS11　NHK衛星第2	76
		BS13	77
		BS15	78
		CNN	81
		MTV	82
		スター・チャンネル	83
		スペースシャワーTV	84
		スポーツ・アイ	85
		衛星劇場	86
		GAORA（ガオラ）	87
		ホームチャンネル	88
		スカイ・A	89
		BBC	91
		ファミリー劇場	92
		スーパーチャンネル	93
		ザ・ゴルフ・チャンネル	94
		朝日ニュースター	99

保証とアフターサービスについて（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（**96**～**97** ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

80～**84** ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルハイビジョンビデオ
型　名	HM-DHS1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　―

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のハードディスクビデオの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

➡

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

本機は非常に高い精度を必要とする機械です。 長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、磨耗したりすると性能が維持できなくなります。
美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。
トラッキングのずれたビデオデッキで記録されたテープは、正常なビデオデッキで再生するとノイズが出たり、画や音が出なくなることがあります。
いつも正しいトラッキング状態を保つためには、ときどき他のビデオデッキで録画されたテープ（レンタルテープなど）を再生し、ノイズが出ないことを確認することをおすすめします。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱ 前橋工場第2棟
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱ 水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0307

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

主な仕様

- **電源** .... AC100 V 50/60 Hz
- **消費電力** .... 24 W

待機時消費電力*	4.8 W
待機時消費電力: パワーセーブ「切」時	5.4 W
待機時消費電力: パワーセーブ「入」時	2.0 W

*省エネ法に定める待機時消費電力です。

- **外形寸法** .... 435 mm x 94 mm x 341 mm
  .... (幅×高さ×奥行き)
- **質量** .... 4.9 kg
- **許容動作温度** .... ＋5℃ ～＋40℃
- **許容相対湿度** .... 35 %～80 %
- **許容保存温度** .... −20 ℃ ～＋60 ℃
- **使用カセット** .... D-VHS、S-VHS、VHSマークのついたビデオカセット

ビデオ（映像）/オーディオ（音声）【D-VHS】

- **ヘッド数** 5個:デジタル用 4個:映像用 2個:Hi-Fi音声用
- **フォーマット** .... D-VHS方式(MTP) MPEG2 HS/STD /LS3/LS5モード
- **トラック構成** .... テープスピード HSモード 33.4 mm/sec
  STDモード:16.67 mm/sec
  LS3モード:5.55 mm/sec
  LS5モード:3.33 mm/sec
  ヘッドアジマス ±30°
  ドラム回転数 1800 rpm
  トラッキング方式 CTLトラック方式
- **記録仕様** .... メインデータ入力レート 28.2 Mbps (HS)
  14.1Mbps(STD)
  4.7Mbps(LS3)
  2.8Mbps(LS5)
- **インターフェース** IEEE1394デジタルインターフェース準拠
  DTCPデジタルコピープロテクション対応

ビデオ(映像)【S-VHS】

- **録画・再生方式** 回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式
  色信号低域変換直接記録方式
- **映像信号** .... NTSC日米標準信号

ハイファイオーディオ(音声)【VHS】

- **録音方式** .... VHSステレオハイファイ方式
- **周波数特性** .... 20 Hz ～ 20 kHz
- **ダイナミックレンジ** .... 90 dB以上
- **ワウ・フラッター** .... 0.005 %以下
- **チャンネルセパレーション** .... 60 dB以上

ノーマルオーディオ(音声)【VHS】

- **録音方式** .... リニアトラック
- **音声トラック** .... 1チャンネル(モノラル)

チューナー(テレビ受信)

- **受信方式** .... 周波数シンセサイザー方式
- **音声多重受信方式** .... インターキャリア方式
- **受信チャンネル** .... VHF 1 ～ 12チャンネル
  UHF 13 ～ 62チャンネル
  CATV C13(63)~C63(113)チャンネル

タイマー(タイマー予約・時計)

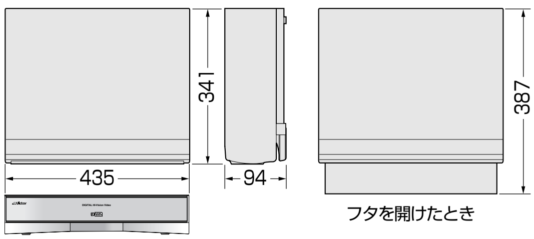
- **タイマー予約** 1年間24番組予約
- **時計** .... 12時間(午前・午後)方式
- **停電補償時間** 約10分

接続端子

- **アンテナ** .... 75 Ω F型コネクター VHF/UHF一軸
- **S映像** .... 入力 Y p-p : 0.8 ～ 1.2 V 75Ω
  C p-p : 0.2 ～0.4 V 75Ω
  出力 Y p-p : 1.0 V 75Ω
  C p-p : 0.29 V 75Ω
- **映像** .... 入力 p-p : 0.5~2.0 V 75 Ω(ピンジャック)
  出力 p-p : 1.0 V 75Ω(ピンジャック)
- **音声** .... 入力−8 dBs 50 kΩ(ピンジャック)
  モノ(左)対応
  出力 −8 dBs 1kΩ(ピンジャック)
- **i.LINK** 4ピン S200
  MPEG2入/出力用
- **JLIP** .... φ3.5 mm
- **リモートポーズ** .... φ3.5 mm

テープ走行

- **早送り/巻戻し時間** ...... 約1分40秒(DF-240/T-120テープ使用時)
  テープによっては早送り/巻戻しに時間がかかる場合があります。



（単位：mm）

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内のみ使用できます。
  外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本商品は「外国為替および外国貿易法」で定められた規制貨物に該当します。本商品を国外へ持ち出すときは日本国政府の許可が必要です。

- **CATV チャンネル対応表**

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

索引

HM-DHS1　取扱説明書

省エネで
守る環境
豊かな暮らし

JVC Loves the Earth

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
96～97ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **東京** 電話 **(03) 5684－9311** FAX **(03) 5684－9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル **大阪** 電話 **(06) 6765－4161** FAX **(06) 6765－4891** 〒550-0013　大阪市西区新町3-1-31　新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0703-MN-SW-PJ